

更ニ来ル三十日継続開会ノ筈

編註 本文書ハ主トシテ『松本記録』ニ拠レリ。

『松本記録』トハ松本忠雄元外務政務次官ノ保管  
セシ筆写本ニシテ現在外務省外交史料館所蔵ノモ  
ノナリ。

## 事項二 長沙事件

三九 六月一日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

我が伏見艦水兵ト中国群衆トノ衝突ニ関シ報  
告ノ件

### 第三一号

当地外交後援会主導ノ排日運動ハ官憲側ノ取締緩慢且威令  
行ハレサルニ乗シ其ノ手段漸次露骨トナリ直接本邦人ノ生  
命財産ニ危害ヲ（脱）実例ハ勘キモ本邦人商店及本邦汽船  
出入ヲ妨害スル等行動皮肉トナリ在留邦人中ニハ往々不穩  
ノ報復手段（脱）極力隱忍自制ヲ示スト共ニ支那側ニ取締  
方引続キ交渉中ノ処今朝新規入港ノ日清汽船武陵丸著ニ際  
シ前晚ヨリ排日団ハ從來ニナキ大規模ノ妨害ヲ為サント計  
画中ノ模様アリタルヲ以テ当館ヨリ署長外館員三名ヲ日清  
波止場ニ派シ実情ヲ視察セシム一方在港軍艦伏見ヨリモ約  
十名ノ水兵武装セス散歩ナカラ現場ニ上陸セシニ群衆及当  
館ノ注意ニ依リ支那側ヨリ派遣ノ支那兵数名ハ一団トナリ  
水兵及現場ニ居合セタル本邦人ニ投石シ終ニ支那兵ハ銃ヲ

水兵ニ擬スルニ至リタリ小官ハ辛ウシテ電話ヲ以テ（朝来  
本邦人関係ノ電話ハ絶エス通話ヲ妨ケラレツツアリ）取締  
ハ一応支那側ニ一任シテ水兵ハ引揚クル様取計ヒタルニ行  
違ニ軍艦ヨリ武装兵約十五名上陸群衆ト対峙中必要ニ応シ  
空砲ヲ打ツ内群衆接近シ水兵ノ銃ヲ奪ハントセルヲ以テ水  
兵ハ遂ニ発砲シ二名ヲ殺シ一名ヲ負傷セシメタリ同艦長ハ  
事態一層拡大スルヲ顧慮シ間モナク水兵全部ヲ引揚ケタル  
カ群衆一層激昂シ一部ハ交渉使署ニ殺到シ右殺傷ニ対スル  
交渉方ヲ迫リ大部ハ尚日清波止場ニ集合シ挙動不穩ナリ本  
官ハ危険ヲ冒シ交渉司長ニ会见ノ為日清ニ行キシカ目的ヲ  
達セス帰館ノ上同人ト相互ニ面談スルヲ得サル実情ナリシ  
ヲ以テ辛ウシテ電話ヲ以テ通話スルヲ得タルヲ以テ大体ノ  
打合ヲ為シ本日ノ出来事ハ更メテ交渉ニ附スルコトトシ差  
当リ支那側ヨリ責任アル指揮者ヲ有スル軍隊ヲ派シ徹底的  
ニ取締警備ニ任スルコトヲ要求シ尚先方ハ軍艦ノ行動ヲ非  
難シ民心激怒ヲ防ク為一先ツ下流ニ出港スルコトノ要求ア  
リシカ本官ハ從來支那側ノ取締振ニ鑑ミ取締徹底スルヲ見

二 長沙事件 四〇 四一

届クル迄ハ斯ル問題ニ触ルル能ハサル旨ヲ答ヘタリ  
事情此ノ如キヲ以テ此ノ兩三日間ハ事件ノ發展ニ対シ甚深  
ノ警戒ヲ要シ当分当館ニハ軍艦トノ通信ヲ計ル為ニ武装セ  
サル水兵約五名ヲ置クコトトシ一般在留民ニ対シテハ差当  
リ支那側ノ申出モアルヲ以テ其ノ挙措ヲ注意セシムルニ止  
メ未タ一地方ニ集メ我方ヨリ特殊ノ保護ヲ加フルコトハ尚  
差控中ナリ

右成行不取敢電報ス(六月一日)

北京、漢口へ転電シ漢口ヨリ司令官ニ転電ス

四〇 六月二日(着) 小林第一遣外艦隊司令官ヨリ  
財部海軍大臣山下軍令部長宛(電報)

長沙事件二関シ伏見艦長報告ノ件

伏見艦長報告

(六月二日海軍省着)

一、六月一日武陵丸長沙入港ノ際群集妨害ヲ加ヘシヲ以テ  
領事ノ要求ニ応シ武装セサル兵員十六ヲ陸上ニ派遣セシ  
モ投石乱暴ヲ加ヘ事態容易ナラサリシヲ以テ午後零時三  
十分陸戦隊ヲ上陸セシメ只今警戒中  
二、陸戦隊警戒中支那兵三我ニ対シ実弾射撃ヲナサントシ

ハザルヲ以テ至急軍艦増派方御取計ヲ請フ

外務大臣及在支公使へ参考迄ニ転電アリタシ

四二 六月二日(発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙在留邦人保護ノ為軍艦安宅ノ派遣二関シ

報告ノ件

第七三号

往電第七二号ニ関シ

安宅艦明三日午後当地発長沙ニ向フ筈

四三 六月二日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙ノ事態險惡トナリ邦人ヲ領事館又ハ商船

二一時引揚方考慮中ノ旨報告ノ件

第三二号

往電第三一号ノ状況以後夜ニ入り支那側ノ警備依然行届カ  
ス群衆ハ数隊ニ分レ本邦人商店ヲ襲ヒ暴行ヲ逞フシツツア  
リ状況險惡明朝迄ノ成行懸念ニ堪ヘス本邦人全部当館若ク

二 長沙事件 四二 四三 四四 四五

四〇

銃剣ニテ我ヲ突カントシ群集ハ日本兵ヲ殴打セシヲ以テ  
最初空砲ニテ威嚇セシモ彼等ハ益々奮進シ来リシヲ以テ  
午後一時二十分陸戦隊ハ遂ニ実弾ヲ発射シツツ武陵丸ニ  
引揚ケ続テ伏見ニ帰投セリ我輕傷者二他ニ損害ナシ支那  
側損害不明

領事ハ只今交渉使ト交渉中

六月一日

四一 六月二日(発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙ノ排日運動惡化シ在留邦人ノ生命財産ニ

危険ノ虞アリ至急軍艦増派方要請ノ件

第七二号(至急)

在長沙領事発本官宛電報

第九号

小林司令官へ左ノ通り

六月一日朝武陵丸入港ニ依リ支那人ノ排日運動惡化シ目下  
在港ノ伏見艦応援ノ措置ヲ為シツツアルモ直接在留本邦人  
ノ生命財産ニ危険ノ虞アリ最早支那側ノ保護ニ依頼スル能

ハ商船ニ一時引揚ノ已ムナキニ至ルヘシ

公使、漢口へ転電セリ

四四 六月二日(発) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙事件二関シ沈外交次長ニ対シ邦人保護措

置方要請ノ件

第五一〇号

長沙發閣下宛電報第三二号ニ関シ

事件ノ大要ヲ節略ニ認メ二日西田ヲシテ沈次長ニ手交セシ  
メタル上至急邦人保護措置方要求セシメタル処沈ハ早速国  
務院ニ報告シ地方官憲ニ電訓スル様至急取計フヘキ旨答ヘ  
タリ

漢口及長沙ニ転電セリ

四五 六月二日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国側ノ要請ニ從ヒ中国側ニ邦人保護ヲ一任  
シ伏見艦ヲ出港セシムル方得策ニ非ザルカ  
請訓ノ件

四一

第三四号 至急

既電伏見陸(脱)人被害ハ死者二名負傷者約八、九名ナル  
処事茲ニ到リタル理由ヲ究メズ群集ハ宜昌ニ於ケル事実ト  
合セ伏見ヲ敵視シ昨日来ノ群集運動ハ目的ヲ同艦ニ集中シ  
ツツアルハ諸種ノ事実ヲ綜合シ殆ド明瞭ナリ

右ニ対シ支那側殊ニ交渉司長ハ極力群集ヲ慰撫シ本官及北  
京外交部ヲ經テ伏見ノ一時港外ニ出ツル様取計フベキニ付  
本邦人ノ生命財産ニ対シ暴挙無キ様群集ヲ説得シ居ル趣ヲ  
以テ此際至急同艦ノ出港方取計ハレ度若シ之ガ実行無キニ  
於テハ群集ノ暴動停止スル処ヲ知ラズ之ニ対シ湖南政府ハ  
責ヲ負ハザル旨再三申出アリ右ニ(脱)軍艦ノ体面及主義ニ  
於テ重大ナル關係ヲ生ズルモ今日迄ノ成行及支那官憲ガ軍  
艦出港ヲ条件トシテ全責任ヲ以テ本邦人ノ保護ニ任ズベキ  
旨ノ言明ニ鑑ミ一切ノ保護ヲ支那側ニ一任シ此際ハ先方申  
出ノ通一時軍艦出港シ差当リテノ事件拡大ヲ防止スルヲ得  
策カト認メラレ右ニ関シ本官ハ直接同艦長ト一応協議スル  
モ尚右篤ト御考究ノ上何分ノ御措置アリ度結果御電報ヲ請  
フ

北京、漢口、司令官ニ転電ス

四六 六月三日(発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙ノ排日形勢險惡ニ付本邦婦女子ヲ一時漢  
口ニ引揚げシムルコトアルベキ旨電報ノ件

第七四号

在長沙田中領事六月二日発当館宛第一二号電信転電ス  
其後ノ形勢益々險惡不取敢電報ス時機ヲ見テ一時本邦婦女  
子(約百名)ヲ貴地ニ引揚げシムルコトアルニ付予メ御含  
置ヲ請フ

外務大臣、在支公使ノ参考迄ニ同官ヘ転電アリタシ

四七 六月三日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

伏見艦ノ出港及ビ中国側ノ警備徹底シ長沙市  
内急速ニ平穩化セル旨報告ノ件

第三五号(至急)

往電第三四号伏見出港ノ件艦長ニ協議セル処艦長ハ事情出  
港ヲ得策ト認メ一応司令官ニ経同ノ上成ルベク至急出港ス  
ルコトトナリ此次第支那側ニ通シタル為支那側ノ警備取締

ハ一層嚴重トナリ戒嚴司令部ヨリ出兵シテ各所ノ群衆ヲ解  
散絶エズ当館及在留民居住地域ヲ巡邏セシメ一方城外ニ於  
ケル団体遊行及大道演説ヲ取締ル等從來ニ見ザル徹底の取  
締ニ依リ昨二日以来市内極メテ平穩ニシテ此儘推移セバ本  
邦人ノ生命財産ニハ格別ノ事ナカルベク從ッテ婦女子ノ他  
ニ避難スル必要モナカルベキ見込ナリ武陵丸ハ引止ムル必  
要ナキニ依リ定期通り今朝出帆漢口ニ向ヘリ(三日午前九  
時)北京、漢口及司令官ヘ転電ス

四八 六月三日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

排日貨運動露骨化シ邦人居住ノ不安増大ニ関  
シ報告ノ件

第三六号

往電第三五号ノ如ク本邦人ノ生命財産ニハ直接危険ノ虞ナ  
キモ外交後援会及学生団等ノ排日運動ハ今回ノ事件ニ依リ  
一層露骨トナリ市内到ル処ニ排日貨宣伝「ビラ」ヲ貼布ス  
ルハ勿論本邦商店及汽船等ノ出入ヲ不可能ナラシメ本邦人  
ノ使用支那人ヲ迫害シ食料品ノ供給ヲ妨害シ艦船ヘノ給炭

食料品積込ヲ不可能ナラシメ本邦人ハ僅ニ直接ノ危害ヲ免  
カレ得ルニ過ギズ若シ此状態暫ク継続スルニ於テハ本邦人  
ハ辛ウシテ衣食スルノミ到底居住ニ堪ヘザルニ至ル可シ此  
点ニ関シテハ小官ハ極力支那側ニ嚴重取締方交渉スベキモ  
支那側ノ從來民意尊重ヲ名トシ本邦人ニ直接ノ危害ヲ加ヘ  
ザル限り之ヲ放任シ居レル態度ニ鑑ミ徹底の取締ヲ期待ス  
ルヲ得ズ加フルニ当面ノ問題トナレル伏見陸戰隊ノ件ニ関  
シ先方ノ主張極メテ強硬ナル模様アリ近ク之ガ交渉ヲ受ク  
ルニ当リ折衝余程困難ナルベキニ依リ前記取締ヲ支那側ニ  
要求シ之ガ遺憾ナキヲ期スル能ハズ今後ノ成行不安ニ堪ヘ  
ズ

北京、漢口ヘ転電セリ

四九 六月三日(発) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

伏見ノ出港ハ見合セ湖南当局ニ対シ邦人保護  
要求方電報ノ件

第五一一号

本官發長沙宛電報第三号

二 長沙事件 五〇

外務大臣宛貴電第三四号ニ関シ此際伏見ヲ出港セシムルコトハ悪例ヲ将来ニ残シ甚タ面白カラサルノミナラス邦人保護ニ関スル湖南政府ノ言明ナルモノモ從來支那官憲ノ取締振ニ鑑ミ甚タ信頼シ難シト存セラルルニ付テハ本省ヨリ何等反対ノ訓令アル迄伏見ヲ出港セシムルコトハ見合セラルル様致シタシ尤御来示ノ如ク支那民衆ニ於テ伏見ヲ敵視シ群衆運動ハ目的ヲ同艦ニ集中シ居ルモノトスレハ同艦ノ水兵其他ノ上陸ハ益々事態ヲ險惡ナラシムルモノアルヘシト存セラルルニ付居留民ノ生命保護ノ為絶対必要ノ場合ノ外ハ之ヲ要求セサルコトトシ同時ニ居留民其他ノ方面ニ対シテハ此上トモ出来得ル丈隠忍自制ノ態度ヲ執ル様御説示アリタシ尚湖南政府ニ於テハ上記我方ノ態度ヲ説明セラレ且伏見艦出港セサルニ於テハ湖南政府ハ責ヲ負ハスト云フカ如キハ甚タ不当ナル申分ナルコトヲ指摘シ我居留民ノ生命財産ニ対シ暴行ヲ為スモノヲ取締リ得サルニ於テハ全然支那官憲ニ於テ之ヲ負ハサルヘカラサルコトヲ強く主張セラレタシ右ノ次第ハ即刻外交部ニモ申入ルヘシ

外務大臣、漢口へ転電セリ

五一 六月四日（発）

在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

伏見艦ノ長沙引揚げニ関スル小林司令官ノ意

見報告ノ件

第七五号

在長沙領事発大臣宛電報第三四号ニ関シ

六月三日小林司令官ノ意見ニ依レハ既ニ田中領事ヨリ増援軍艦ノ請求アリ今支那側ノ要求アリトテ直ニ伏見ヲ引揚クル時ハ這般ノ状況ヨリ考ヘ帝国ノ威信ニモ関シ且在留民保護ニ任スル能ハサルト同時ニ同地ニハ有事ノ日軍艦ヲ派遣スルコト困難ナルニ至ル恐アリ然シ伏見ハ宜昌事件ニ依リ名ヲ知ラレ居ル点モアリ旁安宅到着後状況如何ニ依リ同地ヲ引揚ケシムルモ可ナリトノコトナリ尚安宅ハ六月三日午後四時半発長沙ニ向ヘリ

北京、長沙ニ転電セリ

五二 六月四日（発）

内田外務大臣ヨリ  
在長沙田中領事宛（電報）

伏見艦陸戦隊長長沙上陸ノ事情及ビ発砲ノ情况

二 長沙事件 五一 五二 五三

四四

五〇 六月三日（発）

在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

安宅艦ノ長沙入港ニアタリ交渉司長ヨリ申越ノ次第アリ特ニ注意方小林司令官ニ電報ノ件

第三八号（至急）

本官発在漢口総領事宛電報

第一六号

小林司令官へ左ノ通り

近ク安宅入港スルコト一般支那人ニ知レ亘リタル趣ヲ以テ当地交渉司長ハ小官ニ対シ此際右入港ハ更ニ支那民衆ヲ激昂セシムル重大ナル事態ヲ惹起スル虞アルヲ以テ一考セラレタキ旨申越アリタルニ対シ本官ハ在留本邦人保護ノ責ヲ負ヘル帝国軍艦ガ特ニ本邦人ノ危険ヲ感シ居ル際入港ヲ顧慮スルコトハ伏見ノ場合ハ兎ニ角トシ安宅ハ不可能ナルベキモ一応申越ノ次第ハ政府及閣下ニ電報シ置クベシト輕ク答ヘ置ケリ右ノ次第ニ付安宅入港ノ際ハ特ニ注意方御取計アリタシ（六月三日零時半）

大臣、公使へ転電セリ

等詳細取調結果電報方訓令ノ件

第一六号

貴電第三一号ニ関シ

伏見ヨリ陸戦隊上陸ノ事情及発砲ノ情况等詳細取調ノ上結果当方、北京、漢口へ至急電報アリタシ

北京、漢口へ転電アレ

五三 六月四日

在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙事件ニ関スル丸山伏見艦長ヨリ小林司令

官宛報告書写差進ノ件

付属書

六月一日付丸山伏見艦長ヨリ小林第一遣外艦隊司令官宛右報告書写

機密第四五号

（六月十三日接受）

大正十二年六月四日

在漢口

五二 六月四日（発）

内田外務大臣ヨリ  
在長沙田中領事宛（電報）

総領事 林 久治郎（印）

外務大臣伯爵

内田 康哉殿

長沙事件ニ関スル報告ノ件

四五



六月一日ノ長沙ニ於ケル我陸戰隊ノ支那人射殺事件ニ関スル詳報ハ在長沙領事ヨリ提出有之コトト存候モ右ハ或ハ遅ルルナキヲ保シ難キヲ以テ為御參考伏見艦長ノ司令官宛報告写差進候 敬具

本信写送付先 在支公使 在上海總領事

(付屬書)

丸山伏見艦長ヨリ小林司令官宛報告書写

伏見機密第五三三

大正十二年六月一日 於長沙

伏見艦長 丸山 良雄

第一遣外艦隊司令官 小林 研藏殿

昨三十一日清汽船武陵丸入港ノ予定ナリシヲ以テ支那學生及苦力多数日清汽船会社及戴生昌ノ碼頭ニ群集シ乗客ノ妨害準備ヲナシ居リシモ武陵丸入港セサリシ為一旦解散セリ然ルニ本朝再ヒ多数ノ無賴漢上記場所ニ集合シ妨害準備怠リ無ク武陵丸ノ入港ヲ待テリ偶々領事ヨリ兵員十数名ヲ上陸セシメ日清汽船会社及戴生昌碼頭ヲ警護セシメラレ度要求アリ依テ午前八時十五分本艦ヨリ指揮官一(松永少尉)及武装セサル兵員十六名ヲ陸上ニ派出セリ午前八時四

十五分武陵丸入港シ艀船ニ横付ケシ艀客ノ上陸ヲ始ムルヤ本艦兵員ノ監視範圍内ニ於テハ直接何事モナシ得サリシモ一度監視ノ範圍外ニ出ツルヤ尾行セシ學生等ハ之等ニ暴行ヲ加ヘタリ偶々戴生昌ノ汽船モ亦入港シ其ノ乗客碼頭ニ上カルヤ學生苦力等多数棍棒ヲ以テ之ヲ毆打セリ此ノ騷擾ニ紛レ支那人一名ハ塚脇三等機関兵曹ヲ毆打セリ茲ニ於テ其ノ不法ヲ詰問セントスル際支那人側ハ衆ヲ特ミテ來襲シ遂ニ午前十一時四十五分頃群衆对本艦兵員ノ乱闘トナリ一度ハ群衆ヲ放逐シタルモ再ビ盛リ返シ棍棒ヲ振り翳シ投石シ暴行極度ニ達シ甚タ危険ナリシヲ以テ一時日清汽船会社構内ニ引キ揚ケ警戒セリ此ノ騷擾ニ指揮官及兵員一名輕傷ヲ負ヘリ警戒中尚彼等乱暴止マヌ偶々武装セル支那兵三名構内ヲ通過セントスルヤ山日本人会長ハ之ヲ遮リタルニ内二名ハ直チニ小銃ニ他ノ一名ハ拳銃ニ実包ヲ装填シテ吾ニ擬ス之ニ於テカ群衆ハ益々勢ヲ得構内ニ乱入ス依リテ指揮官ハ一旦兵員ヲ武陵丸ニ移セリ此ノ際兵員ノ大多数ハ石ノ雨ヲ蒙レリ事態容易ナラスト認メ指揮官ハ直ニ信号ヲ以テ武装セル陸戰隊ヲ要求ス依リテ午後零時二十分陸戰隊ヲ派出セリ指揮官ハ現ニ武陵丸内ニアル兵員ト來着セル兵員

トヲ合セテ二十二名(皆銃器ヲ携帯ス)ヲ率ヒ午後一時頃碼頭ニ上陸シ現場ニアリシ支那官憲ト交渉ヲ開始ス即チ先

支那側ニ死者数名負傷者数名アルモ詳ナラス領事ハ支那官憲ト交渉中

右不取敢報告ス

#### 五四 六月五日(着)

在中國吉田臨時代理公使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

中国側ノ伏見艦撤退要求二対スル我方ノ応答

振二関シ報告ノ件

#### 第五一五号

(四四文書参照) 往電第五一〇号ニ関シ

三日外交次長ノ命ニ依リ熊坂本官ヲ來訪シ我水兵支那人ノ集團ヲ突撃シ死傷者ヲ生セシメ地方民ノ反感激烈ナル故伏見ヲ撤退サレ度ク然ラザルニ於テハ責任ヲ以テ保護シ難キ旨湖南官憲ヨリ回電アリタル旨申出デタルニ付本官ハ事実大ニ相違ノ諸点ヲ指摘シ居留民保護上軍艦ハ撤退シ難キニ付其在否ニ拘ラズ支那政府ニ於テ暴徒ヲ鎮圧シ邦人ヲ保護スル責任アル旨答ヘタル処長沙發閣下宛第三一三号(延着)及長沙發漢口宛第一二二号ノ次第モアリタルニ付四日更ニ右大要ヲ覚書ニ認メ西田ヲシテ外交部ニ交付セシメ保護方重

我ニ輕傷者二名アルノミニテ他ニ損害ナシ  
実包発射弾数 五拾八発

ネテ要求セシメタル処熊埃ハ直ニ次長ニ転示シタル上次長ヨリノ回答ナリトテ昨三日中央ヨリ湖南官憲ニ対シ責任ヲ以テ日本居留民ヲ保護ス可キ旨嚴重電訓シタルニ付今後ハ充分ナル取締リ措置ヲ執ル可ク依ッテ伏見艦ノ撤退方取計アリ度シト述ベタリ依ッテ西田ハ右本官ニ報告ス可キモ軍艦撤退要求ニハ応ジ難シ尤モ湖南官憲ニ於テ責任ヲ以テ嚴重排日取締ヲ実行シ日本居留民ノ危険去リ安全ニ營業ノ見込立チ領事ニ於テ該艦碇泊ノ必要ヲ認メザル場合ハ別問題ナリト答ヘ置キタル趣ナリ

漢口、九江、沙市、重慶へ転電シ上海へ暗送セリ

(奉天中継 六月五日前九、五〇)

五五 六月五日 (発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

伏見陸戦隊ノ行動ハ正当防衛ニシテ湖南当局ノ要求ハ容ルベカラザル旨稟申ノ件

第七七号

長沙ヨリ昨夜帰来セル武陵丸船長及今朝到着セル同地ノ日清汽船買辦ノ談ヲ綜合スルニ六月一日ノ衝突ノ結果同地ニ

五六 六月五日 (発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙事件ノ漢口へノ影響ニ付報告ノ件

第八三号

長沙事件ト關聯シ排日取締ニ関スル湖北官憲ノ態度ハ已ニ電報セル通りナルガ本件ニ関シ当地ノ支那新聞ハ昨日来長沙來電及郵便通信ヲ掲載シ例ニ依リ支那側ニ都合善キコトノミヲ記載シ居ルガ未ダ割合ニ昂奮セル様子ナク寧ロ大部分ハ此際事端ヲ繁クシテ日本人ヲシテ乗ゼシムルガ如キ機會ヲ作ル勿レト云フニ一致シ居レリ但学生其他浪人輩ノ組織シ居ル国民外交後援会ハ慰問ヲ兼ねテ事情調査ノ為代表者二名ヲ四日ノ夜行列車ニテ長沙ニ派遣シタルヲ以テ該代表者ノ活動如何ニ依リテハ或ハ局面ノ展開ナキヲ保シ難シ北京へ転電シ上海へ暗送セリ

五七 六月五日 (発) 在蕪湖田中事務代理ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙事件ノ蕪湖ノ排日運動ニ対スル影響ニ関シ報告ノ件

二 長沙事件 五六 五七 五八

於ケル人心ハ頗ル險惡ニシテ同地教育会当事者等ハ特ニ過激ナル意見ヲ抱キ在留日本人ヲ全部退去セシメテ其財産ヲ没収スベシト主張セルモ軍務司長及交渉司長等ノ慰撫ニ依リ漸ク事ナキヲ得ツツアル次第ナル由ナルガ諸方面ノ報告ニ拠ルニ今回我陸戦隊ノ支那人射殺ハ長ク隱忍セル上已ムヲ得ズ正当防衛ニ出デタルモノナルニ拘ラズ湖南当局ハ却ツテ其責任ヲ我方ニ嫁シ不法ノ要求ヲ提出セムトスルモノノ如シ從ツテ此際万一彼等ノ要求ヲ容レムカ彼等ノ本邦人ニ対スル不法ハ益々増長シ且各地ニ伝染シ時局ハ終ニ收拾スベカラザル状態ニ立至ル虞アリ六月四日ノ「セントラル・チャイナ・ポスト」ハ特ニ社説ヲ以テ此点ニ関シ支那官民ノ不法ヲ論ジ日本人ハ克ク長ク隱忍セルガ欧米人ナラバ到底斯ノ如ク隱忍シ能ハザリシコトヲ説キ今日ノ傾向ヲ以テセバ此支那人ノ不法ハ益々増長シ單ニ日本人ノミニ止ラズ終ニ他ノ外国人ニ及ブベキヲ警告シ居レリ

北京、長沙へ転電シ上海へ暗号ノ儘郵送セリ

第五四号

今回長沙ニ於ケル日支衝突事件ハ当地排日首謀者等ノ心事ヲ刺戟セルコト甚ダシク早クモ四日夜十二時頃学生ノ一部市中ニ出動シ「日本水兵ハ長沙ニ於テ支那学生ヲ射殺セリ」ト大声ニテ呼号シ注意ヲ喚起シ廻レリ漸ク鎮静ニ向ヒツツアル当地排日運動ハ之ガ動機トナリテ又々擡頭シ不良市民ヲ煽動シテ再び邦人ニ危害ヲ加フルニ至ルナキヤヲ懸念サル尚聞ク所ニ依レバ長沙学生会等ハ本件ニ関シ激烈ナル通電ヲ各地ニ発シ報復の排日運動ノ決行ヲ促セリト云フ北京へ転電セリ

五八 六月五日 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙事件ニ關スル日清汽船武陵丸船長代理ヨリ  
同社監督宛報告書写送付ノ件

付屬書 右報告書写

機密第四六号 (六月十四日接受)

大正十二年六月五日

在漢口

総領事 林 久治郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

長沙事件ニ関スル報告ノ件

長沙ニ於ケル我陸戦隊ノ支那人射殺事件ニ関スル詳報ハ在  
長沙領事ヨリ提出有之コトト存候モ右ハ或ハ遅ルルナキヲ  
保シ難キヲ以テ為御参考別紙日清汽船武陵丸船長代理ノ同  
社監督宛報告写致ニ差進候 敬具

本信写送附先 在支公使 在上海総領事

(付属書)

右報告書写

監督御中

武陵丸船長代 笹田 恒次

(漢口支店長)

本船長沙碇泊中排日暴行ノ件

本船第六九八次上航六月一日午前八時四拾五分長沙揚荷九  
噸湘潭揚荷參噸及支那人乗客拾貳名ヲ以テ長沙ニ著ス当時  
我社碼頭街上ニ多数ノ群衆居リ本船入港繋留ヲ待チ乗客ノ  
上陸スルヤ否排日学生団ハ降客ヲ捉ヘテ暴行ヲ加ヘタル上  
黒色印章ヲ顔面其ノ他衣服等ニ押シ居ルヲ見受ク又戴生昌  
汽船出帆ニ間近ク学生団ハ其船ニ乗ラントスル乗客ヲ遮リ

一人モ乗船セシメス又本船支那船員ハ糧食ヲ妨害シ此間ニ  
本船揚荷ヲ躉船ニ移ス

偶々戴生昌ノ汽船ノ入港ニ臨乗船客ノ上陸スルヤ例ノ如ク  
暴行ヲ加ヘタルヲ以テ當時警戒中ナリシ伏見艦兵員及領事  
館巡查等総勢貳拾名程ハ之ヲ制止セントセシ処遂ニ格闘ト  
ナリ斯克テ学生団ニ加ヘテ苦力無頼漢等暴行ニ加担シ棒切  
及石等ヲ投ケ始メ形勢不穩ノ兆アリ斯カル中ニ学生団ハ參  
名ノ武装シタル兵士ヲ連レ来リ我兵ノ直グ面前ニ於テ小銃  
ニ実弾ヲ装填セシメテ射撃ノ模様アリ当日ハ領事ヨリノ依  
頼ニ依リ伏見航海長指揮ノ下ニ各兵員全然武装セス警戒シ  
居リタル為我兵員全部本船ニ逃レタルニ多数暴徒ハ手ニ棒  
ヲ持チ本船躉船渡シ場迄来リ同所ヨリ盛シニ棒切石等ヲ投  
ケシモ本船迄ハ達セス躉船屋上ニ落ツ直チニ伏見兵員ハ武  
装ノ為本艦ニ引キ返シ間モ無ク陸戦隊トシテ本船ニ上ルヤ  
否ヤ航海長ヲ先登トシテ約式拾貳名程ノ兵員著剣ニテ我社  
躉船ヨリ碼頭暴徒中ニ我レ勝ちニ突撃ヲ試ミ此瞬間ノ光景  
特ニ勇壯ヲ極ム

為ニ暴徒ハ全部逃レタルモ直チニ来集シ斯克テ我兵員ハ空  
砲ノ一斉射撃ニヨリ暴徒ヲ威嚇シタル後実弾ヲ籠メテ警戒

中多数暴徒ハ我兵員ニ向ツテ盛シニ棒切レ及ヒ石ヲ投ケツ  
ツ肉迫シ小銃ヲ將ニ奪ハント格闘中遂ニ一斉ニ銃火ハ発セ  
ラレ忽チニ街上ニ斃ルル者參名ヲ見受ケ直ク眼前ノ出来事  
トテ凄慘ノ氣充ツ此騒動ノ為暴徒等蜘蛛ノ子ヲ散ラスカ如  
ク散シ逃去リシ為陸戦隊ハ本船ニ引揚ケ隊員上陸シテヨリ  
引揚クル迄ノ時間約四十分程ナリ其後暴徒ハ碼頭ニ密集シ  
邦人ニ對シ危害ヲ加フルカ如シ

斯カル中ニ居留民拾名程沖側ヨリ小舟ニテ本船ニ逃レ又領  
事モ来船ス本船ハ居留民避難場所トシテ湘潭行キ出帆差止  
メ命令ヲ受ケ領事及居留民等協議ノ末軍警ニ出来得ル限リ  
早ク此暴徒ノ鎮圧ヲ依頼シ而シテ交渉ヲ始ムル手筈ノ為領  
事等一行モーターボートニヨリ暴徒ノ密集セヌ河下ニ行キ  
上陸ス又陸戦隊員本船ニ一時間程休憩シタル上約四「ケー  
ブル」下游ニ碇泊中ノ伏見艦ニ引揚ケ午後三時頃ヨリ武装  
シタル支那軍人吾社碼頭ヲ警護セシモ暴徒ハ密集ス本船ニ  
テハ夜間ノ危険ヲ憂ヘ繋留索ヲ放チ沖ニ出テテ錨泊ス又不  
完全ナカラモ船橋ニ板マツト帆布等ヲ囲ミ防弾仮設備ヲナ  
ス又本船入港以來殆ト間断ナク路傍演説各所ニ行ハレタ刻  
ニ至リテヨリ軍隊ハ引揚ケタルモノノ如ク夜ニ及ヒ戴生昌

汽船局内部ハ暴徒ニヨリ破壊サレ其物音手ニ取ルカ如シ街  
上ニ密集セルモノノ拍子盛シニ聞コユ斯カル状態ニヨリ本  
船ハ何時ニテモ避難シ得ラルル様準備ヲナシ又各部乗員ヲ  
シテ鉄棒等ヲ携ヘ当直セシメテ怪シキ舟来ラハ直チニ撃退  
スル様終夜警戒ヲ怠ラス不安ノ中ニ夜ヲ徹ス翌二日朝七時  
頃ヨリ吾社碼頭ヲ中心トシテ群衆盛シニ出歩ク昨夜ハ吾カ  
居留民宅ヲハ襲撃サレントノ報アリ朝来各所ニ路傍演説行  
ハル支那軍隊ハ武装シテ隊伍ヲ組ミ街上ヲ時々通行シ各種  
団体ハ大旗ヲ先頭ニ各自小旗ヲ携ヘテ示威行列ヲナシ不穩  
ノ氣勢四辺ニ満ツ午後三時頃軍艦安宅二日?三日?(電文  
疑惑)午後漢口ヲ発シ警備ニ来沙ノ旨通信アリ市中ハ軍隊  
ニヨリ嚴重ニ警戒サレ居ルカ如シ本船ヲ万一ノ場合居留民  
避難所トシテ長沙ニ停船サスヤノ命令一旦伝ヘラレシモ同  
夜十二時頃ニ至リ定期出帆スヘシトノ報ヲ受ケ斯克テ乗客  
僅カニ三名積荷約半噸ヲ積載シ翌三日前午四時十五分漢口  
ニ向ケ長沙ヲ出帆ス要スルニ今回暴動ノ元兇ハ「ミッシヨ  
ンスクール」ニ属スル学生団ニシテ其背後ニ隠ルル外人ノ  
卑劣サ憎ミテモ余リアルモノナリ斯克盛シニ学生団ハ暴行  
ヲ煽動シナカライサトナラハ一人残ラス逃走シ後ニ残レル

ハ雲霞ノ如キ苦力無頼漢ノミ卑シムヘキ彼等学生団ハ陸戦隊員引揚クルト見ルヤ忽チ跋扈シ街上各所一段高キ所ニ上リテ声ヲ潤ラシ身振手振宜敷宛然踊レルカ如ク喧囂ノ声聞コユ

吾社出張所ハ窓硝子其他ヲ破壊サレタルモ大ナル損害ナク本船ハ全然破損ナシ

右次第御報告申上候也

以上

五九 六月六日(発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

伏見艦陸戦隊ノ中国人殺傷ニ関シ湖南省長ヨリ要求公文提出ノ件

第八五号

長沙ヨリ左ノ通

第一八号 至急

昨三日楊交渉司長來訪伏見陸戦隊ノ件ニ関シ其曲全然陸戦隊ニ在リトノ前提ノ下ニ伏見在港ハ民衆ヲ一層激昂セシメ事件ヲ拡大セシムル虞アルヲ以テ至急港外ニ出ヅルコトノ

外(一)支那人ヲ殺傷セル兵士及直接指揮官ヲ処罰シ結果通知スルコト(二)死傷者ニ対シ弔慰金及治療費ヲ支払フコト(三)司令官ハ省政府ニ謝罪スルコト(四)日本政府ハ公文ヲ以テ支那政府ニ遺憾ノ意ヲ表スルコト(五)今後同様ノ事件ヲ再発セシメザル保障ヲナスコトノ五項要求ノ省長公文ヲ小官ニ手交シ同時ニ右ト同様ノ公文ヲ北京及東京ニ於テ夫々我方ニ交付スル様二日電報取計ヒ済ノ由ヲ附言セリ惟フニ今回ノ事件ハ事件自体ニ於テ水兵上陸ノ上状況視察ハ兎モ角果シテ陸戦隊ヲ上陸セシムル必要ノ時機ナリシヤ否ヤハ或ハ疑問トスベク且現場ニ於テ一二本邦商人ハ近來ノ不景氣ニ引続ク排日貨運動ニ依ル營業不振ヲ損害賠償ニ依リ生キン魂胆ヲ以テ事件ヲ拡大セントシ水兵ヲ煽動セリト認メラルル事実アルモ大体ニ於テ民衆ガ水兵ニ対シ先ニ暴行ヲ加ヘシ事実ニ見正當防衛及体面上陸戦隊ニ改ムル必要アリシ口実ハ充分アルノミナラズ元來事ヲ茲ニ至ラシメシハ支那官憲ノ排日運動ノ取締リ緩漫ニシテ民衆ヲ増長セシメシ結果ニ外ナラズ而シテ右要求ニ対シテハ斷然之ヲ拒絕スベキモ一方本件發生以來從來一部階級ノ排日氣勢ハ各階級ニ及ビ而モ特性ヲ有スル湖南人ノコトトテ激昂其極ニ達シ本邦人ノ生

外務大臣、在支公使へ転電アリタシ

六〇 六月六日(発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙在留邦人日清汽船沅江丸及ビ領事館ニ避難了ノ件

第八七号

安宅ヨリノ無線電信ニヨレハ長沙居留民ハ六日早朝迄ニ一部ハ領事館ニ他ノ一部ハ日清汽船沅江丸ニ避難了セリ安宅伏見ハ領事館附近ニ投錨シ居レリ

北京及上海へ転電セリ

六一 六月六日(発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

安宅艦ノ入港ニヨル長沙ノ情勢緊迫並ビニ在留邦人ノ保護ニ関スル件

第九一号

長沙ヨリ左ノ通り

第二二号

右不取敢  
(四日、今後現金欠乏ノ為電報ハ主トシテ漢口ヨリ転電ヲ請フ)

「本件ハ事件ノ性質上小官一個ノ裁量ヲ以テ責任アル回答ヲナス能ハズ政府ノ訓令ヲ待ツテ回答スベキモ事ノ如何ヲ問ハズ其結果ニ於テ支那人ノ死傷者ヲ見タルニ対シ小官限リノ取計ラヒヲ以テ遺憾ノ意ヲ表シ又事件取調ベノ上ハ申越シノ各項要求ニ対シ成ルベク満足セララル解決ヲ告グル様尽力スル考ナリ又民衆激昂ニ依ル今後ノ事件拡大ヲ防グ意味ニ於テ伏見ハ一時港外ニ出ヅルコトハ事情得策ト認メ軍艦ト協議中ニ付適當ノ場所迄出港スルコトトナルベシ」

安宅入港ハ更ニ民衆ニ刺戟ヲ与ヘ支那側ハ戒嚴令ヲ布キ當館及市内ヲ嚴重警戒シ漸ク事無キヲ得タルガ右戒嚴令ハ政府ガ省議會ノ協賛ヲ經ズシテ施行セルモノナルヲ以テ本日臨時議會ヲ開キ追認ヲ求ムル筈ナルガ政府側ノ予測ハ追認ヲ得ルコト困難ノ模様ノ由然ル時ハ直チニ戒嚴令ヲ取消シ政府ハ彈劾セラルルコトナル趣ナルガ其際ハ本邦人保護手薄トナル虞アリ然ルニ排日団ノ兇暴益々甚ダシク本邦人ノ不安ハ到底現狀ヲ維持スル能ハザルヲ以テ警備艦長ト協議ノ上在留本邦人ノ意見モ參酌シ明六日黎明ヲ見計ラヒ婦女子全部(約百十一人)ハ手廻品ヲ携帯、停船ヲ命ジ置キタル日清沅江丸ニ引揚ゲシメ男子ハ同時ニ當館ニ收容シ備付武器ヲ以テ先ヅ自衛ノ途ヲ講ズルコトトシ絶對必要ノ場合ハ安宅ハ全力ヲ集メテ之ヲ保護スルコトトセリ斯ク我方ノ態度ヲ示シテ支那側ノ措置ヲ注視スベシ婦女子ハ更ニ必要ニ応ジ漢口ニ引揚ゲシムル筈又當管内湘潭、衡州(脱)ハ其危險當地ニ劣ラザル模様ナルヲ以テ各居留民ニ對シ當地ニ引揚方ヲ電報シ湘潭ノ分ハ本日當地ニ無事安着セリ

(了)

日電昨晨日輪武陵丸駛抵長沙適值市民遊行講演日商故意挑釁日本伏見兵艦派水兵登陸人民驚疑當經交涉司向日領交涉提及水兵撤回並聲明負責保護日僑隨行派軍警維持秩序乃日領及該艦長竟派武裝兵士登岸由長官指揮突向人叢射擊立斃二人重傷二十余名市民憤激異常請速交涉先行撤退兵艦以息群怒等情由部摺情向駐京日使正式抗議除關於人民死傷損害預為聲明保留俟詳細查明再行提出弁法外要求迅飭軍艦退出長沙並聲明在湘日僑由地方官切實保護同日統統湖南交涉司電報日本又由漢開來安宅兵艦一艘民憤愈甚危險愈增地方已暫布戒嚴等語希即摺向日外部交涉務請電飭日館速撤兵艦免愈擴大並電復等因茲本代使謹奉政府訓令提出抗議務懇貴大臣顧念貴我兩國交誼此時機危迫之際速行訓令在長沙貴國軍艦即日撤退免事件更形擴張相応函達查照謹祈迅速見復茲本代使對於貴大臣特表敬意謹具

中華民國十二年六月六日

中華民國駐日本代理公使張元節(印)

日本外務大臣伯爵内田康哉閣下

(右和訳文)

六二 六月六日(發) 小林第一遣外艦隊司令官ヨリ  
財部海軍大臣宛(電報)  
長沙狀況ニ関シ安宅艦長報告ノ件

長沙狀況報告 (六月八日外務省接受)

六月六日安宅艦長報告ニ依レハ

一、長沙其ノ後依然險惡

二、六月三日夜湘潭日清汽船会社破壞サレ在留民七名太古洋行汽船湘潭——長沙ニ避難ス

三、六月六日午前五時長沙居留民全部二百余名男子ハ領事館ニ他ハ沅江丸ニ引揚ヲ終ル漢口總領事ハ食料品ヲ武陵丸ニ搭載六月六日午前十時漢口發長沙ニ向ハシム

六月六日午後二時

六三 六月六日 在本邦張中国代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

伏見艦水兵ノ中国人殺傷ニ付抗議及ビ日本軍艦ノ長沙撤退要請ノ件

外發字第一〇六号 (六月七日接受)

逕啓者接准本国外交部六月六日来電内開准湖南省長六月三

外發字第一〇六号

拜啓陳者六月六日本国外交部ヨリ湖南省長六月三日附電報ニ拠レハ昨朝日本汽船武陵丸長沙入港ノ際適市民ノ市街行列及大道演說アリ日本商人故意ニ挑戦シ日本軍艦伏見ハ水兵ヲ派シテ上陸セシメ人民驚疑シタルニ依リ當ニ交涉司ヲシテ日本領事ニ對シ水兵ノ撤退ヲ交涉セシメ並責任ヲ負フテ日本居留民ヲ保護スヘキコトヲ聲明シ直チニ軍警ヲ派シテ秩序ヲ維持セシメントシタリ然ルニ日本領事及該艦長ハ武裝兵士ヲ派シテ上陸セシメ長官之ヲ指揮シ突然群衆ニ向ッテ射擊シ二名ヲ即死セシメ二十余名ニ重傷ヲ負ハセ市民ノ憤慨甚シキヲ以テ速ニ先ヅ軍艦ヲ撤退セシメ以テ群衆ノ怒ヲ息メシムル様交渉アラムコトヲ同省長ヨリ稟請シ来リタルニヨリ本外交部ヨリ右ニ依リ駐支日本公使ニ對シ正式ニ抗議シ人民ノ死傷損害ニ関シテハ予メ詳細調査ヲ經タル後更ニ交渉スヘキコトヲ留保シ差當リ迅速ニ該軍艦ヲ長沙ヨリ退出セシムルコトヲ要求シ並湖南在留ノ日本人ハ地方官ヨリ誠實ニ保護スル旨聲明致シ置キタリ同日統統イテ湖南交涉司ヨリ來電アリ右ニ拠レハ日本ハ又漢口ヨリ軍艦安宅ヲ派遣シタルヲ以テ人民ノ憤慨愈甚シク危險愈増加シタル

ニヨリ同地方ハ既ニ当分戒嚴令ヲ施行シタリトノ趣ナルニ就テハ日本外務省ニ対シ在長沙日本領事ニ訓令シ速ニ軍艦ヲ撤退シ以テ事件ノ拡大ヲ免レシムル様交渉シ其結果電報アリタキ旨來電有之候ニ就テハ本代理公使ハ本国政府ノ訓令ヲ奉シ抗議ヲ提出シ貴大臣カ日支兩國国交ヲ顧念セラレ此ノ時機切迫ノ際速ニ在長沙貴国軍艦ニ訓令シ速刻撤退シ以テ事件ノ益拡大スルコトヲ免レシムル様致度此段照會得貴意候至急御回答相煩度茲ニ本代理公使ハ貴大臣ニ対シ特ニ敬意ヲ表シ候 敬具

中華民國十二年六月六日

中華民國駐日代理公使 張元節

日本外務大臣伯爵 内田康哉閣下

六四 六月七日（発）  
内田外務大臣ヨリ  
在中国吉田臨時代理公使、在漢口林總領事宛（電報）

長江筋警備ノ為驅逐艦四隻派遣ノ件

合第一〇一号

長江筋ニ於ケル警備手薄ノ為驅逐艦四隻三、四日中ニ佐世保出航ノ筈、尤モ右派遣ハ高圧手段ニ出テムカ為ニアラス

ヲ出セリ

四、常德ハ其後小康ヲ保テリト

六日

第六番電

五日ハ自重ノ布告ヲ出シ邦人ニ対シ積極的暴行ヲ戒メ居タル如キモ邦人使用ノ支那人ニ対シ圧迫益々加ハリ主ナル事件ヲ列举スレハ

一、岡村農商務省技師ノ使用人ハ手ヲ縛ラレ売国奴ト記シタル札ヲ着ケ市中ヲ引廻シ遂ニ警察ニ扣留セラレタリ

二、領事館ノ一台湾人ハ羅致セラレ学校ニ拘留サレタルモ嚴重ナル抗議ニ依リ釈放サレタリ

三、邦人使用ノ小蒸氣船頭ハ安宅短艇ノ掩護ナシニハ達着困難ナル状況ナリ

四、五日夜七時頃四十名計リノ学生団各々短刀ヲ持チ邦人税関吏ノ宅ニ侵入シ苦力一名ヲ強奪シ去レリ英國人税関長ハ之ニ対シ嚴重ニ抗議中ト又六日朝税関長邦人税関吏ハ「コック」ヲ連レ税関埠頭ヨリ上陸ノ際学生団ハ「コック」ヲ拉シテ羅致セシヨリ税関長ハ杖ヲ以テ毆リタルニ依リ混雜ヲ起セシモ直ニ釈放セリ税関長ハ之カ為大イニ激昂シ居ルト云フ

六日

差向キ在留本邦人保護ニ遺漏ナキヲ期セムカ為ナリ（漢口へ） 上海、南京、九江、沙市、宜昌、重慶、蕪湖、杭州へ転電アレ

六五 六月七日（発）  
小林第一遣外艦隊司令官ヨリ  
財部海軍大臣 山下軍令部長宛（電報）  
長沙ノ情況報告ノ件

一遣第一番電 （六月八日海軍省着）

長沙其後ノ情況次ノ如シ

安宅艦長報告要領

第五番電

一、五日省議會トナリ依然名計リノ戒嚴令ヲ布キツツアリ領事ハ六日午前支那官憲ニ対シ居留民避難ノ理由殘留財産ノ保護方ヲ申出テタルニ承諾セル旨回答アリタリ居留民集合ノ件ニ関シ支那側ハ狼狽シ會議ヲ凝シツツアリト云フ

二、安宅保護ノ下ニ碇泊シアル戴生昌汽船三、四隻ハ五日夜漢口ニ向ケ下江セリ

三、避難民中ニハ不良ナル飲食物ノ為七、八名ノ下痢患者

第七番電

伏見ハ居留民避難ヲ安全ナラシムル為一時錨地ヲ變更シタルモ六日全部避難シ終レルヲ以テ七日領事館前ニ復帰セシム

六日

第八番電

六日夜ハ領事館前ノ警戒兵ヲ約百名ニ増加ス戒嚴司令來リ大群集ニ対シ取締ニ関スル説明ナシタル処降雨ノ為群集ハ解散シタリ

六日

七日午前十一時

六六 六月七日（着）  
在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

中国外交総長代理ヨリ長沙事件ニ付抗議シ且伏見艦ヲ長沙ヨリ撤退方申越シノ件

第五一八号

往電第五一五号ニ関シ

外交総長代理ヨリ五日附ヲ以テ大要左ノ通申越セリ

湖南省長ヨリ二日朝武陵丸長沙ニ著セシトキ偶々市民遊行中ナリシニ伏見艦ハ武装兵ヲ上陸セシメ群衆ヲ射撃シ即死

二名負傷二十余名瀕死三四名ヲ出シ湖南省民ノ憤激甚タシキニ付先ツ伏見艦ノ撤退方日本公使館ニ交渉アリタシトノ電請アリ依ツテ正式ニ抗議シ若シ該艦猶長沙ニアラハ群衆憤激更ニ意外ノ事變發生ヲ恐ル支那人ノ死傷及其ノ損害ニ関シテハ地方官ノ詳細報告ヲ待チテ更ニ辦法ヲ提出スヘキコトヲ予メ保留声明ス

就テハ右貴国政府ニ轉達シ且ツ伏見艦等ヲ速ニ撤退セシメラレタク日本人ノ生命財産ニ付テハ既ニ地方官ニ責任ヲ以テ保護方電訓セルニ付何分ノ儀至急回答ヲ請フ云々(公文郵送ス)

長沙ニ転電シ漢口ニ暗送セリ

六七 六月七日(発) 内田外務大臣ヨリ 在中国吉田臨時代理公使宛(電報)

排日ノ事態重大ナルヲ指摘シ之ガ取締リニ付 有効ナル措置ヲ執ル様外交部当局ニ嚴重申入 方訓令ノ件

第三七七号 至急

貴電第五一〇号及第五一五号ニ関シ

モノニシテ結局伏見艦員ノ執リタル措置ハ事情已ムヲ得サルニ出テタル正当防衛ノ行為ナルコトヲ説示シテ先方ノ切実ナル反省ヲ促シ我軍艦ノ行動ハ事態ノ推移ニ伴フ当該官憲ノ裁量ニ俟ツヘキモノナルコトヲ附言セラレタシ 右当方ヨリ漢口、長沙ヘ転電シ同様ノ趣旨地方官憲ヘ申入 方訓令シ長江筋各地ヘハ漢口ヨリ転電セシメタリ

六八 六月七日 在本邦張中国代理公使ヨリ 内田外務大臣宛

長沙事件ニ関シ外交部ノ訓令ニ基ツキ日本政 府ニ湖南省長提出ノ各条件ノ承諾及ビ安宅艦 ノ即刻撤退ヲ要求ノ件

外發字第一一一号

敬啓者關於長沙事件本代使謹奉政府訓令對 貴政府提出抗議一節業於昨六日以外發字第一〇九号公函函達 貴大臣在案茲復奉本国外交部來電內開日艦肇事案五日電計達頃拋湖南交涉司電稱此次肇事係因武陵丸抵埠時值学生市民在河岸演說軍警均在分別防範乃駐泊省河之伏見艦遽行派兵登陸示威經交涉司向日領声明力任保護日僑全責請飭將艦

段々ノ御尽力ニ拘ラス支那各地殊ニ長江筋ニ於ケル排日運動益々熾烈ヲ加ヘ長沙事件ノ如キ不祥事發生シ在留本邦人ノ生命財産容易ナラサル脅威ヲ受クルニ至リタルハ帝國政府ノ憂慮措ク能ハサル所ナルニ付テハ貴官ハ此際至急外交部當局ニ面接シ帝國政府訓令トシテ前記事態ノ重大ナルコトヲ指摘シ大要左ノ通嚴重申入レラレタシ

(一) 排日行動ノ嚴重取締方ニ関シ各地方官憲ニ對シ徹底的ニ有効ナル措置ヲ執ル様訓電ヲ發シ在留本邦人ノ保護ニ万遺漏ナキヲ期セシムルコト

(二) 若シ中央政府ノ訓令徹底セス各地方官憲ノ取締依然誠意ヲ欠キ在留本邦人ノ生命財産等ノ安全ヲ期スルヲ得サルカ如キ事態發生シタルトキハ我方ニ於テ臨機適当ト認ムル措置ヲ講スルニ至ル場合ナキヲ保シ難キニ付右予メ承知アリタキコト

(三) 各地排日運動ニ関連スル損害賠償要求其他ノ事項ニ付テハ公正嚴密ナル調査ヲ遂ケタル上追テ交渉スヘキコト尚又先方ヨリ伏見ノ出港ニ関シ何等申出アリタル際ハ伏見艦員ノ支那人殺傷事件ノ如キ重大ナル事態ヲ誘致スルニ至リタル根本の原因ハ畢竟支那側ノ取締不十分ナルニ存スル

兵撤回群衆經軍警勸解已漸散去日兵亦即撤回本可無事詎聞時未久日艦又派武裝兵登岸市民現既驚擾該艦長官竟指揮兵士向人叢射擊致釀慘禍而死傷之人又皆在日商碼頭租地以外足見當時追殺情形並非出於自衛該艦長及日政府應負責任現在情勢危急外艦實有從速退出之必要等語復准湖南省長電稱已向日領提出条件五款(一)此次槍殺華人之指揮軍官及其兵卒須按日本軍法嚴重治罪並將弁理情形照會華人(二)須對於槍殺及受傷華人從優給卹(三)須由日本艦隊司令官向湖南官庁謝罪(四)另由日本政府用正式公文向中政府表明道歉之意(五)須由日政府担保嗣後不再有此種事件發生等語已由部批照日代使轉達日政府迅予承諾並要求迅撤安宅兵艦希即向日外部表示中政府盼速撤艦及承諾提出条件以圖解決弁理並將接洽情形電復等因查現在國民激昂達於極頂湖南省長所提出各条件務懇迅予允諾並希飭令安宅兵艦即日離湘以圖解決實為貴我兩國之至幸相應函達謹請 查照迅速見復茲本代使對於 貴大臣特表敬意謹具

中華民國十二年六月七日

中華民國駐日本代理公使張元節(印)

日本外務大臣伯爵内田康哉閣下

(右和訳文)

拜啓陳者長沙事件ニ関シ本代理公使政府ノ訓令ヲ奉シ貴国政府ニ対シ抗議提出ノ件ニ関シテハ已ニ昨六日外癸字第一〇九号拙信ヲ以テ貴大臣ニ及照会置候処茲ニ復本国外交部ヨリ左記訓令ニ接到致候

日本軍艦ノ事件ヲ起セシコトニ関シテハ已ニ五日電報致置タル処更ニ湖南交渉司ヨリ今回ノ事件ハ武陵丸埠頭ニ到着セシ時学生及市民河岸ニ於テ演説シ軍警モ共ニ同所ニ在リ分別警戒シツツアリタルニ同港碇泊ノ伏見艦ハ遽ニ水兵ヲ上陸セシメ示威セシヲ以テ交渉司ハ日本領事ニ対シ全責任ヲ負フテ日本居留民保護ニカムヘキコトヲ声明シ該軍艦水兵ノ撤退ヲ請求シ群衆ハ軍警ノ勸告ニ依リ已ニ漸次解散シタリ日本兵モ亦直チニ撤退セハ本来無事ナルヘカリシニ詎ソ計ラム幾クモナクシテ日本軍艦又武装兵ヲ派シテ上陸セシメ市民驚擾セルニ対シ該艦長官竟ニ兵士ヲ指揮シテ群衆ニ向テ射撃セシメ慘禍ヲ醸成スルニ至リタリ而シテ死傷者ハ皆日本商人ノ波止場トシテ租借セル土地以外ニ在リ以テ當時追及銃殺ノ状況並自衛ニ

出ツルニ非サルコトヲ見ルニ足ルヘシ該艦長及日本政府ハ応ニ責任ヲ負フヘク現在情勢危急ナルヲ以テ外国軍艦ハ迅速ニ退出ノ必要アリ云々ト来電アリ又湖南省長ヨリ既ニ日本領事ニ対シ(一)今回支那人ヲ銃殺セル指揮官及其ノ兵卒ハ日本軍法ニ依リ嚴重ニ処罰スヘク並其ノ辦理状況ヲ支那側ニ通告スヘキコト(二)銃殺セラレ及負傷セル支那人ニ対シテハ厚ク給卹スヘキコト(三)日本艦隊司令官ハ湖南官庁ニ対シ謝罪スヘキコト(四)別ニ日本政府ヨリ正式公文ヲ用ヒテ支那政府ニ対シ遺憾ノ意ヲ表明スルコト(五)日本政府ヨリ将来再此クノ如キ事件ヲ発生セシメサルコトヲ保障スルコト等ノ五項ノ条件ヲ提出セル趣來電アリ依テ外交部ヨリ日本代理公使ニ対シ右日本政府ニ轉達シ迅速ニ承諾アリタキ旨並至急軍艦安宅ヲ撤退セシメラレタキコトヲ要求セリ就テハ貴代理公使ハ日本外務省ニ対シ支那政府ハ日本政府力速ニ軍艦ヲ撤退シ及支那側ノ提出セル条件ヲ承諾シ以テ本件ノ解決ヲ図ラムコトヲ希望スルモノナルコトヲ表示シ並其結果電報アリタシ就テハ現在国民ノ激昂極頂ニ達シ居リ候条貴国政府ニ於テ湖南省長提出ノ各条件ヲ速ニ御承諾アリタク並軍艦安宅ニ

即刻湖南ヲ退出スヘキコトヲ訓令シ以テ本件御解決相成様致度は実ニ貴我両国ノ幸ト存候何分ノ儀至急御回答相煩度此段照会得貴意候終ニ臨ミ本代理公使ハ貴大臣ニ対シ特ニ敬意ヲ表シ候

敬具

中華民國十二年六月七日

支那駐日代理公使 張元節

日本外務大臣伯爵 内田康哉閣下

六九 六月七日

岡田海軍次官ヨリ  
田中外務次官宛

在留邦人保護ノ目的ヲ以テ驅逐隊ノ揚子江方

面出動ニ関シ通牒ノ件

官房機密第八二四号

大正十二年六月七日

海軍次官 岡田 啓介(印)

外務次官 田中 都吉殿

驅逐隊揚子江方面出動ノ件

這般長沙ニ於ケル排日暴動ハ形勢倍々悪化ノ兆アルノミナラス其ノ余波揚子江沿岸ノ各地ニモ及ハントシ所在在留邦

一一 長沙事件 六九 七〇

人ノ生命財産ハ容易ナラサル脅威ヲ受クルニ立至ルノ虞アリト相認メ候ニ付在留邦人保護ノ目的ヲ以テ今回第二十四驅逐隊(桃、柳、樺、檜)ヲ小林第一遣外艦隊司令官ノ指揮下ニ属シ揚子江方面ニ行動セシメラレ候条御了知相成度右通牒ス

追テ右驅逐隊ハ出動準備完成次第佐世保軍港出発ノ予定ニ候

七〇 六月七日

在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙ノ事態急迫ニ付本邦人ニ対スル至急有効

ナル保護措置方ニ関シ中国側へ申入レノ件

付属書

六月二日付在北京日本公使館ヨリ中国外交部宛第一三六号覚書

公第三二三号

(六月十五日接受)

大正十二年六月七日

在支那

臨時代理公使 吉田 伊三郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿



二 長沙事件 七一

長沙事件ニ関スル件

本件ニ関シ左記書類及送付候也

大正十二年六月二日西田書記官外交部ニ交付覚書

関係電報往電第五一〇号

本信写送付先 長沙、漢口、上海

(付属書)

六月二日付在中国日本公使館ヨリ外交部宛第一三六号覚書写

第一三六号

覚書

長沙田中領事六月二日至急来電ニ依レハ前電以後一日夜ニ入り支那側ノ警備行届カス排日団ノ群衆ハ数隊ニ分レ本邦人商店ヲ襲ヒ暴行ヲ逞ウシツツアリ状況險悪成行懸念ニ堪ヘス本邦人ハ領事館若クハ商船ニ引揚ノ止ムナキニ至ルヘシト認メラル本件詳報ニ接セサルモ右ノ如キ急迫セル事態ニ顧ミ支那政府ニ於テ至急有効ナル保護手段ヲ講セラレムコトヲ要望ス

大正十二年六月二日

在支那

六二

日本帝国公使館

外交部御中

七一 六月七日 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙ノ險悪ナル排日状況及ビ伏見艦水兵発砲ノ経緯ニ付外交部宛説示ノ覚書写送付ノ件

付属書 六月四日付在中国日本公使館ヨリ外交部宛第一三七号覚書写

公第三二四号

(六月十五日接受)

大正十二年六月七日

在支那

臨時代理公使 吉田 伊三郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

長沙事件ニ関スル件

本件ニ関シ左記書類及送付候也

大正十二年六月四日西田書記官外交部ニ交付覚書写

関係電報往電第五一五号

本信写送付先 長沙、漢口、上海

(付属書)

六月四日付在中国日本公使館ヨリ外交部宛第一三七号覚書写

第一三七号

覚書

長沙ニ於ケル排日運動ハ日本側数次ノ取締要求ニ拘ラス同地官憲ノ取締緩慢ナル為其ノ排日ノ手段ハ近時益々露骨トナリ日本汽船及日本商店ヘノ出入ヲ妨害スル等不法ノ行為ヲ為シテ憚ラサルニ至リ居リシカ六月一日日清汽船武陵丸カ長沙ニ入港セムトスルヤ其ノ前夜排日団ハ從來ニ無キ大規模ノ妨害ヲ為サムト計画シツツアルコトヲ探知シ実情視察ノ為領事館ヨリ館員三名ヲ日清波止場ニ派シ一方在港中ノ軍艦伏見ヨリモ約十名ノ水兵ヲ武装セシムルコト無クシテ上陸セシメ万一ニ備ヘ居リタルニ排日団ノ群衆及取締ノ為現場ニ在リタル支那兵数名ハ右水兵及現場ニ在リタル日本人ニ投石シ終ニ支那兵ハ銃ヲ水兵ニ擬スルニ至リシヲ以テ軍艦ヨリハ応援ノ為武装兵約十五名ヲ上陸セシメ彼我对峙ノ形勢ニ在リシカ群衆ハ益々投石接近シ来リ危險ヲ感スルニ至リシヲ以テ少数ナル水兵側ハ自衛ノ必要上空砲ヲ放テリ然ルニ其空砲ナルコトヲ察知セル群衆ハ尚進ンテ水兵

二 長沙事件 七一

ニ接近シ其ノ銃ヲ奪ハムトスルニ至リシヲ以テ水兵ハ遂ニ発砲ノ已ムナキニ至リ死者二名負傷者数名ヲ出セリ

伏見艦長ハ事件一層拡大スルヲ顧慮シ領事館及軍艦間連絡ノ為数名ノ水兵ヲ残シタル外水兵全部ヲ軍艦ニ引揚ケシメタルカ群衆ハ依然日清波止場ニ集合シテ挙動不穩ナリ

湖南政府ハ伏見ノ一時港外ニ出港スルコトヲ要求シ居ルモ

長沙日本領事ハ支那官憲從來ノ取締振ニ鑑ミ該艦ノ出港ヲ

肯セス目下日本人ノ保護方ニツキ湖南政府ト交渉中ナリ

長沙ニ於テハ事件発生前後日本人関係ノ電話ハ絶エス通話

ヲ妨ケラレ日本領事ノ交渉署トノ交渉ニモ困難ヲ感シ居ル

有様ナリ

其後ノ急電ニ依レハ形勢益々險悪ニシテ或ハ近ク婦女子ヲ漢口方面ニ引揚ケシムルノ必要アルヤモ知レサル状態ニ在リ

大正十二年六月四日

在支那

日本公使館

外交部御中

六三

二 長沙事件 七二

七二 六月七日 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

伏見艦水兵発砲事件ニ関スル中国側抗議文写

送付ノ件

付屬書

六月五日付沈外交総長代理ヨリ吉田臨時代理公使  
宛照会鵝字第一三三三号

伏見艦水兵発砲事件ニ関シ抗議ノ件

公第三二五号

(六月十五日接受)

大正十二年六月七日

在支那

臨時代理公使 吉田 伊三郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

長沙事件ニ関シ外交部ヨリ抗議ノ件

本件ニ関シ左記書類及送付候也

民国十二年六月五日附沈代理部務ヨリ照会公文写

關係電報往電第五一八号

本信写送付先 長沙 漢口

(付屬書)

六月五日付沈外交総長代理ヨリ吉田臨時代理公使宛照会鵝字第  
一三三三号

六四

伏見艦水兵発砲事件ニ関シ抗議ノ件

照会 鵝字第一三三三号

外交次長暫行代理部務沈

為

照会事准湖南省長六月三日電称昨晨日輪武陵丸抵長沙適值  
市民游行講演日本商人故意挑釁而日本兵艦伏見号猝派水兵  
游行河畔商民驚疑当經交涉司長向日領交涉請將水兵撤回並  
声明負責保護日僑隨派軍警入場維持秩序乃日領及該艦長竟  
派全副武裝兵士上岸由官長指揮突彈向人叢衝擊立斃二人重  
傷二十余名垂死者三四名現湘省市民憤激異常已一律罷工罷  
市除一面勸導民衆靜候解決並向駐長沙日本領事嚴重交涉外  
請向駐京日本公使交涉將兵船先行撤退以息群怒等因查伏見  
兵艦上月停泊宜昌曾与当地商民衝突此次駛往長沙又因人民  
講演游行竟派兵登陸向徒手群衆開槍射擊死傷多命致肇慘禍  
応向

貴代理公使正式抗議如該艦仍泊長沙群情憤激深恐再釀意外  
除關於中国人民死傷及其損害本部預為声明保留俟地方官詳  
細報告到部再行提出并法外相応先行照会

貴代理公使查照希即轉達

貴国政府並電飭伏見兵艦等迅速退出長沙以平民憤至

貴国僑民在長沙之生命財産已電飭地方官負責妥加保護付候  
見復為荷須至照会者

右 照 会

大日本国欽命代理駐華全權公使 吉田

中華民國十二年六月五日

(右和訳文)

以書翰致啓上候陳者六月三日湖南省長ヨリ昨朝武陵丸長沙  
ニ着シタル時適々市民游行講演中ナリシニ日本商人ハ故意  
ニ釁ヲ挑ミ伏見艦ハ俄カニ水兵ヲ上陸河畔ヲ遊行セシメタ  
ルヨリ商民驚疑シタルニ付當時交涉司長ハ日本領事ニ対シ  
水兵ノ撤退ヲ交渉シ且責任ヲ以テ日本人ヲ保護スル旨声明  
シ軍警ヲ派シテ現場ニ赴キ秩序ヲ維持セシメタルニ日本領  
事及該艦長ハ武裝兵ヲ上陸セシメ官長ヨリ指揮シテ突彈ヲ  
以テ群衆ヲ射撃シ即死二名重傷二十余名瀕死三四名アリ現  
ニ湖南省市民ノ憤激甚シク已ニ一律罷工罷市ヲ行ヘリ依テ  
民衆ヲ勸導シ静カニ解決ヲ待タシメ且日本領事ニ嚴重交渉  
シ居ルニ付日本公使ニ対シ先ツ該艦撤退方交渉アリ度旨電  
請有之候查スルニ伏見艦ハ前月宜昌ニ於テ同地商民ト衝突  
シ今回長沙ニ赴キ又人民ノ講演游行アルヤ水兵ヲ上陸セシ

二 長沙事件 七三

メ徒手ノ群衆ニ向ツテ射撃シ多数ノ死傷ヲ惹起セル次第ニ  
付茲ニ貴代理公使ニ対シ正式ニ抗議ス若シ該艦尚長沙ニア  
ラハ群情憤激シ更ニ意外ノ事變發生ノ恐アリ支那人ノ死傷  
及其損害ニ関シテハ地方官ノ詳細報告ヲ俟ツテ并法ヲ提出  
スヘキコトヲ本部ハ預メ保留声明ス就テハ右ノ次第貴国政  
府ニ轉達シ伏見艦等ヲ速カニ撤退セシメ以テ民憤ヲ鎮靜シ  
度長沙ニ於ケル日本人ノ生命財産ニ付テハ已ニ地方官ニ責  
任ヲ以テ保護方電訓致置候何分ノ儀至急御回答相成度此段  
照会得貴意候

敬具

七三 六月七日

在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙事件ニ関シ外交部ヨリ抗議及ビ条件提出

ノ件

付屬書

六月六日付沈外交総長代理ヨリ吉田臨時代理公使  
宛照会鵝字第一三七七号

右同伴

機密第五二二号

(六月十五日接受)

大正十二年六月七日

在支那

六五

臨時代理公使 吉田 伊三郎 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

本件ニ関シ左記書類及送付候也

民国十二年六月六日附外交部ヨリノ照会写

關係電報第五二一号

本信写送付先 長沙 漢口

(付屬書)

六月六日附沈外交總長代理ヨリ吉田臨時代理公使宛照会鵝字第  
一三七号写

照 会 鵝字第一三七号

外交次長暫行代理部務沈

為

照会事日艦伏見号水兵在長沙槍斃人命事迭據地方報告情勢  
危急本月五日照請轉達

貴国政府並電飭伏見兵艦等迅速撤退以平民憤計邀

諒答茲復據湖南交涉司電称伏見艦已開駛出港惟統從漢口開  
來之安宅艦依然留泊現在湘省情勢危急群憤未平外艦実有從  
速退出之必要又據電報此案發生係因本月一日午前八時有日  
清公司商輪武陵丸抵埠時值学生市民等在河岸演說群相聚觀  
当地軍警均在分別防範乃駐泊省河之日艦伏見号聽日人方面

危言遽行派兵登陸示威本司聞報立向日本領事声明主權關係  
並力任保護日僑全責請飭將艦兵撤回一面加派軍警入場分途  
竭力彈压該処群眾衆經軍警勸解遂漸散去日兵亦即撤回是時情  
形本可相安無事詎閱時未久日艦又派武裝兵登岸該処聚觀市  
民尚多頓起驚擾該艦長官竟指揮兵士突向人叢射擊立斃二人  
重傷多人中国軍警仍在彈压市民維持秩序該艦兵等安然回艦  
毫無所損本司一面電知領事一面馳赴現場履勘驗得死傷多人  
彈痕刀傷血肉狼藉厥狀甚慘查皆係商賈貧民而倒斃受傷又皆  
在日商碼頭租地以外足見該艦兵衝擊追殺事実顯然况係該艦  
長官命令行動尤為蔑視主權故意挑釁責任所在已由省長向日  
本領事提出条件等語並先准湖南省長電告肇事慘狀湘民橫遭  
戕害人心憤激勢難遏止已向日本領事提出条件五款一此次槍  
殺華人之指揮官及其兵卒須按日本軍法嚴重治罪並將弁理情  
形照会華官二須對於槍殺及受傷華人從優給卹三須由日本艦  
隊司令官向湘省官厅謝罪四另由日本政府用正式公文向中国  
政府表示道歉之意五由日政府担保嗣後不再有此種事件發生  
並請政府提向日本駐京公使抗議各等因到部查長沙市民講演  
游行既經地方官派軍隊分途竭力彈压復向日本領事声明力任  
保護日僑在地方官実已完全負責乃日艦竟於群眾漸散之時派

兵武裝登岸由長官指揮傷害多命実屬有意殘殺況市民均係徒  
手其死傷之人又皆在日商碼頭租地以外足徵當時追擊情形並  
非出於自衛行動則当事官長暨

貴国政府実負重大之責任前項所提各条件均屬公平之要求相  
應照会

貴代理公使查照即將以上各節轉達  
貴国政府迅予承諾並速飭統到之安宅兵艦立時退出長沙以圖  
解決弁法是所切盼須至照会者

右 照 会

大日本国欽命代理駐華全權公使 吉田

中華民國十二年六月六日

七四 六月八日 (発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

軍艦伏見ノ出港ニ関シ中国側ニ通知済ノ旨長

沙領事ヨリ報告ノ件

第九七号

長沙発本官宛電報第二四号

在支公使及大臣へ左ノ通

二 長沙事件 七四 七五

在支公使発本官宛電信第三号伏見出港ノ件ハ既ニ同艦長及  
安宅艦長ト協議ノ結果通知済ナルヲ以テ此ノ措置ハ事件ノ  
拡大ヲ防止スル上ニ於テ得策ト認メタル便宜ノ手段ナルヲ  
重ネテ明言シ並同電報末段ノ主張ヲ加ヘタル照会文ヲ省長  
ニ送り置ケリ伏見事件応待二回ノ照会先方ヨリ接到右ニ依  
レバ軍艦安宅ノ出港ヲモ同一ノ趣旨ニテ要求シ居レリ為念  
(六日)

七五 六月八日 (発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

伏見出港後ノ長沙学生団等ノ排日運動及ビ之

ニ対スル湖南省政府ノ処置振ニ関シ長沙領事

ヨリ報告ノ件

第九八号

長沙発本官宛電報第二五号

大臣公使へ左ノ通

引揚ケ後ノ当地状況ヲ見ルニ政府側ハ我 (脱) 寧口狼狽ノ  
体ニテ遽ニ警備ヲ増シ取締リヲ嚴ニシ切ニ事ナキヲ期シ居  
ルモノノ如クナルガ群眾殊ニ学生団ハ益々増長シ過激的ト

ナリ官憲側ノ鎮撫ニ反抗ノ体ニ出デツツアリ故ニ此際政府ガ大局ニ顧ミ武断ノニ此等熱誠団ヲ庄迫スルガ如キ所為ニ至ラザレバ到底取捨シ能ハザルベク只夫レ迄省政府ガ現勢カヲ維持シ来レル武力ヲ以テ右学生団等ノ徹底の取締リニ当リ得ルヤハ疑ハシク前途更ニ一層ノ注意ヲ要ス為念

外務大臣、在支公使へ転電アリタシ

七六 六月八日（着）在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙事件ニ関スル中国側要求五条件ノ日本側

ニ於ケル承諾及ビ安宅艦ノ至急退出方ニ付外

交部ヨリ要請越シノ件

第五二二号

往電第五一八号ニ関シ外交部ヨリ六日附公文ヲ以テ更ニ大要左ノ通り照会アリタリ

湖南交渉司ヨリハ伏見既ニ出港シタルモ安宅依然碇泊シ民衆ノ憤慨アルニ付至急退出ノ必要アル旨及（本件詳細ノ状況東方第五七号ニテ打電済ノ支那側発表ト同様ノ事実ヲ述ベタル後）死傷者ハ皆日本汽船会社ノ租地外ニシテ水兵ノ

第一〇〇号

長沙来電第二八号

今朝伏見ハ司令ノ命ニ依リ下流ヨリ再ヒ入港当館前ニ碇泊セルヲ以テ此旨交渉使ニ通知セシニ先方ニ於テハ之ヲ意外トシ直ニ戒嚴令取消ヲナスヘシト云ヘリ又学生其他ノ民衆モ一層激昂スヘキハ勿論ナルカ折柄強雨ノ為学生等遽ニ行動ヲ開始スルコト万ナカルヘキモ事態ハ極メテ險惡ニ陥レリ伏見入港ハ此際省政府側對省議會及民衆ニ對スル關係上極メテ遺憾トスル所ニシテ政府ハ態度ヲ変スル虞アリ

外務大臣及在支公使へ転電セリ

七八 六月八日（発）在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

伏見艦陸戰隊長沙上陸ヨリ群衆ト衝突ニ至ル

迄ノ情况ニ関シ長沙領事ヨリ回電ノ件

第一〇一号

長沙発本官宛電報第二七号

大臣発本官宛電信第一六号ニ関シ

從來本邦船発着ノ際学生団ハ右乗客ニ對シ絶エズ妨害シツ

二 長沙事件 七八

突撃追殺シタルハ明瞭ニシテ況ンヤ右行動ハ該艦長ノ命ニ依リタルハ最モ主權ヲ蔑視シ故意ニ釁ヲ挑ミタル次第ニ付省長ヨリ日本領事ニ条件ヲ提出セリトノ旨電報アリ又之ヨリ先湖南省長ヨリ人心ノ憤激抑ヘ難キニ付既ニ日本領事ニ對シ五条件（漢口發閣下宛第八五号支那側ノ要求ト同様ナリ）ヲ提出シタル旨電報アリタリ査スルニ本件ノ状況ニ鑑ミルニ日本兵ノ行動ハ自衛ニ出デタルニ非ズ前記ノ各条件ハ何レモ公平ノ要求ト認メラルルニ付日本政府ニ伝達セラレ速ニ承諾アリタク且安宅ヲ至急長沙ヨリ退出セシメ本件ノ解決ヲ計リ度シ云々、依ッテ公文郵送ス

長沙へ転電シ漢口へ暗号ノ儘郵送セリ

（奉天經由六月八日前八、一五）

編註 東方ハ東方通信

七七 六月八日（発）在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

伏見艦ノ長沙再入港ハ省政府側對省議會及ビ

民衆ニ對スル關係上極メテ遺憾ナル旨長沙領

事ヨリ電報ノ件

ツアリ殊ニ当日ハ武陵丸入港ヲ機トシ大規模ノ妨害計画アルヲ探知セルヲ以テ館員一名小沢署長及巡查二名ヲ派スルト共ニ伏見艦長ニモ水兵数名ヲ散步ニ装ヒ同地ニ派遣ヲ請ヒテ共ニ其実狀ヲ觀察セシメシ処（小官ハ初メヨリ絶対ニ手出シスルコトヲ止メ置ケリ）軍艦ヨリハ武装セザル少尉以下水兵十名上陸シタリ此際群衆ノ數ハ益々増加シ侮辱の態度ニ出デシガ尚水兵及本邦人ニ對シテハ何等暴行ナカリシガ長ク水兵ヲ置クコトハ不適當ト認メ小沢署長ハ水兵ヲ一先ゾ隣家戴世昌ノ事務所ニ引入レ休憩セシメ小官ニ報告ノ為帰途ニ就ケリ其后水兵ハ二三名宛交互ニ出デテ模様ヲ見居タルニ群衆ハ更ニ増加ト共ニ水兵ニ對シテモ罵詈ヲ加フルモノアリキ此頃小官ハ模様ヲ聴キ事件ヲ惹起スルヲ惧レ電話ニテ水兵全部即時引揚ヲ命ジタルモ行違ヒノ為水兵ニ通ゼズ此時偶々戴世昌汽船到着僅カ一名ナリシ乗客下船セシヲ学生ノ一団取押ヘ乱打侮辱ヲ加ヘタリ此頃ハ水兵ハ日清汽船戴世昌ノ各碼頭ニ二隊ニ別レ戴世昌ノ方ニ赴キシ水兵ノ内一機関兵曹ハ右乗客殴打ヲ見兼ねテ之ヲ輕ク止メタルニ学生ハ直ニ棍棒ニテ其腕ヲ殴打シ出血ヲ見之ガ動機トナリ群衆ハ水兵ヲ包圍シテ盛ンニ投石シ始メ事態益々

二 長沙事件 七九

不穏トナリシヲ以テ水兵ハ一同日清汽船事務所ニ引揚ゲシ  
処群衆ハ之ヲ包圍シテ外部ヨリ益々投石セルヲ以テ水兵ハ  
事務所ヲ出デ一応帰艦セントセシニ群衆ノ投石益々募リ水  
兵ニシテ投石ヲ受ケザル者ナシ而モ依然抵抗セズ此時小官  
ノ要求ニ依リ支那側ヨリ派遣ノ約二十名ノ軍隊ハ何等取締  
リヲナサズ全然傍觀シ居リシガ一本邦人ガ右軍隊ノ或者ニ  
群衆取締方ヲ要求セシニ支那兵二名ハ裝填射撃ノ態度ヲ取  
リ更ニ水兵ニ向ッテ同一ノ態度ヲ示スニ至リタリ（此時ニ  
傍觀ノ本邦人ハ頻リニ武裝ノ必要ヲ唱ヘタリ）依テ水兵ハ  
一団トナリ投石ヲ受ケツツ棧橋ヲ渡リテ群衆ト対峙セリ群  
衆ハ之ヲ見テ一寸四散セシガ忽チ集合シ投石一層劇シカリ  
シヲ以テ水兵ハ空砲ヲ約二回発シタルニ群衆ハ其空砲ナル  
ヲ知り益々接近シ来リ一水兵ノ銃ヲ奪ハントシ技ニ已ムナ  
ク実弾ヲ発射スルコト五十発終ニ二名ヲ殺シ大小十名ノ負  
傷者ヲ生ジタルガ此時艦長ハ事態益々拡大ヲ看取シ信号ヲ  
以テ帰艦ヲ命ジタリ此際取締リノ為出張セシ支那兵ハ何等  
応射ノ態度ナク全ク傍觀シ居タリ右ハ初メヨリ現場ニ居タ  
ル当館々員及軍艦側ノ説明ヲ綜合シ真相ト認メラル小官ハ  
陸戦隊上陸ノ報ヲ聞キ現場ニ赴カントセシガ危険アリシヲ

(付記)

長沙領事館管内本邦人口数

| 十年六月末現在 |     |     |     |     | 十一年六月末現在 |     |     |  |  |
|---------|-----|-----|-----|-----|----------|-----|-----|--|--|
|         | 男   | 女   | 計   |     | 男        | 女   | 計   |  |  |
| 内地人     | 二二六 | 一〇九 | 三三五 | 一八七 | 一二二      | 三〇八 |     |  |  |
| 朝鮮人     | 一   | 一   | 一   | 一   | 一        | 一   |     |  |  |
| 台灣人     | 九   | 二   | 一一  | 四   | 一        | 四   |     |  |  |
| 總数      |     |     | 三四七 |     |          |     | 三一二 |  |  |

八〇 六月九日（発）在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

伏見艦再入港後ノ長沙情況ニ付長沙領事ヨリ

報告ノ件

第一〇二号

長沙発本官宛電報第三一号

二 長沙事件 八〇 八一

七〇

以テ直ニ軍艦ニ赴キ艦長ニ之ガ引揚ヲ求メントセシニ既ニ  
陸戦隊ハ引揚ノ途ニ就キタル所ナリ  
外務大臣、在支公使ヘ転電アリタシ

七九 六月九日（発）内田外務大臣ヨリ  
在漢口林總領事宛（電報）

長沙在留邦人ノ他地方ヘノ引揚ゲニ関シ訓令  
ノ件

付記 長沙領事館管内本邦人口数

第四六号

長沙ヘ左ノ通り転電アリタシ

第二〇号

貴官發漢口宛電報第二二二号ニ関シ

貴官及在留民ノ困難ナル事情ハ深く諒察スルモ在留民ノ他  
地方ヘノ引揚ハ慎重考慮ヲ要スル次第ナルニ付万已ムヲ得  
サル場合ノ外之ヲ差控ヘラルル様致シ度シ食料品其他日用  
品ノ供給ニ付テハ漢口總領事トモ充分ナル連絡ヲ保チ遺憾  
ナキ様手配アリタシ

北京ヘ転電アリタシ

只今迄ノ状況ハ伏見入港ニ拘ラス概シテ平穩ナルカ支那側  
ノ取締幾分嚴重トナリシ結果ナルヘキモ尚學生団ハ三々伍  
伍隊ヲナシ旗ヲ立テ市中ヲ徘徊シ日用品ノ買入小舟ノ傭入  
ハ猶不可能ナリ湘潭在留民及当地在留民ノ一小部分カ今朝  
沅江丸ニテ随意漢口ニ引上ケタリ（八日）

八一 六月九日（発）内田外務大臣ヨリ  
在上海船津總領事宛（電報）

驅逐艦四隻ノ上海到着予定通知及ビ陸戦隊ノ

上陸要求ニ関シ關係領事ニ訓令ノ件

第八八号 至急

漢口宛往電合第一〇一号ニ関シ

驅逐艦四隻九日佐世保發十一日貴地着ノ管軍艦ノ行動ニ付  
テハ海軍側ニ於テ十分慎重ナル態度ニ出ツルコト勿論ナル  
モ關係領事ニ於テモ万不得已場合ノ外陸戦隊ノ上陸等ヲ要  
求セサル様致シタシ為念

北京、南京、九江、漢口、沙市、宜昌、重慶、蕪湖、杭  
州ヘ転電シ漢口ヲシテ長沙ヘ転電セシメラレ度シ

七一

八二 六月十日（着）在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

排日行動嚴重取締方ニ関シ沈外交総長代理ニ

我方要求申入ノ件

第五二七号

貴電第三七七号ニ関シ八日約一時間半沈瑞麟ニ嚴談セリ沈ハ我申入レニ対シ嚴重電訓方取計フベキモ伏見艦員ガ徒手ノ支那人ヲ埠頭外ニ多数殺傷シタルハ自衛ト認ムル能ハザル暴行ニ付既ニ二回正式ニ抗議シ且要求条件ヲ提出シタルガ解決ヲ容易ナラシムル為軍艦ノ出港ヲ望ムト述ベタルニ付本官ハ我入手セル詳報ノ支那側ノト大差アル点ヲ指摘シ支那政府ハ帝国臣民保護ノ責アリ我軍艦ノ出入ハ同政府ノ干与スベキ所ニ非ザル旨及貴電第三七七号後段ノ趣旨ヲモ説示シタル外尚本邦人迫害ノ実情ヲ述ベ我軍艦ノ出港ヲ欲セズ先ツ徹底の居留民保護ノ実ヲ挙グルニ在ル旨ヲ述ベタルニ沈ハ政府ハ出港ヲ以テ本邦人ニ保護ヲ与フル条件トスルニ非ズ平常ナラバ軍艦ノ在否ハ関係無キモ死傷者ノ下手人ハ伏見水兵ナレバ長沙市民ハ軍艦ヲ恨ミ居レリ而シテ本件ハ各地ニ広ガラザル様速ニ解決スル要アレバ軍艦ヲ出港

セシメ支那提出条件ノ承諾アル事捷徑ナリト繰返シタルニ付本官ハ本件迅速解決ノ事ハ同感ナルガ支那提出条件ハ我方ヨリコソ提出スベキモノナリ軍艦ハ斯ル事變ノ際コソ必要アリ出港ノ事支那タツテノ希望ナレバ取次グヲ辞セザルモ帝国政府同意セザルベシト云ヒシニ沈ハ帝国政府ハ本官ノ進言ヲ依頼セシモ本官ハ帝国臣民保護ノ責ニ任ゼルモノハ出港後居留民ノ或ハ蒙ルベキ危害ノ大ナルニ顧ミ右ノ進言ヲ諾シ難シト語リ置ケリ

長沙へ転電シ漢口へ暗号ノ儘郵送セリ

（奉天經由 六月十日後〇・四五）

八三 六月十一日（発）在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

湖南省長ヨリ伏見安宅兩艦ノ長沙出港要求ニ

関スル件

第一〇七号

在長沙領事発本官宛電報第三〇号

昨夜深更省長ノ命ヲ奉シテ交涉司長来訪伏見艦ノ重ネテ入港ヲ以テ時局ニ対シ我方ニ誠意ナキモノトシ此際是非伏見

ゾル

安宅兩艦ヲ一律出港セシメタキ旨ノ要求ヲ説明シ省長ノ公文ヲ小官ニ手交セルヲ以テ小官ハ安宅ノ出港ノ問題トナラザルコト及伏見艦ハ所屬司令官ガ伏見一時錨地ヲ下流ニ移シタル以後ニ於テサヘ長沙ノ現状ハ更ニ悪化シ本邦人モ一地方ニ集合スルノ已ムナキ状態ニテ而モ支那側最後ノ手段タル戒嚴中ニ於テ尚学生等ノ暴挙実例頻々タル次第ナルニ鑑ミ更ニ兩艦ヲ領事館前ニ移ス必要ヲ認メタル結果其入港ヲ見タル次第ナルベキヲ以テ支那側ガ司令官ヲシテ満足セシムルニ足ル徹底の取締ヲ為シ暴行者影ヲ潜ムルニ至ル迄ハ到底望マレザルベシト答ヘ置ケリ而シテ此際如何ナル措置ヲ希望スルヤノ問ニ対シ小官ハ差当リテノ措置トシテハ（一）外交後援会等ノ排日団体ヲ解散シ其首腦者ヲ処罰シ今後同様団体ノ組成ヲ取締ルコト

（二）学生団ノ元兇ヲ処罰シ其取締ヲ徹底のナラシムルコト

（三）警察ガ排日行動ニ加ハリシ形跡顯著ナルヲ以テ之ガ責任者ヲ処罰シ改革ヲ計ルコト

（四）排日ヲ煽動セル支那商人ヲ取締ルコト

（五）排日空氣ヲ瀾漫セシメシハ省長ノ取締不徹底ノ結果ナルニ付省長ハ告示其他ノ方法ニ依リ此空氣緩和ノ処置ニ出

右先方ノ口吻ニハ重ネテ北京外交部ヲ經テ公使ニ交渉スベシト認メラルルヲ以テ右成行不取敢電報ス  
外務大臣及在支公使へ転電セリ

~~~~~

八四 六月十一日 (着) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

伏見艦ノ長沙撤退ニ関シ外交部トノ応酬振ニ  
付キ報告ノ件

第五二八号

六月十日熊垓沈次長ノ命ヲ帶ヒテ来館有田ニ面会ノ上九日  
湖南政府ヨリノ来電ニ依レハ同地学生団其ノ他ハ伏見ヲ撤  
退セシメサレハ交渉使ヲ殺シ政府ヲ焼払フヘシト激昂シ居  
ル由ニ付何トカ方法ナカル間敷キヤト述ヘタルニ付有田ハ  
湖南政府ハ何故全力ヲ挙ケテ不法ノ徒ヲ彈圧セサルヤ学生  
輩ノ騷擾ニ依リ帝國臣民保護ノ為ニ碇泊シ居ル軍艦ヲ移動  
セシムルコトハ日本政府トシテ断シテ出来サルコトナリ之  
ヲ支那政府ノ立場ヨリ見ルモ学生ノ蠢動ニ怖レテ無法ノ要  
求ヲ外国政府ニ取次クカ如キ惡例ヲ開クコトハ得策ニアラ  
サルヘシト述ヘタルニ熊ハ湖南政府ニ於テ一層取締ヲ為シ  
タラハ如何ト謂ヒタルニ付領事及艦長ノ考ヘ次第ニテ明日  
ニモ錨地ヲ變更スルカ如キコトアルヤモ知レサルモ湖南政  
府力断乎タル処置ヲ執ルコトハ何レニスルモ絶對ニ必要ナ  
リ臨城土匪ニ対シ支那政府ノ執ラントシタル態度ハ此際本

ハ交渉司長ト同道態々当館ニ来訪シ

(一) 各省ト同様当地ニ於テモ民衆運動取締ノ困難ナル時勢ナ  
ルコト

(二) 省政府トシテハ從來右取締ニ対シ充分誠意ヲ有シ唯反動  
ヲ怖レテ高压ノ手段ヲ執ラズシテ今日ニ至リシコト

(三) 政府ハ本邦人生命財産ノ保護ノ為省憲法ニ違反シ省議會  
ノ協賛ヲ経ルニ暇ナク政府ノ運命ヲ賭シテ戒嚴令ヲ布キ  
居ルコト

(四) 伏見ハ今ヤ当地各界ヲ通ジ怨恨ノ的トナリ若シ此儘放任  
シ置ク時ハ民衆ハ直接本邦人ニ反抗スルコト無カルベキ  
モ政府ノ措置ニ対スル不滿ハ何時爆發スルヤ計リ難ク現  
ニ直接責任者タル交渉司及其官衙ニ対シ暴挙ヲ加フル謠  
言等ノ盛ナル一方政府ヲ乘リ取ラントスル反對党ノ之ヲ  
利用セントスル模様アルコト

(五) 政府ハ伏見出港ヲ以テ議會側及民衆ヲ抑ヘ居タル關係上  
(三)、(四)ノ事情ノ為我政府ハ斃ルルコト明ニシテ斯ル結果  
進ンデハ日本ハ民衆ノミナラズ唯一ノ同情者タル現政府  
ノ怨ヲ買ヒ其反感更ニ濃厚トナリ永ク払フベカラザルコ  
ト

件学生等ニ対シテ執ルヘキ態度ニ外ナラスト答ヘタルニ其  
ノ趣次長ニ復命スヘシトテ引取りタリ

長沙發漢口宛第二八号伏見ノ再入港ハ如何ナル必要アリテ  
ノコトナルヤ承知セサルモ一度錨地ヲ變更シタル後ニ於テ  
再ヒ入港シタルハ不必要ニ排日団ノ感情ヲ激セシメタルノ  
憾ミアリ就テハ伏見ノ入港ニシテ特別ノ事情ニ基カサル限  
リ可成速ニ適當ノ機会ヲ見付ケテ再ヒ下流ニ錨地ヲ移ス様  
致シタシ

漢口ヲ經テ長沙ニ転電ス

(奉天中継六月十一日前八・三〇)

八五 六月十二日 (発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南省長長沙領事館ヲ来訪シ伏見艦ノ出港ニ

関シ懇請ノ件

第一〇八号

長沙發本官宛電報第三五号

往電第三〇号(在漢口總領事宛) 以後伏見出港ニ就キ支那  
側ハ公文及電話ニテ屢申越ノ次第アリシガ昨九日深更省長

(四) 伏見ガ本邦人保護ノ任務ヲ有スル以上事態擴大ヲ防グ処  
置トシテ此際出港スルコトハ主義ニ於テ矛盾ナキコト

等ノ事情ヲ縷述シ之ガ出港(已ムヲ得ザレバ数哩下航シ模  
様ヲ見ルコト)方ヲ懇願(要求ナラザルコトヲ反覆附言セ  
リ)ス其代リ政府トシテハ日本側ノ希望ニ対シテハ全力ヲ  
以テ之ガ達成ヲ期スベク若シ容レラレザルニ於テハ本邦人  
ノ保護ニ任ズル能ハザル旨ヲ述ベタリ依テ小官ハ省政府ガ  
從來徒ラニ民意尊重ヲ名トシ他ニ其類ヲ見ザル非人道的団  
体ノ存在ヲ認メ毫モ取締ノ誠意ヲ示サザリシコト其結果今  
日ノ民衆増長ヲ誘致シタルモノニテ今日ニ至リ之ガ取締ニ  
苦シミ我方ニ対シ事理ヲ没却セル軍艦出港ノ希望ヲ申シ出  
ゾルハ甚ダシキ錯誤ニシテ省政府ノ立場ニハ同情スルモ帝  
国政府モ恐ラク考量ノ余地無カルベキヲ告ゲ尚一応安宅艦  
長ト協議ノ上司官ノ命ニ依リ来航セル伏見ノ出港ニ関シ  
テハ最早当地限り何等ノ措置ヲ執リ難ク一応省長申出ノ次  
第ヲ帝國政府ニ取次グベキコト及其如何ニ拘ラズ本邦人保  
護ノ責ハ依然省政府ニ在ルコト申入レ置ケリ省長右ノ申出  
ノ内ニハ多少支那人通有ノ掛引アルベキモ南北關係ニ依リ  
反對派ガ此機ヲ利用シ省内主權ヲ掌握セントスル氣運アリ

トノ先方申出ハ支那新聞其他ノ情報ヲ綜合シ且ハ省長ガ小官往訪ヲ断リ四圍ノ状況極メテ困難ナルニ拘ラズ深夜態々當館ヲ訪問セラレシ態度ニ鑑ミ之ヲ事実ト認メラレ伏見ノ去就如何ニ依リテハ由々シキ政変ヲ惹起スベク排日問題解決ニハ却ッテ好個ノ成行ト認メラル只其政変ハ暴動或ハ軍隊ノ離叛何レノ形式ニ依リ行ハルルヤ予測シ難ク我方ニ於テ此際一層ノ注意ヲ要スルハ勿論ナリ御参考迄電報ス  
在支公使、大臣へ転電アリタシ

八六 六月十三日（着） 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙米國領事ノ排日の演説ガ長沙事件ノ一原因ナリトスル英國公使ノ内話報告ノ件

第五三二号

在長沙米國領事ガ不都合ナル排日の演説ヲ為シタルハ長沙事變ノ一原因ナルベキ趣同地英國領事ヨリ報告アリシ旨十一日英國公使内話セリ

漢口、長沙へ転電セリ

（奉天中継六月十三日前九、四〇）

八七 六月十三日（発） 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙在留邦人ノ復歸ノタメ湖南省長ニ対シ排日取締リ五ヶ条ノ断行ニ関シ要求ノ件

第一〇九号

在長沙領事發本官宛電報第三九号

昨十一日小官安宅艦長同道省長ヲ訪問（司長同席）在留本邦人ヲ當館及商船ニ收容シ身辺ノ危険及生活上ノ脅威ヨリ免ルルノ措置ニ至リシ遠因ハ省政府カ外交後援会ノ如キ不法団体ノ存在ヲ認メ其暴行ヲ（脱）セシメシニアルコトヲ詳説シ今後尚省政府ノ取締不徹底ナルニ於テハ本邦人ハ他ニ引揚ノ已ムナキニ至ルモ斯クテハ事態益々拡大シ兩國ノ關係ニ重大ナル問題ヲ惹起スヘキニ鑑ミ此際至急本邦人ヲ各住所ニ戻ラシムルヲ緊急トスルニ付之カ為省長ニ五ヶ条（漢口宛拙電第三〇号ニ列挙セルモノヲ敷衍セルモノナリ）ノ断行ヲ要求シ數日間其效果ヲ注視シ本邦人カ其住所ニ戻リ安心業務ニ従事シ得ル見込確然タル上ハ其收容ヲ解除スル旨及其後ニ於テ万一排日風潮再発ノ事実アル場合一事実ヲ指摘シ之カ取締ヲ要求スヘキ旨ヲ申入レシニ省長

ハ当方ノ主張ヲ全部承認シ右五ヶ条中現ニ外交後援会ノ如キ解散ヲ命シタル位ニシテ緩急ノ程度ハアルモ何レモ実行中ナル旨及今後本邦人ノ生命財産ニ対シテハ全責任ヲ以テ保護スヘキニ付即時住所ニ戻ラシメタシト答ヘタリ依ッテ小官ハ尚數日其効果ヲ見テ決定スヘキ旨ヲ述ヘタルカ其際省長ハ漢口宛往電第三五号ノ如キ事態ヲ反覆縷述シ伏見ノ在港ハ省政府ヲシテ益々困難ナラシメ延イテ本邦人ニモ不利益ナル結果ヲ及ボスモノナルヲ以テ是非省長ノ懇願ヲ容レ至急出港スル様尽力ヲ請フ旨及若シ出港後支那側ノ取締不行届ナルニ於テハ再ヒ入港セラルルコト勿論差支ナキ旨ヲ述ヘタリ惟フニ兩三日來支那側ノ取締振ハ從來ニ見サル徹底のトナリ諸種ノ点ヨリ見テ一日毎ニ改善ノ跡瞭ナルヲ以テ此際先方ノ希望ヲ容レ伏見ヨ一時出港セシメ政府側ニ德ヲ売リ今後ノ取締ヲ迫ルコトモ得策ト認メラレサルニアラス而シテ伏見出港問題發生以來已ニ日數ヲ經過セルヲ以テ主義体面ノ問題モ程度ヲ低メ一方此際我方ニ於テ飽迄強硬ニ先方ノ希望ヲ拒絶スルコトハ省政府ヲ（脱）ノ結果ヲ見ルコトアルヘキモ省議會ハ勿論現政府有力分子ニシテ新政府ニ殘留スルモノアルヲ考ヘサルヘカラス又不統一不節

制ヲ以テ知ラレタル当地本邦人ヲ長ク當館ニ收容シ置クコトハ海軍側ノ援助ニ依リ小官如何ニ之カ鎮撫ニ努ムルモ日ヲ経ルニ從ヒ面白カラサル結果ヲ惹起スル虞アルコトモ考ヘサルヘカラス此等ノ事情ニ鑑ミ此際伏見ノ出港ハ確ニ一考ノ価値アルモノト思料ス何分ノ（脱）通航ハ先方ニ於テモ最早問題トセス伏見ニ代ユルニ他ノ軍艦ヲ以テスルコトモ差支ナキハ勿論ナリ為念

八八 六月十三日（発） 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

外交部ヨリ湖南ノ秩序安靜シタルニ付即刻日本軍艦撤退方ニ付日本政府ニ電請方申越シノ件

第五三六号

外交部十三日附左記公文ヲ持シ熊埃本官ヲ來訪シ撤退方懇請シタルニ付兎ニ角取次グベキ旨答ヘ置ケリ  
湖南交渉使十二日發電ニ依レバ湖南ノ秩序安靜シ日本人ノ市街ニテ物ヲ購フニモ毫モ阻害ナク昨日日本領事及艦長ハ省長ニ面会シ四面ノ情形平日ト異ルナク保護周到ナリト認



メ感謝ノ意ヲ述ベタリ曩ニ日本ハ情形危険ニ口ヲ藉リタルガ現ニ日本領事及艦長ノ四面ノ安靜復旧シタルヲ認メタルニ依リテモ軍艦碇泊ノ必要ナキヲ証スルニ足ルベキニ付日本公使ヨリ軍艦ノ撤退ヲ命ゼラレタシト申越セリ依ッテ即刻軍艦撤退方日本政府ニ電請アリタシ

長沙、漢口ニ転電セリ

八九 六月十三日 (発) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

伏見艦ノ長沙出港ヲ然ルベシト思考スル旨稟  
申ノ件

第五三七号

漢口発閣下宛第一〇八号ニ関シ

此上伏見ヲ長沙ニ止メ置ク要ナシト認メラルルニ付最近ノ機会ニ於テ出港セシメラルル方然ルベシト思考ス

漢口、長沙ニ転電ス

九〇 六月十四日 (発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

九一 六月十五日 在本邦張中国代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙碇泊中ノ日本軍艦ノ撤退方申出ノ件

付記 同日張中国代理公使持参ノ外交部発同代理公使宛  
電報写

敬啓者關於長沙事件本代使兩次函達

貴大臣在案頃本代使又奉政府十四日訓電内開現擬湖南地方官電称地方已安靖如常日僑出入街中毫無阻碍日本領事及艦長面晤省長亦謂市面情形与平日無異認為保護周妥深表謝忱除照会吉田代使外希切向日外部声明地方業已平靖如各艦仍須泊長沙人民反生惡感誤會滋多等因奉此相応函達務請

貴政府即日飭令停泊長沙

貴国各艦速行撤退以防誤會而解紛糾至為感幸茲本代使對於貴大臣特表敬意敬具

中華民國十二年六月十五日

中華民國駐日本代理公使 張元節 (印)

日本外務大臣伯爵 内田康哉閣下

(右和訳文)

拝啓陳者長沙事件ニ関シ本代理公使ヨリ二回貴大臣ニ及照会置候処更ニ十四日日本政府ヨリ湖南地方官ヨリノ来電ニ

中国側ノ伏見艦出港方申出ハ断然峻拒スルヲ  
得策ト思料スル旨意見開陳ノ件

第一一三号

安宅艦来電及其他ノ情報ニ拠ルニ沅江丸ハ湘潭ノ状況ヲ視ル為十三日長沙ヨリ同地ニ遡航セルガ入港スルヤ銃声一発ヲ合図トシテ小蒸汽ハ盛ニ汽笛ヲ鳴ラシ瞬間ニシテ群衆埠頭ニ集合シテ小舟ノ近ヅクヲ監視シテ許サザリシガ試験的ニ上陸セル本邦人ニハ何等危害ヲ加ヘザリシ由ナリ又長沙ニ於ケル状況ハ田中領事累次電報ノ通ナルガ最近情報ニ拠レバ一旦解散セラレタル外交後援会ハ再び組織セラレ現在省当局ノ排日取締開始ハ誠意ニ出デタルモノニアラザルガ如ク且ツ湘西鎮守使蔡鈞猷独立ノ報道ト関連シ湘郷ニ軍事會議開カレ趙恒惕ノ政治的生命ニ疑アル折柄伏見艦下航ノ申出ノ如キハ当方ニ何等弱点アルヤノ疑ト増長心ヲ起サシムル虞アル外何等利益ナキヤニ思考セラルルヲ以テ断然峻拒セシメラルル方得策ト思料ス御参考迄卑見開陳ス

支、長沙ヘ転電セリ

依レハ地方已ニ安靖常ノ如ク居留日本人ノ市中往来毫無阻碍ナク日本領事及艦長モ省長ニ面晤シ市面ノ状況平日ト異ナルナキヲ語り保護周到ナルヲ認メ深ク感謝ノ意ヲ表シタル趣ナルニ就テハ右ノ趣吉田代理公使ニ照会スルト同時ニ日本外務省ニ対シ地方已ニ平靖ニ歸シタルニ仍各軍艦長沙ニ碇泊スルトキハ却テ長沙人民ノ惡感ヲ挑発シ誤解ヲ多カラシムヘキコトヲ声明アリタキ旨訓電有之候就テハ貴国政府ニ於テ即日長沙碇泊ノ貴国各軍艦ニ速ニ撤退スヘキコトヲ命シ以テ誤解ノ發生ヲ防キ紛糾ヲ解決スル様御取計相煩度此段照会得貴意候茲ニ本代理公使特ニ貴大臣ニ敬意ヲ表シ候

敬具

中華民國十二年六月十五日

中華民國駐日代理公使 張元節

日本外務大臣伯爵 内田康哉閣下

(付記)

六月十五日張中国代理公使持参ノ外交部発同代理公使宛来電写

抄外交部来電 六月十五日到

長沙日艦案八日電悉經部迭電湘省彈压開導現擬湖南地方官電称地方已安靖如常日僑出入街市毫無阻碍日領及艦長面晤

省長亦謂市面情形与平日無異認為保護周妥深表謝忱出淵局長現称中政府如能保護日僑生命財產日艦可立時撤回吉田代使前亦有類似之表示除再照會該代使外希切向日外部聲明地方業已平靖如各艦仍須泊長沙人民反生惡感誤會滋多請將各艦立時撤回並電復外交部十四日

(右和訳文)

外交部来電 六月十五日日本館着

長沙日本軍艦事件ニ関スル八日附貴電了悉本部ヨリ屢次湖南省地方官憲ニ取締方電訓シタル処現ニ同地方官来電ニ依レハ地方已ニ安寧常ノ如ク居留日本人ノ市中往来毫モ阻碍ナク日本領事及艦長モ省長ニ面晤シ市面ノ状況平日ト異ナルナキヲ語り保護周到ナルヲ認メ深く感謝ノ意ヲ表シタル趣ナル処出淵局長現ニ支那政府カ若シ居留日本人ノ生命財産ヲ保護スルコトヲ得ハ日本軍艦ハ即時撤退スヘキ旨言明シ吉田代理公使モ亦略同様ノ表示有リシニ付再ヒ同代理公使ニ照會スル外日本外務省ニ対シ地方已ニ平靖ニ歸シタルニ仍各軍艦長沙ニ碇泊スルトキハ却テ長沙人民ノ惡感ヲ挑発シ誤解ヲ多カラシム可キコトヲ声明シ各軍艦ノ即時撤退方請求シ並其ノ結果電報アリタシ

九二 六月十五日 (発)

在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙事件ニ関スル中国側ノ主張ニ対シ我方ヨリ断然拒絕ノ回答發出方ニ付長沙領事ヨリ稟申ノ件

第一一四号

長沙發本官宛第四一號

大臣、公使へ左ノ通電報アリタシ

排日運動殊ニ伏見事件發生以来支那側ノ交渉状況ハ再次ノ電報ノ通支那側ハ当初伏見事件ニ対シ一回剛強ナル主張ヲ申出テ(漢口宛拙電第一八号)タル以来今日迄之カ回答ヲ迫ラス單ニ伏見出港ヲノミ執拗ニ申出ツルニ過キス我方ニ於テハ伏見出港ヲ拒否シ在留民復歸ニ関スル<sup>(脱?)</sup>方ノ措置ヲ要求シ伏見事件ニ関シテハ会见ノ際其ノ曲支那側ニ在リ我方ニ於テ毫モ其ノ責任ナキヲ屢述ヘタルコトアルモ未タ支那側当初ノ主張ニ対シ正式ニ拒絕ノ回答ヲ發スルニ至ラス今日ニ至リシモノナルカ支那側ハ民衆ノ激昂其他ヲ利用セントスル反對派アルヲ深く憂慮シ從來ノ交渉ニ於テモ先方ノ強キ主張振ハ一々新聞ニ公表シ当方ノ主張ハ之ヲ發表

セス現ニ大臣發公使宛電信第三七七号ノ如キ公使ヨリノ申入ヲ受ケタル外交部ヨリ当地官憲ニ電報アリシコトト思考スルモ今日迄尙斯ノ如キ体ナリ從ツテ民衆ハ伏見事件ニ対スル我方ノ態度ヲ知ラス唯之カ進捗ヲ注意シツツアルカ如ク而シテ省政府ニ於テハ我方ノ正式回答ノ到底民衆ヲ満足セシムルヲ得サルモノナルヲ予測シ此ノ際右回答ヲ迫ラサルモノト認メラル乍併本件ハ早晚結果ヲ付クル必要アルヲ以テ(脱)ニ対スル立場軟弱ナル此ノ機ニ断然拒絕ノ回答ヲ發スルヲ得策ト認メラル一方公使ヨリ外交部ニ御交渉ノ振合モアルニ付小官ノ注意事項アラハ此ノ際至急御指示アリタシ

九三 六月十五日 (発)

在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

交渉司長ヨリ伏見艦出港、本邦人復歸方申出  
アリタルモ長沙領事之ヲ拒絕ノ件

第一一九号

在長沙領事發本官宛電報第四二号

昨十三日交渉司長ハ代表者ヲ当館ニ派遣シ伏見出港及本邦

二 長沙事件 九三

人復歸方申出アリ小官ハ伏見出港ニ関シ最近司令官ヨリ安宅艦長ニ対シ此際詮議ノ余地ナキ旨電報アリシ事実ヲ指摘シ此上如何トモスル能ハス支那側方完全ナル取締ヲ為シ得ル時機ヲ俟ツ外ナカルヘキ旨ヲ告ケ断然之ヲ拒絕シ本邦人復歸ノ件ハ支那側現在ノ取締振ニテハ未タ到底實施シ能ハサル旨事実ヲ指摘シ置ケリ支那側ハ今尚戒嚴令ヲ撤廢セス民衆運動取締ニ尽力シツツアルモ元来我方ノ主張ニヨル誠意取締ニ任シ居ルモノトハ認メラレス單ニ事件ヲ拡大セシムルコトカ其立場ヲ危殆ニ陥ルルモノナルヲ虞レ已ムヲ得ス取締ノ力ヲ強メシニ過キス僅ニ当面ノ安靜ヲ得ルノミヲコトトシ取締徹底のナラス之迄根強ク喰入リシ学生団等ノ排日風潮ヲ一掃スルニ足ラス故ニ今後再ヒ排日運動(脱)時機アルハ予測ニ難カラス現在トテ本邦人ノ生活上ノ脅威全然除去セラレシモノトハ認メラレス又地方ノ取締ニ至リテハ更ニ不徹底ニシテ昨日試験のニ日清汽船沅江丸ヲ湘潭ニ上航セシメシニ群衆ノ動靜ハ從來ヨリ一層激烈ナリシ状態ニテ斯ノ如キハ趙恒惕ノ威令行ハレサルニ歸着ス事ル事情ヲ綜合シ現政府ニヨリ排日運動ヲ根本のニ防止スルコト全ク不可能ト見ルヘシ目下譚延闓及程潛等南方派ニ屬スル

軍隊ノ旧五月節旬前後省政府ノ困難ナル時機ニ乗シ之カ乗  
取り運動(之ニ関シテハ目下精探中ニテ近ク判明スル見込  
ニ付追報スヘシ)漸ク盛ニシテ早晚何等カ政変アル模様ナ  
ルヲ以テ斯ル時機ヲ俟ッテ根本的ニ排日風潮緩和ノ策ヲ講  
スル外ナカルヘシト思考ス

大臣、公使へ転電アリタシ

九四 六月十六日 岡田海軍次官ヨリ  
田中外交次官宛

伏見艦ノ進退ニ関シ通牒ノ件

官房機密第八八四号

大正十二年六月十六日

海軍次官 岡田 啓介(印)

外務次官 田中 都吉殿

伏見ノ進退ニ関スル件

累次御回示ノ情報ニ依リ伏見ノ長沙撤退方支那側懇請ノ次  
第承知致候処目下ノ形勢ニ於テ過早ニ同艦ヲ出港セシムル  
コトハ将来ニ惡例ヲ貽シ警備ニ支障ヲ来ス虞アルノミナラ  
ス帝國ノ威信ニモ関スル次第第二有之又国内輿論ノ趨勢ニ鑑

伝シ民衆ニアリテ一時ヲ弥縫スルニ過キス現状ハ戒嚴令ニ  
依リ表面ヲ押ヘツツアルモ民衆ノ運動ハ早晚戒嚴令ノ撤去  
ニ依リ再ヒ擡頭スル虞アリ省政府力更ニ其ノ民衆ニアル態  
度ヲ改メ進ンテ民衆運動ノ中堅ヨリ成レル不良分子ヲ整理  
スルノ誠意ナキニ於テハ本邦人ノ復帰ハ不得策ト認メ此方  
針ヲ以テ支那側ニ応対シツツアリ

大臣、公使へ転電アリタシ

九六 六月十七日(発) 内田外務大臣ヨリ  
在漢口林總領事宛(電報)

在本邦中国代理公使、亟細亞局長ヲ来訪シ日

本軍艦ノ長沙撤退方ニ付申出ノ件

第五二号

六月十五日支那代理公使亟細亞局長ヲ来訪シ本国政府ノ訓  
令ニ依ル趣ヲ以テ湖南地方官ノ来電ニ依レハ同地方既ニ安  
静ニ帰シ日本居留民ノ往来ニ毫モ支障ナシトノコトナレハ  
此際速ニ長沙碇泊ノ日本軍艦ヲ撤退アリタシトノ趣旨ヲ認  
メタル公文ヲ手交シ速ニ軍艦撤退方配慮アリタキ旨申出テ  
タリ

ミルモ此際大ニ顧慮スヘキ点アルヤニ存セラレ候ニ付同艦  
引揚ケノ時機ハ支那官憲カ誠意ヲ以テ排日運動ヲ防止シ事  
実上在留邦人ノ生命財産カ其ノ安全ヲ保証セラルルヲ得ル  
ノ時ヲ待ツノ外ナキモノト認メラレ候右ノ趣旨ハ小林第一  
遣外艦隊司令官ニモ回訓相成目下情勢ノ推移ヲ觀測セラレ  
居リ候次第ニ付御了知相成度

右為念通牒ス

九五 六月十七日(発) 在漢口林總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

本邦人ノ復帰ニ関スル中国側ノ申出ニ対スル

我方方針ニ付長沙領事ヨリ報告ノ件

第一二一号

長沙発本官宛電報第四三号

当地秩序ハ支那側ノ取締ニ依リ当面安静ノ姿トナレルヲ以  
テ本邦人復帰問題ヲ生シ支那側ヨリモ屢之カ申出アルモ当  
方ノ見ル所ニ依レハ政府ハ依然 シンセン (素ヨリ真面目ナ  
ル(脱)?)ヲ顧慮シ或ハ我ニ伏見ノ出港ヲ求メテ新聞紙  
ヲ利用シ政府ノ立場ヲ擁護シ小官及本邦人ノ態度ヲ批難宣

右ニ対シ局長ヨリ昨今頻々外務省ニ達スル報道ニ依レハ長  
江筋殊ニ湖南方面ニ於ケル排日運動依然終熄セサルノミナ  
ラス益々拡大スル模様ニテ支那官憲ノ取締依然トシテ不徹  
底ナレハ此際長沙ヨリ軍艦ヲ撤退セシムルコトハ到底不可  
能ナリト述ヘ元来帝國政府カ長沙ニ軍艦ヲ派遣シタルハ排  
日運動ノ現状ニ顧ミ居留民ノ生命財産保護ノ必要ニ出テタ  
ル次第ナル故貴国官憲ニ於テ速ニ嚴重取締ノ手段ヲ講シ排  
日運動鎮靜ヲ見ルニ至レハ關係官憲ノ裁量ニ依リ軍艦ハ自  
然撤退ヲ見ルヘキコト勿論ノ儀ナルヲ以テ先ツ排日運動防  
止ニ努力セラルルコト然ルヘシト告ケ尚最近英國外務次官  
カ議會ニ於テ支那鉄道管理ニ関シ在支英國公使ニ訓令済ノ  
旨ヲ言明シタルコト在上海米國商業會議所カ本國ニ向テ支  
那ノ枢要地ニ外國軍隊駐在ノ必要等ニ付キ激烈ナル決議文  
ヲ打電シタルコト將又日本内地ニ於テモ國論次第ニ高潮ニ  
達シ平素穩健ナル実業家等モ強硬手段ヲ取ル様政府ニ建議  
シ居ルコト等ノ事実ヲ指摘シ支那側ニ於テ一日モ速ニ排日  
運動ヲ鎮壓セサルトキハ容易ナラサル事態ヲ現出スルニ至  
ルヘキコトヲ警告シタルニ代理公使ハ委細直ニ本國政府ニ  
電禀スヘシトテ引き取りタリ

右北京、上海及長沙へ転電アリタシ

九七 六月十八日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙事件ニ関シ我方ノ措置ヲ支持セル英国領  
事ノ談話報告ノ件

第五九号

本日小官英国領事ヲ訪問セシ処同領事ハ在支公使發閣下宛  
電信第五三二二号内容ノ如キ報告ヲ北京同国公使ニ提出セシ  
ヤニ関シ当地米國領事ヨリ問合セアリタルガ之ヲ否認シ置  
ケル旨自發的ニ語レリ尚其際同領事ハ交渉司長ヨリ今回ノ  
事件ニ関シ詳細説明ヲ為シ之ガ調停ヲ請ハントテ屢会见ヲ  
申越サレシモ会见ヲ拒絶シ居ル由又本邦人ガ今迄隠忍シ居  
リタル苦境ヲ諒トシ伏見事件ノ如キハ当然ノ帰結ニシテ近  
來支那側ハ外国人ニ条約上ノ權利ヲ無視スル態度ニ顧ミ支  
那側ニ一点ノ同情モナシト極言シ更ニ日本ハ今回ノ排日運  
動ニ対シ何故断然タル処置ヲ執ラザルヤ方法ノ如キ長沙港  
ノ上下ヲ封鎖シテ支那側ヲ威嚇スルガ如キ最有效ノ方法ニ  
シテ之ガ為ニ外国人ノ利益ヲ侵害スルコトアリトモ元來今

ルニ存スル次第ニシテ日本国政府ノ深ク遺憾トスル所ニ有  
之候將又日本軍艦ノ行動ハ在留本邦人並船舶等保護上緩急  
ニ応シ決セラルル次第ニシテ事態ノ推移如何ニ依リ当該官  
憲ノ裁量ニ待ツヘキ筋合ニ有之候ニ付右様御諒承相成度候  
右回答申進旁本大臣ハ茲ニ貴下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候

敬具

追而本回答文ト同文ヲ在北京日本代理公使ヲシテ貴国外  
交部ニ交付セシメ候ニ付御含迄申添候

九九 六月十八日 内田外務大臣ヨリ  
在本邦張中国代理公使宛

長沙事件ニ関スル第二回中国側抗議ニ対シ回  
答ノ件

亜三普通第二一号

以書翰致啓上候陳者長沙事件ニ関シ本月七日附貴翰ヲ以テ  
重テ御申越ノ趣正ニ関了貴国外交部ノ訓令ニ基キ長沙ニ於  
ケル日本軍艦伏見艦員ノ執リタル行動ノ自衛ニ出テタルモ  
ノニ非ルコトニ関シ縷々御申越ノ上湖南省長ヨリ長沙駐在  
日本領事ニ提出セル五項ノ要求条件承諾方並軍艦安宅ノ即

二 長沙事件 九九

回ノ排日運動ガ更ニ進ンデ英国其他ノ諸外国ニ対スル排斥  
運動ニ変化スル性質ノモノナルニ顧ミ諸外人モ決シテ日  
本ノ右行動ニ異議ナカル可シト語レリ尚米國領事ノ演説ナ  
ルモノハ五月七日國辱記念日ノモノ（五月九日附機密第三  
〇号附屬第七項参照）ヲ云フト英国領事語レリ御参考迄  
在支公使、漢口へ転電セリ

九八 六月十八日 内田外務大臣ヨリ  
在本邦張中国代理公使宛

長沙事件ニ関スル第一回中国側抗議ニ対シ回  
答ノ件

亜三普通第二〇号

以書翰致啓上候陳者本月六日附貴翰ヲ以テ御申越ノ趣正ニ  
関了貴国外交部ノ訓令ニ基キ長沙ニ於ケル日本軍艦伏見艦  
員ノ行動並ニ安宅ノ入港ニ関シ縷々御申越有之在長沙日本  
軍艦速刻撤退方御照会有之候処伏見艦員ノ執リシ措置ハ事  
情已ムヲ得サルニ出テタル正当防衛ノ行為ニ外ナラス今回  
ノ如キ重大ナル事態ヲ誘致スルニ至リタル根本的原因ハ畢  
竟我方屢次ノ要求ニ拘ラス貴國側ノ排日行為取締不充分ナ

刻湖南撤退方御照会有之候処元來排外ノ行動取締ノ責任ハ  
貴國側ニ存スルニ拘ラス晚近貴國各地殊ニ長江筋ニ於ケル  
排日運動ハ漸ク熾烈ヲ加フルニ至リタル為在北京日本代理  
公使及当該地方駐在日本領事ハ屢次貴國側ニ対シ嚴重取締  
方要求スル所アリタルモ貴國官憲ノ取締緩漫ニシテ毫モ徹  
底セサリシ為長沙ニ於テハ五月七日遊行隊ノ日本領事館侵  
入事件發生シ爾來其行動益々露骨トナリ遂ニ六月一日日清  
汽船会社武陵丸長沙入港ニ際シ事態險惡トナリタルヲ以テ  
日本領事ハ実情視察ノ為領事館員ヲ日清汽船会社埠頭ニ派  
シ一方在港中ノ伏見艦ヨリモ武装セサル水兵ヲ上陸セシメ  
テ万一一備ヘ居タルニ排日団ノ群衆ハ右水兵ニ対シ猛烈ニ  
投石シ又我一機関兵曹ノ如キハ學生ノ為棍棒ヲ以テ其腕ヲ  
殴打セラルル所アリシモ我水兵ニ於テハ隠忍自重シテ抵抗  
ノ舉ニ出テサリシ処現場ニ派遣セラレ居リタル貴國兵士ハ  
之ニ対シテ何等取締ヲ為ササルノミナラス遂ニ在留民及我  
水兵ニ銃ヲ擬スルニ至リシヲ以テ軍艦ヨリ応援ノ為少數ノ  
武装兵ヲ上陸セシメタルニ群衆ノ投石一層劇烈ト為リ危險  
甚シキニ至リタル為我水兵ハ自衛ノ必要上先ツ空砲ヲ放テ  
ルニ其ノ空砲ナルヲ知りタル群衆ハ益々接近シ来リ一水兵

ノ銃ヲ奪ハムトセルニ因リ我水兵ニ於テモ終ニ実弾ヲ発射スルノ止ムナキニ至リ之カ為ニ貴国民ニ死傷者ヲ出シタルハ我方ノ深ク遺憾トスル所ナルモ事茲ニ至リシハ畢竟貴國側ノ排日行動取締不徹底ナリシニ基ク次第ニテ其責任貴國側ニ在リ伏見艦員ノ執リタル措置ハ事情已ムヲ得サルニ出テタル正当防衛ノ行為ト相認候從テ御来示ノ湖南省長ノ要求条件ノ如キハ本末ヲ顛倒シタル不当ノ要求ニシテ帝國政府ニ於テ固ヨリ応諾ノ限ニ無之候尤モ六月八日在北京日本代理公使ヲシテ貴國政府ニ申入レシメタル通り各地排日運動ニ関連スル損害賠償其ノ他ノ事項ニ付テハ公正嚴密ナル調査ヲ遂ケタル上追テ何分ノ交渉ニ及フヘキニ付予メ御了承相成度候將又日本軍艦ノ行動ニ至リテハ事態ノ推移如何ニ依リ我當該官憲ノ裁量ニ待ツヘキ筋合ニ有之貴國官憲カ其ノ取締ヲ等閑ニ附シ日本軍艦ノ撤退ヲノミ迫ラルルカ如キハ詢ニ謂ハレナキ義ニ有之候帝國政府ハ貴國政府ニ於テ日支兩國国交ノ大局ヲ顧念シ此際徹底の取締ノ手段ヲ講シ一日モ速ニ排日行動ヲ一掃シテ國際責務ヲ完フシ事端ノ醸生ヲ防止スル様最善ノ努力ヲ尽サレムコト切望ノ至リニ不堪候右回答申進旁本大臣ハ茲ニ貴下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ

## ハ米國政府ニ質問セリトノ風説ニ付英國公使

## ト協議ノ件

第五四九号

往電第五三二号ニ関シ

英公使ハ長沙英領事ヨリノ十六日著電ヲ示セリ同電報ニハ『日本政府ハ本官(英領事ノコト)ノ報告ニ基クトシテ米政府ニ対シ米領事ノ行動ニ就キ質問セリ、該報告ハ英人間限りノ含ミナリシニ付云々』トアリ同公使ハ英米領事ノ關係マズクナレリトテ困リ居レリ本官ハ帝國政府ニシテ何等措置ヲ執ラントセバ先ヅ我領事ニ調査方訓令シ事實ヲ確メタル上我領事ヨリノ報告ニ基クトシテ掛ケ合フコト当然ニ付何カ行違アルベシト答ヘタルガ英公使ハ本官ト協議ノ上同領事ニ対シ貴電ニ付テハ立話ノ際米領事ノ演説ヲ讀ミタリヤト本官ニ問ヒシノミニテ何等内容ヲ語リシコト無キ旨返電スルコトナレリ

右米政府ニ照会ノ有無公使ニ挨拶ノ都合アリ御回電ヲ請フ右事實ナラバ英領事ノ報告ニ基クノ点ハ取消サレタシ

(奉天經由六月十八日后九、五〇)

候

八六

敬具

追而本回答文ト同文ヲ在北京帝國代理公使ヲシテ貴国外交部ニ交附セシメ候ニ付御含迄申添候

一〇〇 六月十八日

内田外務大臣ヨリ  
在中国吉田臨時代理公使宛

長沙事件ニ關スル中国側来照ニ対シ回答方ノ

件

亜三機密第八一号

長沙事件ニ關シ駐日張支那代理公使ヨリ本大臣ニ対シ六月六日附及六月七日附ヲ以テ六月七日附公第三二五号及機密第五二二号貴信御報告ニ係ル支那側抗議ト同様趣旨ノ照会文ヲ提出候ニ付右ニ対シ六月十八日夫々別紙写ノ通り回答致置候条右ト同文ヲ外交部ニ御交附相成度此段申進候也

編註

別紙ハ前掲外務大臣宛駐日中国代理公使宛往信亜三普通第二〇号及ビ同上第二一号写ナリ

一〇一 六月十九日(着)

在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

在長沙米國領事ノ排日の演説ニ關シ日本政府

一〇二 六月十九日(発)

在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

伏見艦撤退ニ關スル交渉司長ノ詰問の申越ニ  
対シ我方ノ回答振申進ノ件

第六一号

閣下發漢口總領事宛電信第五二二号ニ関シ

一兩日前ヨリ当地交渉司長ハ在東京支那代理公使ノ報告ヲ基礎トスル外交部来翰ヲ楯トシ司令官ノ裁量ニ依リ決定シ得ル由ナルニ拘ラズ且小官及当地居住艦長ガ当地ノ現状平穩ナルヲ認メナガラ何故ニ伏見ヲ出航セシメズヤト詰問の申越アリ小官ハ現状平穩ナルハ之ヲ認メザルニ非ザルモ此ノ状態ハ決シテ省政府ノ誠意アル徹底の取締ニ出アシモノニ非ズ(本官發漢口宛電信第四三三三号ノ事情ヲ説明シ)何時排日運動ノ再燃アルヤ計リ難シト認メラルルヲ以テ今ノ処到底省政府ノ希望スルガ如キ満足ナル報告ヲ政府ニ提出スル能ハズ從テ近ク伏見ノ出航ノ如キ結果ヲ見ルコト能ハザル可シト答ヘ置ケリ

在支公使、漢口へ転電セリ

一〇三 六月十九日 大角海軍省軍務局長ヨリ  
芳沢亜細亞局長宛

長沙事件ニ関スル小林第一遣外艦隊司令官報告通牒ノ件

付屬書 右報告書

軍務機密第四二六号 (六月二十日外務省接受)

大正十二年六月十九日

海軍省軍務局長 大角 岑生 (印)

外務省亜細亞局長 芳沢 謙吉殿

長沙事件ニ関スル報告ノ件

長沙事件ニ関スル小林第一遣外艦隊司令官報告写一通別紙ノ通ニ有之候

右御参考迄通牒ス

(別紙十葉添)

(付屬書)

右報告書

第一遣外艦隊機密第六一号

大正十二年六月四日午前十一時

漢口旗艦對馬

第一遣外艦隊司令官 小林 研藏

海軍大臣 財部 彪殿

長沙事件ニ関スル報告 其ノ一

一、衝突事件ト交渉

六月一日長沙ニ於テ伏見兵員對支那人ノ衝突事件勃発シタル処当方面有線無線電信共通信不良ノ結果真相明瞭ヲ欠キシカ昨三日午後十時三十分日清汽船会社汽船武陵丸長沙ヨリ帰漢シ伏見艦長ノ詳報別紙第一号ヲ齎ラシ漸ク事情判明スルニ至レリ

六月一日午後十時該事件発生ノ報ニ接スルヤ直ニ九江ニ警泊セシ安宅ヲ招還シ長沙ニ急航ノ準備ヲ命シ次テ翌二日長沙ノ形勢益險惡化スルノ報及領事居留民共ニ有力ナル軍艦ノ派遣ヲ望ムコト急ナルノ情報ニ依リ三日午後三時三十分安宅ノ載炭終ルヲ待テ長沙ニ急航同地居留民ノ保護ニ任スヘキヲ訓令シ同艦ハ今四日午後同地着ノ予定ナリ長沙ニ於テハ領事ハ湖南官憲ト交渉ヲ開始シ湖南官憲ハ伏見ヲ同地ニ在泊セシムルコトハ時局ヲ惡化セシメ民心ヲ鎮靜セシムルコト困難ナルカ故ニ当面ノ事件解決上同艦ノ撤退ヲ必要トスル旨領事ニ交渉シ来リ長沙領事

ト云フ

右報告ス

(別紙第一、第二、第三、第四添)

編註 別紙第三ハ前掲六月二日在長沙田中領事発内田外務大臣宛

電報第三四号ト同文ニツキ省略ス

(別紙第一)

六月一日丸山伏見艦長ヨリ小林第一遣外艦隊司令官宛報告

伏見機密第五三号

大正十二年六月一日於長沙

伏見艦長 丸山 良雄

第一遣外艦隊司令官 小林 研藏殿

昨三十一日日清汽船武陵丸入港ノ予定ナリシヲ以テ支那学生及苦力多数日清汽船会社及戴生昌ノ碼頭ニ群集シ乗客ノ妨害準備ヲナシ居リシモ武陵丸入港セサリシタメ一旦解散セリ然ルニ本朝再ヒ多数ノ無賴漢上記場所ニ集合シ妨害準備怠リ無ク武陵丸ノ入港ヲ待テリ偶々領事ヨリ兵員十数名ヲ上陸セシメ日清汽船会社及戴生昌碼頭ヲ警護セシメラレタキ要求アリ依テ午前八時十五分本艦ヨリ指揮官一(松永少尉)及武装セサル兵員十六名ヲ陸上ニ派出セリ午前八時四十五分武陵丸入港シ艀船ニ横附ケシ船客ノ上陸ヲ始ムル

二、其ノ後ノ情况

各方面ノ情報ヲ綜合スルニ長沙ハ六月二日以後表面小康ヲ呈シツツアリト雖裏面ニ於テハ可成危險情態ニ瀕シ在ルカ如ク察セラルルモ其ノ実情尚未明カナラス  
安宅長沙着ノ上ハ電信自由ニ通スル見込ナルヲ以テ機宜ノ措置ヲ電命セムトス

三、事件ノ反響

本事件ニ対スル各地ノ反響ハ未明ナラスト雖漢口ニ於テモ既ニ多少ノ風潮ヲ醸シツツアリテ林漢口總領事ハ昨三日督軍蕭耀南ヲ訪問シ湖北省ノ風潮ハ容易ニ各地ニ伝播スルノ傾向アルヲ以テ此ノ際特ニ嚴重ニ排日運動ヲ取締ルヘキコトヲ要求警告スル所アリタリ

又下流方面ニ於テモ之カ飛火ヲ憂慮スルモノ少ナカラス

ヤ本艦兵員ノ監視範圍内ニ於テハ直接何事モナシ得サリシモ一度監視ノ範圍外ニ出ツルヤ尾行セシ学生等ハ之等ニ暴行ヲ加ヘタリ偶々賊生昌ノ汽船モ亦入港シ其ノ乗客碼頭ニ上カルヤ学生苦力等多数棍棒ヲ以テ之ヲ殴打セリ此ノ騷擾ニ紛レ支那軍人一名ハ塚脇三等機関兵曹ヲ殴打セリ茲ニ於テ其ノ不法ヲ詰問セントスル際支那人側ハ衆ヲ特ミテ來襲シ遂ニ午前十一時四十五分頃群衆對本艦兵員ノ亂闘トナリ一度ハ群衆ヲ放逐シタルモ再ヒ盛り返シ棍棒ヲ振り翳シ投石シ暴行極度ニ達シ甚タ危険ナリシヲ以テ一時日清汽船会社構内ニ引キ揚ケ警戒セリ此ノ騷擾ニ指揮官及兵員一名輕傷ヲ負ヘリ警戒中尚彼等亂暴止マス偶々武装セル支那兵三名構内ヲ通過セントスルヤ山日本人會長ハ之ヲ遮リタルニ内二名ハ直チニ小銃ニ他ノ一名ハ拳銃ニ実包ヲ裝填シテ吾ニ擬ス之ニ於テカ群衆ハ益々勢ヲ得構内ニ乱入ス依リテ指揮官ハ一旦兵員ヲ武陵丸ニ移セリ此ノ際兵員ノ大多數ハ石ノ雨ヲ蒙レリ事態容易ナラスト認メ指揮官ハ直ニ信号ヲ以テ武装セル陸戰隊ヲ要求ス依リテ午後零時二十分陸戰隊ヲ派出セリ指揮官ハ現ニ武陵丸内ニアル兵員ト來着セル兵員トヲ合セテ二十二名（皆銃器ヲ携帯ス）ヲ率ヒ午後一時

憲ト交渉中

右不取敢報告ス

（別紙第二）

六月一日在長沙田中領事發漢口小林第一遣外艦隊司令官宛電報  
今一日朝武陵丸入港シテヨリ支那人ノ排日運動惡化シ目下在港ノ伏見艦応援措置ヲナシツアルモ直接在留邦人ノ生命財産ニ危険ノ虞アリ最早支那側ノ保護ニ依頼スル能ハサルヲ以テ至急軍艦増派方御取計ヲ乞フ

（別紙第四）

六月四日在中国中島公使館附武官發漢口小林第一遣外艦隊司令官宛電報

長沙領事館ヨリ此ノ際伏見ヲ出港セシムルノ意見ニ對シ代理公使ハ大要左ノ如ク長沙領事ニ打電セリ

- 一、將來惡例ヲ貽スノミナラス從來支那官憲ノ取りシ遣リ振リニ鑑ミ湖南当局ノ言明モ依頼シ難キニ付キ本省ヨリ何等カノ訓令アル迄伏見出港ヲ見合ハスコト
- 二、支那人民伏見ヲ敵視シ居ルトセハ水兵其ノ他ノ上陸ハ居留民ノ生命保護ノ為絕對必要ノ外要求セサルコト
- 三、居留民ニハ此際出來得ル丈隱忍ノ態度ヲ執ラシムルコト

頃碼頭ニ上陸シ現場ニアリシ支那官憲ト交渉ヲ開始ス即チ先刻ノ支那兵三名ノ態度及群衆ノ暴行ヲ責メ若シ支那官憲ニ於テ暴行取締ヲ鎮圧スルコト能ハスンハ我陸戰隊ヲ以テ自衛センコトヲ以テセリ然ルニ支那側ハ警察及軍隊ノ力ヲ以テ群衆ヲ解散セシメンコトヲ受諾スレトモ無力ニシテ毫モ鎮定シ得ス日清汽船会社ノ門ハ破壊サレ投石セラレ危險眼前ニ切迫セシヲ以テ指揮官ハ斷然自衛ニ決シ先ツ空包ヲ發放セシメシニ群衆ハ一度潰乱セシモ再ヒ大挙來襲シ衆ヲ特ミテ我ニ肉薄シ投石棍棒愈々猛烈ヲ極メ純然タル對敵行動ニ出テ陸戰隊員ノ危機瞬時ニ迫リ尋常ノ手段ニテハ容易ニ防衛シ得サリシニ依リ指揮官ハ午後一時二十分頃実包ヲ發射セシメ大ニ自衛奮闘セリ須臾ニシテ群衆ハ四散セシヲ以テ射撃ヲ中止セリ然レトモ遠方ヨリ投石シ暴言ヲ吐クモノアリ次テ指揮官ハ一旦陸戰隊ヲ武陵丸ニ引キ揚ケシメ様子ヲ窺ヒシニ表面群衆モ次第二鎮靜シタルヲ以テ午後二時十分陸戰隊ハ本艦ニ歸投セリ  
我ニ輕傷者二名アルノミニテ他ニ損害ナシ  
実包發射弾數 五拾八發  
支那側ニ死者數名負傷者數名アルモ詳ナラス領事ハ支那官

ト

四、尚湖南当局ニ對シテハ我態度ヲ説明シ伏見出港セサルニ於テハ當局ハ責ヲ負ハスト云フカ如キハ不当ノ申分ナルコトヲ指摘シ我居留民ニ對シ暴行アラハ其ノ責ハ全然支那官憲ニ在ルコトヲ強ク主張サレ度シ  
右ノ次第ハ即刻外交部ニモ申入ルヘシ（三日）

一〇四 六月二十日

内田外務大臣ヨリ  
在本邦張中國代理公使宛

長沙碇泊中ノ日本軍艦ノ即日撤退方申出ニ對シ回答ノ件

亞三普通第二二號

以書翰致啓上候陳者長沙事件ニ関シ六月十五日附貴翰ヲ以テ更ニ御申越ノ趣正ニ閱了貴国外交部ノ訓令ニ基キ地方已ニ安靖ニ歸シタル今日仍日本軍艦ノ長沙ニ碇泊スルハ却テ長沙人民ノ惡感ヲ挑発スル虞アル趣ヲ以テ日本軍艦即日撤退方御照会有之候処既ニ前信ヲ以テ申進置候通り軍艦ノ行動ハ事態ノ推移如何ニ依リ我當該官憲ノ裁量ニ待ツヘキ筋合ニ有之然ルニ我當該官憲ニ於テハ未タ地方安靖ニ歸シ在

留邦人ノ生命財産ニ対スル危険消滅セリト認ムルニ至ラス候ニ付此際貴国政府ニ於テ日本軍艦ノ撤退ヲ迫ラルルヨリモ先ツ排日行動取締ニ関シ徹底的ニ有効ナル手段ヲ講セラルル様致度右回答申進旁茲ニ貴下ニ向テ敬意ヲ表シ候

追而本回答文ト同文ヲ在北京帝國代理公使ヲシテ貴国外交部ニ交附セシメ候ニ付御含迄申添候

一〇五 六月二十二日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

領事館及び商船ニ避難中ノ邦人ヲ復帰セシム  
ベキヤ否ヤニ関シ回電稟請ノ件

第六三号

其後当地ノ状況ハ表面一日毎ニ平穩トナリツツアルハ事実ニシテ此際当館及商船ニ避難中ノ在留民ヲ復帰セシムルモ差当り生命財産ニ危険ナク商取引モ其ノ種類ニ依リ幾分ハ始メ得ル見込ミニシテ且避難時期長キニ及ビ在留民ハ漸ク緊張ヲ欠キ或ハ閑ニ乗ジ囚人ヲ煽動スルモノアリ或ハ各方面ニ対シ輕率ナル請願其他無意義ノ行動ヲ始ムル等其ノ統一上實際困難ナル事実多ク交渉ヲ不利ナラシムル事態ヲ惹

件

第一六一号

長沙事件ノ經過ニ付テハ小官ニ於テ不案内ナル処漢字新聞ノ報道ニ依レハ双方ノ主張一致セス久シキニ弥リ両々相下ラサルノ感アリ為ニ同地方ニ於テハ人心ヲ刺戟シ却テ排日風潮ニ氣勢ヲ添ヘタルヤニ見受ケラレ他地方ニ於テモ同様ナルヤニ思料セラルル処排日風潮対策ニ関シ在支公使宛機密第一〇五号拙信ヲ以テ上申ノ如ク帝國政府ニ於テ若シ積極的手段ヲ執ラルルナラハ兎ニ角然ラサルニ於テハ長沙事件ノ交渉長引クハ排日運動ニ利用セラレ我方ニ甚タ不利ナルヲ以テ仮令同事件ノ理由ハ明白トスルモ此際双方ヨリ委員ヲ派遣シ調査ノ上公平ナル解決方法ヲ攻究センコトヲ我ヨリ支那側ニ提議シ速ニ実行スルコトトセハ支那ノ民心ヲ緩和セシムルニ有効ナルヘシト思考セラル

公使、漢口、長沙へ転電セリ

一〇七 六月二十二日 在本邦張中國代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

樞、伏見艦等ノ湖南撤退方要請ニ関スル件

起スル虞ナキニ非ザルヲ以テ此ノ小康ヲ機トシ近ク一同復帰セシムルヲ得策トスベキモ又一方現時ノ平穩ハ支那側ノ取締ト帝國軍艦多數入港ニ依ル威圧ノ効アリシニ依ルモノナルガ支那側ノ取締ノ如キ実ニ漢口總領事宛拙電第四三号ノ通ニシテ何等誠意ナク我方ノ態度ニ促サレ已ムヲ得ザルニ出デシモノニテ而モ省政府ノ立場軟弱ニシテ徹底の取締ノ能力ナク又我方ノ威圧モ之ガ効果ヲ永ク期待スル能ハザル可キヲ以テ今後排日運動ニ対スル諸種ノ交渉（漢口宛貴電第五三号後段）開始ノ如キ機会ニ於テ再ビ排日運動擡頭シ引揚ヲ繰返スガ如キ事アルヲ予想セザル可カラズ且交渉自体ニ於テテ有利ノ地步ヲ占ムル為ニモ輕々シク在留民ヲ復帰セシメザルヲ得策カトモ認メラル在留民復帰ニ関スル御方針小官心得迄此ノ際御回電アリタシ

在支公使及漢口へ転電セリ

一〇六 六月二十二日（発） 在上海船津總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

日中双方ヨリ派員シ長沙事件ノ公平ナル解決  
方法ヲ攻究セシムルコトト致シタキ旨稟申ノ

外癸字第一一五号

（六月二十三日接受）

敬啓者頃奉政府訓電内開撫湖南交涉司十九日電称日本復加派驅逐艦樞号駛入長沙当詢日本領事係何用意扼称該艦於二十四小時由漢駛到必有政府命令目的所在渠亦不知等語查伏見等艦尚未撤退現又加派樞号更易激動民氣希力向日外部交涉務令樞号与伏見等艦一併離湘以免再激事变等因奉此相応函達

貴大臣務即轉飭

貴国駐在長沙之司令官暨領事迅將樞号与伏見等艦從速撤退現聞長沙地方漸已平靖務使両国民感情日愈和洽是所至盼並懇

見復為荷茲本代使対於

貴大臣特表敬意敬具

中華民國十二年六月二十二日

中華民國駐日本代理公使 張元節（印）

外務大臣伯爵内田康哉閣下

（右和訳文）

外癸字第一一五号

拝啓陳者茲ニ本國政府ヨリ湖南交渉司十九日附來電ニヨレ



ハ日本ハ復讐逐艦艇ヲ長沙ニ増派シ來レルヲ以テ其理由ヲ日本領事ニ詢ネシ処同領事ノ談ニ依レハ同艦ハ二十四時間ニテ漢口ヨリ長沙ニ到着シタルカ必ス政府ノ命令ニ依ルモノナルヘキモ其ノ目的ニ関シテハ同領事モ知ラストノコトナル処伏見艦等尚未タ撤退セサルニ現ニ又艦ヲ増派セルハ更ニ民心ヲ激動セシメ易キヲ以テ日本外務省ニ對シ極及伏見等ヲ共ニ湖南ヨリ撤退セシメ以テ再事故無カラシムル様交渉アリタキ旨訓令アリタルニ就テハ貴大臣ヨリ在長沙貴國司令官及領事ニ速ニ極及伏見等ヲ撤退セシムル様御訓令相成度現ニ聞クトコロニ依レハ長沙地方ハ漸次已ニ平靖ニ赴キツツアル由ナル処此際兩國人民ヲシテ感情ヲ漸次融和セシムルコトハ切望ノ至リニ不堪候御回答相煩度此段照會得貴意候茲ニ本代理公使ハ貴大臣ニ對シ特ニ敬意ヲ表シ候

敬具

中華民國十二年六月二十二日

中華民國駐日代理公使 張元節

外務大臣伯爵 内田康哉閣下

一〇八 六月二十三日 (発)

在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

邦人使用解船ノ繋ギ繩ヲ切り戴生昌小蒸汽船  
ニ投石セル中国學生ノ逮捕及ビ中国側ニ引渡  
シノ経緯ニ関シ報告ノ件

第六四号

昨二十二日午後七時当地広益学校生徒三名当館前ニ於テ本邦人使用解船ヲ繋留セル繩ヲ切断シ同所ニ仮泊セル戴生昌小蒸汽船ニ投石逃走セントセルヲ發見シ本邦人之ヲ追跡シ其一名ヲ捕ヘ館内ニ引入レタルヲ以テ交渉司長ニ之カ引取方ヲ電話ニテ要求シ九時交渉司長代理來館セルヲ以テ當時ノ実情ヲ説明シ本人ヲ引渡サントセシニ避難中ノ本邦人熱狂シ武器ヲ弄シテ引渡ヲ拒絶シ其態度如何ナル事態ヲ惹起スルヤ計リ難ク已ムヲ得ス本人聴取書ニ右代表者ヲシテ記名セシメ漸ク本邦人納得シ二十三日午前五時引渡ヲ了シタルカ本件ハ支那側從來ノ取締ニ関スル声明ヲ裏切りタル一実例トシテ支那側ニ對スル交渉ノ一材料タル外事件自他格別ノ価値ナキニ之ニ對スル本邦人ノ態度ノ無理解ヲ遺憾無ク暴露セルハ今後ノ交渉ニ不利ヲ來ス虞アリ又支那側ニ於

考ス

漢口、長沙ニ転電ス

(奉天中継六月廿四日前一一、四五)

一一〇 六月二十四日 (発)

漢口連合会ヨリ  
外務省宛(電報)

長沙事件ノ速ナル解決ノ為政府ハ断平タル措  
置ヲ執ラレタキ旨申請ノ件

一〇九 六月二十四日 (着)

在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙領事館及ビ商船ニ避難中ノ邦人ヲ復歸セ  
シメ然ルベキ旨稟申ノ件

第五六七号

長沙發閣下宛第六三三号ニ関シ

支那側カ根本的ニ態度ヲ改ムルヲ俟ツニ於テハ復歸ノ時機ハ殆ト見当付カサルヘク長沙領事懸念ノ如キ事実アル外先例ニ依ルモ引揚ニ對スル損害賠償ヲ得ルハ容易ノ事ニアラサルヘシ依テ市上兎モ角モ平穩ナルニ於テハ支那側ニ保護ノ全責任ヲ負ハシメ一応居留民ヲ復歸セシメ然ルヘシト思

居留民大会実行委員、民団行政委員、商業會議所役員ノ連合会ハ長沙在留民代表者ヨリ事件ノ成行ヲ聴取シタルニ湖南政府ハ暴民取締ノ実力ヲ備ヘナガラ長沙領事ノ正当ナル要求ニ応ズル誠意無シ交渉停頓ノ有様ナリ依テ我々ハ長沙在留民ニ對シテ飽ク迄強硬ニ對抗的態度ヲ続ケ事件ノ満足ナル解決ヲ得ル迄ハ避難状態ヲ撤セサルコトヲ勧告シ相提攜シテ排日根絶ノ初志ヲ貫徹セザレバ已マザル覚悟ヲ定メタリ速ニ長沙事件ヲ解決スルコトハ支那全般ニ亘ル排日問題解決ノ第一歩ナリト信ズルニ依リ政府ハ湖南封鎖又ハ他ノ有ラユル強制的手段ヲ執ル決意ヲ示シ直ニ要求ヲ貫徹セシメラレタシ本連合会ニ於テハ此方法以外ニ方法ナク又今

日ヲ措キテハ他ニ機会ナシト信ズ

一一一 六月二十五日(発) 内田外務大臣ヨリ  
在長沙田中領事宛(電報)

伏見事件ニ関シ長沙ニ於ケル交渉ノ一時打切  
リ方訓令ノ件

第二五号

貴電第六五号ニ関シ

伏見事件自体ニ付テハ北京宛往電第三七七号前段(三)ノ趣旨  
ニ依リ追テ交渉スヘキモノナルニ付可然支那側ニ申入レ貴  
地ニ於ケル本件交渉ハ一時打切トセラレタシ

北京、漢口へ転電アレ

一一二 六月二十五日(発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

引揚ゲ中ノ長沙在留邦人ノ復帰ニ関シ申進ノ  
件

第一三四号

当地居留民大会実行委員及商業會議所役員連合会ハ排日対

長沙へ左ノ通り

第二七号

貴電第六三三号ニ関シ貴地ノ状況追々平穩トナリツツアルコ  
トハ安宅報告第二四番ニモ見エ居ルニ付貴見ノ通此際居留  
民ヲ復帰セシメ姑ク事態ノ推移ヲ注視スルコト可然ト認メ  
ラル尤モ復帰ノ上ハ居留民ヲシテ十分慎重ナル態度ヲ持セ  
シメ些細ノ事故ヨリシテ再ヒ陸戦隊ノ上陸ヲ余儀ナクスル  
カ如キコトナキ様精々御注意相成度シ尚事艱斯クナリタル  
以上最早三隻ノ軍艦ヲ駐ムル必要ナカルヘク從テ此際不取  
敢伏見ノ撤退ヲ実行スル方可然ト存ス右海軍省ト打合済將  
又居留民復帰実行次第其旨支那側ニ通告シ排日運動ノ徹底  
の取締ニ付再応先方ノ深甚ナル注意ヲ喚起シ支那側ニ於テ  
若シ依然取締ヲ閑却シ再ヒ居留民ノ生命財産危殆ニ瀕スル  
カ如キ場合ニ立到ラハ我方ニ於テ不得已自衛の措置ニ出ツ  
ヘキコトヲ嚴重警告セラルル様致度シ

北京へ転電アレ

策トシテ長沙居留民ノ復帰ヲ不可トスル旨ヲ本月二十四日  
閣下及長沙領事ニ電報シタル由ナルガ長沙居留民ノ現住所  
復帰ハ一日モ早ク実行スルヲ可トシ田中領事宛既ニ兩三回  
卑見ヲ申進シ置キタル次第ナル処数日前長沙居留民代表当  
地ニ来リタル節当地ノ所謂実行委員ヨリ支那側ニ対シ強硬  
ナル態度ヲ示ス為メ復帰ヲ拒ム様勧告セントスル傾向アル  
ヲ聞込ミタルヲ以テ委員ノ重ナル者及長沙代表ニ対シ不取  
敢復帰スルノ得策ナルコトヲ懇切ニ説諭シ置キタルニ拘ラ  
ズ前記ノ如キ電報ヲ発スルニ至レリ依テ二十五日委員中ノ  
代表者ヲ招キ復帰問題ニ付政府ヨリ命令アリタル場合等ニ  
ハ断ジテ之ニ違背スルガ如キ言動ニ出ズ可カラザル旨戒メ  
置ケリ

在支公使 長沙へ転電セリ

一一三 六月二十六日(発) 内田外務大臣ヨリ  
在漢口林総領事宛(電報)

長沙領事館等ニ避難中ノ在留邦人ノ復帰ニツ  
キ回訓ノ件

第五七号

一一四 六月二十六日 内田外務大臣ヨリ  
在中国吉田臨時代理公使宛

長沙事件ニ関スル中国側第三回抗議ニ対スル  
我方回答振リニ関スル件

亜三機密第八九号

長沙事件ニ関シ駐日張支那代理公使ヨリ本大臣ニ対シ更ニ  
六月十五日附ヲ以テ貴電第五三六号御申越ニ係ル支那側抗  
議ト同様趣旨ノ公文ヲ提出候ニ付右ニ対シ六月二十日附ヲ  
以テ別紙写ノ通り回答致置候条右ト同文ヲ外交部ニ御交付  
相成度此段申進候也

編註 別紙写ハ前掲一〇四文書参照

一一五 六月二十七日(発) 小林第一遣外艦隊司令官ヨリ  
財部海軍大臣宛(電報)

伏見艦ノ引揚時期ニ関シ具申ノ件

第一遣外艦隊機密第二十七番電(六月二十八日海軍省着)  
官房機密第七四番電受領、外務大臣発長沙領事宛第二十七  
番電ヲ閱シ取敢ヘス意見左記ノ通

一、居留民ノ復帰ハ其ノ以前ニ支那官憲ヲシテ戒嚴令ヲ撤

回セシメ数日間情況ヲ見タル後ナルヲ要ス  
二、軍隊ノ引揚ハ居留民復帰後数日間情況ノ推移ヲ觀察シタル後ナルヲ要ス

三、前記以前ニ伏見ヲ引揚クル事ハ我主張ヲ枉ケ讓歩ノ形トナリ彼ハ正理支那側ニ在リトシテ宣伝シ将来交渉サル大局談判ニ於テ蒙ル不利甚タシカルヘシ

四、適當ナル結末ヲ告ケスシテ伏見ヲ引揚クル時ハ将来揚子江各港ニ於テ伏見撤退ヲ要求スルカ如キ惡例ヲ開クコトトナリ長ク紛糾ノ因トナルヘシ現ニ長沙事件發生ノ後漢口支那新聞ハ伏見ノ漢口來泊ヲ絶対ニ峻拒スヘシト云フ暴論ヲ掲載シタルコトアリ当隊トシテハ伏見ノ用途ニ関シ困難ヲ感スルニ至ルヘシ

五、伏見乗員其他ニ及ホス士氣影響ヲモ考慮セサルヘカラス  
六、以上ヲ綜合シ伏見引揚ハ第二項記載ノ時期ヲ適當ト認メ措置セントス

右具申ス

一一六 六月二十九日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

避難中ノ邦人復帰ニアタリ伏見出航ノ実行ヲ  
中国側ニ示ス必要アルベキ旨報告ノ件

第七一号

（居留民復帰ニ関スル件）  
貴電第二七号ニ関シ

近々適當ノ機會ニ居留民ヲ復帰セシムベキモ其ノ後ノ排日運動徹底の取締ニ付支那側ノ態度ニ鑑ミ伏見艦出航ノ実行ヲ示サザレバ恐ラクハ不可能ナリ伏見ノ行動ニ対シテハ司令官ヨリ当地首席指揮官ニ未ダ何等指図ナシ、為念  
公使、漢口ヘ転電セリ

一一七 六月三十日（発） 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙事件解決ノ為派員シ領事ヲ助ケ中国官憲  
ト善後措置ヲ講セシムル必要アル旨意見稟申  
ノ件

第五八八号

長沙事件ヲ他地方排日事件ト一併解決セントセハ時日遷延

シ其ノ間同事件ヲ口実トシテ各地ニ排日ヲ激成セシムルノ虞アルニ付成ルヘク早キ機會ニ或ル程度迄落着セシメ置クコト得策ト思考スル処領事トシテハ現ニ支那側及居留民ノ間ニ諸種ノ行懸ヲ生シ頗ル困難ナル立場ニアルコトト想像セラルルノミナラス沈瑞麟、顏惠慶等ノ如キ急速解決ヲ希望シ何等人心ヲ新ニスル方法無カル間敷ヤト申出テ居ルニ顧ミ此ノ際然ルヘキ人ヲ派シ領事ヲ助ケテ支那官憲ト長沙事件ノ善後措置ヲ講セシメ場合ニ依リテハ共同調査ノ素地ヲ作ル必要無カル間敷ヤ尚日本ニ於ケル各種団体等モ排日対策ニ付漸ク政府ニ迫ラントスルノ形勢アルヤニ見受ケラルルニ付長沙出張序ニ又ハ之ト別ニ人ヲ派シ各地ニ付テ排日運動ノ現状、原因、対策等ヲ調査セシムルコトモ必要ナリト思考ス

一一八 七月二日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙領事館等ニ避難中ノ本邦人ノ復帰及ビ伏  
見艦ノ長沙ヨリ撤退ニ付意見上申ノ件

第七二号

当地狀況ハ目下表面平穩トナレルモ根本的ニ民心善化セルニアラス今後如何ナル機會ニ排日運動再ヒ擡頭シ来ルヤ測リ難キ次第ハ累次ノ電報ノ通ナル処更ニ内地ノ現状ヲ見ルニ六月二十七日日清汽船湘江丸ヲ試験的ニ湘潭ニ航行セシメ館員一名之ニ便乗実施視察セシメシニ排日運動ハ依然熾ンナリキ又六月二十七日附衡州一邦人ノ通信ニ拠レハ同地方學生ノ暴行毫モ絶エス外交後援會ノ日貨排斥運動依然繼續セラレ文武官憲ハ之ヲ取締ヲ為ササル趣ニテ是等内地ノ狀況毫モ改マラサルハ省政府ノ威令行ハレサル結果ナルカスル際在留本邦人ノ復帰ハ将来再ヒ危險ノ虞アリ其ノ避難ヲ繰返スコトアルヲ覚悟セサルヘカラス今回支那全般ニ弥漫セル排日運動ニ対スル帝國政府今後ノ対策ハ之ヲ知ラサルモ当地方ノ問題ハ差当リ当地方限り局面ヲ弥縫スルヲ得策トセラルル御方針ナラハ可成早く在留民復帰ヲ然ルヘシトスルモ之カ為ニハ省政府ニ一応保護ヲ一任セサルヘカラス然ルニ省政府ノ從來ノ措置ニ鑑ミ排日運動取締ニ対シテハ誠意ト実力トヲ欠キテ今日ニ至リシモノナルハ明カナル事實ナルモ今後之ニ保護ヲ一任スル以上我方ニ於テモ妥協の態度ニ出テ先方ノ反省ヲ促スヲ得策トスヘシ伏見ノ出港

ハ省政府カ議會及民間諸団体ニ対スル關係上之ヲ熱望シツツアルヲ以テ主義体面ハ兎モ角トシ此際之ヲ許容スルノ態度ニ出テサルヘカラス小官ハ在留民復歸ト伏見出港トハ分離(脱)ト認ム且當方ニ於テハ排日問題ニ対シ今日迄出来得ル限り強硬ノ態度ヲ執リシ結果今ヤ小官ノ如キ当地支那官民衆惡ノ的トナリ交渉上難局ニ立チ居ル実情ナルヲ以テ伏見ヲ此ノ儘トシ支那側ノ反省ヲ求メ徹底的取締ノ現実ヲ得ルコト到底不可能ナリ但シ帝國政府ニ於テ此ノ機ヲ以テ根本的ニ排日運動防止ノ為強硬ニ出テラルル御方針ナラハ伏見ノ出港モ不必要ナルト共ニ在留民ノ復歸モ尚暫ク見合ハスコトト致シタシ漢口總領事發閣下宛第一四四号ノ次第モ有之ニ付右當方卑見不取敢電報ス

北京及漢口ヘ転電セリ

一一九 七月三日(発) 内田外務大臣ヨリ  
在漢口林總領事宛(電報)

速ニ在留民ヲ復歸セシムルコト及ビ軍艦ノ長  
沙引揚ゲニ付長沙領事ヘ訓令ノ件

第六四号

トニ表面ナリ居ルモ之ヲ事實ニ現ハスコトトナリ所謂南方ニ於ケル獨立省ノ態度トシテ満足スル能ハストノ各方面ノ攻撃ヲ受ケツツアリシカ本日水野カ楊交渉司長ヨリ聞ク所ニ依レハ北京政府ハ今回ノ長沙事件及之ニ関連セル支那學生尋問(往電第六四号)事件ヲ重大視シ実地調査等ノ為施履本ヲ派遣シ来ルコトニ関シ省政府ノ意嚮問合セ来リシヲ以テ省政府ハ主義上ノ問題ハ問フ暇ナク之ヲ歡迎スル旨最近回答セルヲ以テ遠カラス施ハ当地ニ出張シ来ルヘシトノ趣ナリ御参考迄

在支公使及漢口ヘ転電セリ

編註 田中領事六月二十五日發第六七号電報省略セリ

一二一 七月五日(発) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

外交部ヨリ長沙事件調査ノ為施履本派遣ヲ決  
定セルニ付田中領事ニ接洽方ニ付申越ノ件

第五九七号

外交次長ノ命トテ五日熊坂來訪長沙事件報告日支間相違アリ調査ノ為外交部ハ施履本派遣ニ決セリトテ田中領事ニ接

一一 長沙事件 一二一 一二二

長沙ヘ左ノ通り  
第二八号

先般訓令セル通速ニ在留民復歸方取計ラハレタシ尚司令官發海軍大臣宛電報ニ依レハ軍艦ノ引揚ハ在留民復歸後數日間事態ノ推移ヲ觀察シタル後実行シタキ意向ナル趣ナルモ右ハ可成復歸ト同時ニ又ハ復歸後速ニ決行セシムル様司令官及指揮官ト充分御打合相成様致度シ

北京ヘ転電アレ

一二〇 七月三日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙事件及ビ學生尋問事件ノ実地調査ノ為北  
京政府ヨリ施履本ヲ派遣シ来ル旨ノ楊交渉司  
長談報告ノ件

第七四号

往電第六七号ノ如ク湖南省政府殊ニ専ラ外交ノ衝ニ当レル交渉司長ニ対スル省内一般ノ非難漸ク盛ナルニ加ヘ伏見事件解決及同艦出港問題ニ関シ省政府ハ終ニ北京政府ヲ煩ハスニ至リシハ仮令外交事務ハ北京政府ト關係ヲ維持スルコ

洽方電報希望アリ諾シ置ケリ尚熊ハ同地平穩ニ歸シ趙省長責任ヲ以テ保護方声明セルニ付邦人帰宅ヲ頻ニ望ミシニ付最近ノ例ヲ述ヘ一層嚴重取締方求メ置ケリ  
漢口、長沙ヘ転電セリ

一二二 七月五日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

領事館ニ収容中ノ在留邦人ノ復歸ニ関スル水  
野ノ意見電報ノ件

第七五号

水野ヨリ左ノ通

第一二号

二日当地着一般狀況ヲ觀察セルニ驚ク程平穩ナルニ在留民ハ領事ガ引揚ヲ命ジタルモノナレバ排日行動全部此際消滅スルニ非ザレバ復歸スル能ハズ等現在ノ狀況ヲ超越シタル感情論ニ自己ノ利害ヲ加味シタル議論ノミニテ手ノ附ケ様無キ有様ナルモ斯クテハ徒ニ本邦人ハ事ヲ構ヘテ故意ニ小事ヲ大事ト為スモノナリトノ疑ヒヲ招クノミナレバ小生モ見兼ねテ右ノ議論ノ誤マレル点ヲ指摘シ此上ハ一日モ速ニ

一〇一

復帰シテ商業ヲ開始シ保護ノ責ヲ支那側ニ負ハシメタル後  
伏見ハ自発的ニ出港スベク其際ハ支那官憲ト訪問ヲ交換シ  
事件ノ交渉ト相互ノ礼儀トハ之ヲ區別シテ現在ノ対峙態度  
ヲ改ムベシト述ベタルガ結局在留民ハ引揚ヲ命ジタルヲ今  
日口実トシテ復帰ニ際シ若干ノ生活費ヲ得ントスルモノナ  
レバ如何ニ論ズルモ之ヲ承諾セザルガ如クナルモ今日ノ如  
キ平穩ナル状況ノ下ニ彼等ヲ領事館ニ收容シ置クハ百害ア  
リテ一利無キヲ以テ此ノ点ニ関シテハ何ントカ御考慮ノ上  
少クモ施履本ガ北京ヨリ来着前ニ復帰セシムルヲ唯一ノ急  
務ナリト思考ス右ノ本邦人状況ニ関スル卑見御参考迄(六  
月五日)

在支公使及漢口へ転電セリ

編註

在漢口林総領事七月一日発内田外務大臣宛第一四五号電報  
ニ東方通信水野梅暁ガ長沙事件善後問題研究ノ為一日未明  
長沙ニ向ケ出発セル旨ノ記載アリ

一二三 七月六日(発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

北京政府ノ長沙事件調査員派遣ニ対スル湖南

第七七号

貴電第五六号大臣訓令ニ依リ目下在留民復帰ニ関シ支那側  
ト交渉中ノ処復帰ノ場合在留民中差当リ衣食ニ窮スルモノ  
相当アリ之ガ救済ノ途ヲ講ゼザルベカラザルハ実ニ大臣宛  
往電第七五号水野電報ノ通ナルガ此際貴地其他各地在留民  
釀出ノ慰問金ヲ其儘御送付ヲ請ヒ一時ヲ弥縫スル小官ノ案  
ニ対シ最近当地ニ来リシ貴地日清汽船支店長等ハ極メテ贊  
成シ居タリ此案ニ関シ若シ賛成ナラバ右千弗乃至千五百弗  
ノ額至急送付方御配慮煩シタシ  
右参考ノ為大臣及公使ニ転電ヲ請フ

一二五 七月八日(発) 内田外務大臣ヨリ  
在長沙田中領事宛(電報)

長沙在留民ノ急速復帰方ニ関シ訓令ノ件

第三〇号 至急

往電第二七号及二八号ニ関シ此際在留民ヲ急速復帰セシム  
ルコト諸般ノ關係上緊要ト認メラルルニ付直ニ決行セシメ  
ラレタシ尙救済方ニ関シテハ貴官ニ於テ出来得ル限り努力  
スヘキ旨ヲ告ケ復帰反對ノ却ッテ彼等ニ不利益ナル結果ヲ

二 長沙事件 一二五 一二六

省内ノ反対論報告ノ件

第七八号

往電第七四号施履本ノ当地出張ニ対スル反対論昨今漸ク強  
硬トナレリ蓋シ北京政府混乱ニ依リ西南各省連省自治ノ氣  
勢高マレル大勢ニ怖レタル省議會ヲ中心トスル一派ガ湖南  
省内ニ於テ發生セル事件ニ関シ北京政府ノ派員交渉ハ自治  
ノ精神ニ矛盾セルモノナリトナシ更ニ從來趙恒惕一派ニ反  
對ノ分子此情勢ヲ利用シ趙ノ立場ヲ苦シメント種々画策シ  
ツツアル結果ニシテ其反対相当根強キヲ以テ施履本ハ其任  
務遂行甚ダ困難ナルベシト観測セラル  
公使、漢口へ転電セリ

一二四 七月六日(発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

在留民復帰ノ場合衣食ニ窮スル者相当アルニ  
付各地在留民釀出ノ慰問金送付アリタキ旨長  
沙領事申越シノ件

第一五〇号

長沙発本官宛電報

来スヘキコトヲ十分説示セラレ度シ

復帰次第当方、北京、天津、広東及長江筋各領事ニ電報ア  
リタシ

一二六 七月八日(着) 在中國吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

長沙事件調査ノ為長沙ニ赴ク施履本トノ打合  
セ内容申進ノ件

第六〇五号

本官發長沙宛第一〇号

大臣宛往電第五九七号ニ関シ六日施履本来訪三四日内ニ貴  
地ニ向ヒ滞在約一週間ノ予定ナルカ実情取調ニ止メ日本側  
トノ交渉ハ行ハサル筈ナルモ貴官トハ会谈シタク貴地平穩  
ナレハ日本人モ速ニ帰宅シ軍艦撤退アリタキ旨申出タルニ  
付本官ヨリ各地排日ノ状況日本朝野ノ本問題ニ対スル態度  
等二時間ニ亘リ詳細説明シ置ケリ

外務大臣ニ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

(奉天中継七月八日後一、三〇)

一二七 七月八日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

湖南当局ノ戒嚴令取消躊躇ノ内情ニ付報告ノ件

第七九号

在留民復帰ニ関シ先般来ノ訓令ニ依リ支那側ニ対シ目下平穩ナリト云フモ在留民ニ対スル危險ヲ予想セル戒嚴令下ニ於テ之ヲ復帰セシムルハ主義ニ於テ矛盾アリ小官ノ職責上実行困難ナルヲ以テ支那側ニ於テ先ツ戒嚴令ヲ取消スニ於テハ直ニ在留民ヲ復帰セシムベク伏見出港ニ関シテハ復帰後平穩ナルニ於テハ支那側ノ申出有無ニ拘ラス自発的ニ出港スヘキ旨ヲ通シ置キタルニ支那側ハ兎角理由ヲ附シテ既ニ省議會ニ於テモ取消ノ意アル戒嚴令取消ヲ依然躊躇シツツアリ当方ニ於テハ少クモ施履本到着前ニ復帰ヲ終ルヲ得策ト認メ至急戒嚴令取消方ヲ迫リツツアリシニ打明ケ話トシテ語ル所ニ拠レハ当地諸学校ハ既ニ暑中休暇ヲ繰上ケ休暇中ニ属スルモ尚少数已ムヲ得ス授業中ノモノアリ本月十二、三日迄ニハ全部休校トナル筈ナルカ万一ノ事態發生ヲ慮リ全部休校後戒嚴令ヲ取消シタク遅クモ十三日迄ニハ実行シ得ル見込ナリト語レル由ナリ右省長ノ打明ケ話ヲ抗議ノ材料トナスコトハ水野ノ立場ヲ不利ナラシムル虞アルヲ以テ之ヲ避ケタキモ右ニ拠レハ從來支那側ノ地方平穩ナリトノ主張ハ全然裏切ラレタルモノニシテ我方復帰長引キシ点ニ関シ支那側ニ対シ十分弁明ノ材料タルベシ御参考迄在支公使、漢口ヘ転電セリ

一二八 七月八日（発）在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

在留民復帰及ビ伏見艦撤退問題ニ関シ水野・湖南省長会談ノ件

第一五三号

長沙発本官宛第七六号

水野ヨリ左ノ通

第一三三号

昨夜楊交涉司長ノ招待会ニテ省務院長以下各司長ト会シ長沙ノ現状ハ兩國ノ不利益ナラハ一日モ速ニ本邦人ヲ復帰セシムヘク之カ為ニハ戒嚴令ノ取消ヲ第一要件トス何トナレハ戒嚴令ニ依ル安全ヲ信賴シテ本邦人ヲ復帰セシムルハ領

セシムベキヤ請訓ノ件

第八〇号

貴電第三〇号ニ関シ

往電第七九号ノ如ク目下戒嚴令撤廃ヲ俟ツテ復帰方支那側ト交渉中ナルカ右解決ヲ俟タス復帰セシムヘキヤ御回電アリタシ

一三〇 七月九日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

戒嚴令撤廃ノ促進及ビ復帰ノ在留民ニ若干ノ生活費支給ニ付水野ヨリ電報ノ件

第八一号（至急）

水野ヨリ

第一四号

其後各方面ノ状況ヲ見ルニ若シ戒嚴令撤廃ヲ復帰ノ理由トセザレバ何故今日迄平穩ナルニ復帰セザリシヤヲ疑ハルルモ幸省長以下ガ之ヲ承諾シ一週間乃至十日ノ猶予並十三日迄小生ノ出港延期ヲ請ヒ又一面ニハ戒嚴令撤廃ト同時又ハ数時間前ニ伏見ヲ出港セシムル様尽力シ呉レトノ事故小生

一二九 七月九日（発）在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

湖南当局ノ戒嚴令取消ヲ俟タズ在留民ヲ復帰

ハ要求ニ非ズシテ省長ノ立場維持ノ為ノ内談ナレバ一応司令官迄私信ハ発シテ可ナリト答ヘ其旨八日発信セリ次ニ又在留本邦人一同ト会シテ大局観ヨリ此際復帰ノ速ナルヲ利益トスル旨ヲ述ベタルニ領事ガ生命保護ノ為引揚ヲ命ジタルヲ口実ニ今日トナリテ生活費ヲ与ヘズシテ復帰セシムルハ職業ヲ奪ヒテ後之ヲ突放スモノナリト一ノ利己の心理ヲ暴露シ支那側ヨリモ邦人ノ方ガ無秩序トナリ故意ニ復帰ヲ拒ミ強ヒテ之ヲ復帰セシメバ自暴自棄のニ支那人ト事ヲ構ヘル分子モアルヤニ見ユルヲ以テ卑見ニ依レバ一面戒嚴令撤廃ヲ促シ一面若干ノ資ヲ給シテ復帰セシムルヲ得策ト見受ケラル右御参考迄急報ス委細領事ヘ御回示ヲ請フ因ニ小生ハ十三日出発ノ予定 (九日午前三時出)

在支公使及漢口ヘ転電セリ

一三一 七月九日 (発) 在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙在留邦人ヲ復帰セシムル方策ニ付意見稟  
申ノ件

第一五七号

一三三 七月十一日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙在留民ニ対シ避難所ヨリノ復帰方申渡シ  
ニ関スル件

第八三号

貴電第三一〇号ニ関シ本日在留民一同ニ対シ諸種ノ事情ヲ説明シ殊ニ貴電第三〇号ノ御趣旨ヲ敷衍説明シ明十二日ヨリ一律復帰スヘキ旨ヲ申渡シタル处在留民ノ一部ハ或ハ政府ノ対支態度具体的ニ現ルル迄復帰スルハ不得策ナリトシ或ハ陳情代表者東京着京後ノ何等消息ヲ得ル迄現状ヲ持続シタシ等ノ意見ヲ以テ復帰ヲ肯セス目下一同会合種々協議中ナルカ小官トシテハ此ノ上猶予ノ余地無キヲ以テ断然収容ヲ解ク方針ナリ唯事情右ノ如クナルヲ以テ一部更ニ漢口引揚等ノ自由行動ヲ執ル者アルヤモ知レス結果追報スヘシ又支那側ニ対シテハ貴電第二七号末段ノ趣旨ヲ以テ保護ヲ要求シ併セテ之ニ反スル場合ノ警告ヲ繰返シ申入レ置ケリ

在支公使及漢口ヘ転電セリ

長沙居留民復帰難ノ状態ハ田中領事累次ノ電報及水野電報ノ通ニシテ其重ナル原因ハ感情ノ高ブリタル居留民ノ無理解ニアリテ誠ニ遺憾ノ次第ナルガ目下如何ナル方面ヨリ見ルモ一日モ早く復帰セシムルノ必要アリト認メラルル処居留民一部ニ生活救済ヲ復帰条件トスルモノアルヤナルニ付テハ此際長沙領事ヲシテ断然復帰命令ヲ出サシメ實際米資ニ窮スルモノニ対シテハ当分米資ヲ給スルコトトシ尚聴カザルモノハ構ヒ附ケザル様シテハ如何ニヤ御参考迄卑見電稟ス

一三二 七月十日 (発) 内田外務大臣ヨリ  
在長沙田中領事宛 (電報)

長沙在留民ノ避難所ヨリノ復帰ハ戒嚴令撤廃  
ト切離シ決行方回電ノ件

第三一号  
貴電第八〇号ニ関シ

戒嚴令ノ撤廃ヲ迫ルハ事態ヲ紛糾セシムル虞アルニ付在留民復帰ハ之ト切離シ速ニ決行セシメラレ度シ

一三四 七月十二日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

在留邦人ノ復帰ニ関シ湖南省長謝意表明ノ件

第八五号

水野ヨリ

本十一日省長ニ会见シ日本政府ハ省長ノ立場ヲ諒トシ戒嚴令撤廃ヲ俟タズシテ居留民ヲ復帰セシムルコトトセル由ナルガ此好意ニ対シ職責以上ニ德義の責任ヲ以テ今後ノ保護ハ勿論此種妨害ノ取締ヲ徹底のナラシメラレタク然ルニ外交後援会ハ依然排日運動ヲ止メザル如クナルガ今後若シ再ビ事件発生セバ全ク省長ノ責任ナリト懇切ナル忠告ヲナシ将来ノ事ハ領事ト和衷共同善後策ヲ講ゼラレタシト述ベタルニ其好意ハ充分体得スル旨ヲ誓ヒ更ニ省長ハ湘西地方不穩ノ為戒嚴令ヲ布キタル事実ヲ告白シ之ガ取消前ニ復帰セラレシニ対シ感謝ノ意ヲ表セリ次ニ小生ハ十三日漢口着十四日同地出發洛陽ニ向フ予定 (七月十一日)

公使、漢口ヘ転電セリ

一三五 七月十二日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙在留民ノ復帰躊躇ノ原因ニ付報告ノ件

第八六号

往電第八三号ニ関シ

在留民ハ尚復帰ヲ躊躇シ実行仲々困難ナル処在留民ノ右態度ハ昨今貴地著ノ答ナル当地代表者山本勇吉 (往電第六九号参照) ヨリノ来電禍シ居ル事実ヲ発見セルヲ以テ貴地ニ於テ至急何トカ御措置願度シ

漢口へ転電セリ

編註 田中領事六月二十八日發第六九号ヲ省略セルガ右ハ外務大臣及ビ要路ニ陳情ノ為長沙在留民代表山本勇吉六月二十八日出發上京スル旨ヲ報告セル電報ナリ

一三六 七月十二日 在中国吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛

長沙事件ニ關スル外交部来照ニ対シ回答ノ件

付屬書一 七月十日付中国外交部ヨリ在中国吉田臨時代理公使宛照会訳文

日本軍艦撤退及ビ邦人復帰ニ関シ申越シノ件

二 七月十二日付吉田臨時代理公使ヨリ沈外交総長代理宛第一七一号写

中国側申越シニ対シ回答ノ件

機密第六五〇号

大正十二年七月十二日

在支那

臨時代理公使 吉田 伊三郎 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

本件ニ関シ七月十日附ヲ以テ外交部ヨリ日本軍艦ノ退出及居留民ノ復帰取計方別紙訳文 (添附第一号) ノ通り重ネテ小官宛照会有之候ニ付予テ御来訓ノ趣旨ニ基キ本月十二日附別紙写 (添附第二号) ノ通り回答致置候間御査閱相成度此段報告申進候也

本信写送附先 漢口 長沙

(付屬書一)

七月十日付中国外交部ヨリ在中国吉田臨時代理公使宛照会訳文  
日本軍艦撤退及ビ邦人復帰ニ関シ申越シノ件

第一号

(訳文)

以書翰致啓上候陳者長沙ニ於ケル日本伏見艦水兵ノ銃殺事件ニ関シ本部ヨリ屢該地碇泊中ノ日本軍艦ノ撤退方ヲ請求

第二号

第一七一号

致シタルモ未タ御諒解ヲ得ルニ至ラサルハ甚タ遺憾トスル所ニ有之候其後地方長官ヨリ屢次ノ報告ニ依レハ該地ハ既ニ常ノ如ク平穩ニ歸シタルニ付日本居留民ハ原処ニ歸リ安心營業スヘク其ノ生命財産ノ保護ニ至ッテハ地方官ニ於テ其ノ責ニ任スヘク右ハ既ニ六月二十日貴代理公使ニ面達致置キタル通ニ有之候然ルニ伏見各艦ハ依然停泊致居リ又日本居留民モ今尚商船及領事館ニ集合シ居ルニ付地方官ヨリ数次原処ニ復帰スル様命令方日本領事ニ請求シタルモ未タ許諾ヲ得ルニ至ラサル趣ニ有之候  
此等周章逃避ノ状ハ日本居留民ニ於テ何等ノ利益ナキノミナラス反ッテ容易ニ誤解ヲ惹起セシムルニ至ルヘキニヨリ貴代理公使ニ於テ本部屢次ノ照会ヲ御考量ノ上速ニ軍艦ヲシテ長沙ヨリ退出セシメ且ツ貴国長沙在留商民ヲシテ一律ニ原処ニ歸リ安心營業スヘキ様命セラレ何分ノ御回示ヲ得度候此段照覆得貴意候 敬 具

十二年七月十日

(付屬書二)

七月十二日付吉田臨時代理公使ヨリ沈外交総長代理宛第一七一号回答写

中国側申越シニ対シ回答ノ件

二 長沙事件 一三六

日本帝國臨時代理公使 吉田 伊三郎

思考致候右御諒承相成度此段回答得貴意候 敬 具

大正十二年七月十二日



支那共和国外交部事務代理 沈 瑞麟殿

一三七 七月十四日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

在留邦人ノ原状復帰ニ一週間ノ猶予ヲ認メタル事情ニ付報告ノ件

第八七号

在留民復帰ニ関シ屢次ノ御電訓ニ依リ往電第八三号ノ通り取計ヒタル处在留民ハ表面復帰ニ相当日数ヲ要ストシ更ニ十二日ヨリ一週間ノ猶予ヲ求メ右一週間内ニ漸次復帰ヲ終ルコトニ致シタキ旨申出アリ小官トシテハ右ハ明ニ御電訓ノ御趣旨ニモ反スル次第ニシテ且彼等猶予ヲ求ムル真意ハ右往電ニ指摘セル代表者ノ消息ニ重キヲ置キ敢テ復帰ニ斯ル期日ヲ要スルモノナラザルコト明ナルヲ以テ成行ニテハ一週間後更ニ復帰ヲ渋ル虞アリ実ニ際限ナキ次第ナルガ此際小官ガ右ヲ断然拒絶スルニ於テハ既ニ多数意見トシテ婦女子ヲ全部漢口ニ下シ男子ハ当館以外ノ或地点ニ集合シ成行ヲ俟ツコトニ決シ居リ一部此際復帰ノ意志アルモノサヘ之ノ煽動ニ依リ一致ノ行動ヲ執ルニ至ルハ明ニ予想シ得ル

ル救済方ニ関シテハ小官ニ於テ出来得ル限り努力スヘキ旨ヲ申渡シ在留民ハ漸ク安心シ同日ヨリ一週間内ニ全部復帰スルコトトナリ目下着々復帰中ナリ尚当地ノ如キ在留民ヲ有スル地方ニ於テ事件突発ノ場合一地方ニ集メテ保護スルコトハ延イテ大局ニ不利ヲ来シ仮リニ多少ノ犠牲者ヲ出ストモ斯ル措置ハ成ルヘク避クルヲ得策トスル一経験トナレリ御参考迄

右貴電第三〇号末段ノ通電セリ

支那、天津、上海、広東、漢口、九江、沙市、重慶、南京、蘇州、杭州、宜昌、成都及蕪湖へ転電セリ

一三九 七月十六日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

原状復帰ノ在留民ニ対スル慰問金ノ使途ニ付漢口総領事ノ意見問合ノ件

第八九号

本官発漢口宛電報第九〇号  
大臣宛貴電第八七号ニ関シ

在留民ハ此際復帰スルコトハ上京中ノ代表者及ヒ貴地所謂

状態ナリ依ツテ一週間ノ期限ニ拘ラズ出来ルモノハ一日モ早く復帰スルコト及一週間後ハ何等ノ理由ニ拘ラズ再ビ延期ヲ許サズ停船中ノ商船モ即時出帆セシムベキ堅キ条件ノ下ニ右猶予ヲ許セリ右ハ小官トシテハ諸種ノ事情ニ鑑ミ復帰ニ際シ此上極度ヲ外部ニ現ハス結果ヲ避クル為得策ナリト認メタル取計ナルヲ以テ御諒承置キヲ請フ猶一般在留民ノ行動ニ干与セザルニ、三有力者ハ既ニ復帰ニ著手シタリ北京、漢口へ転電セリ

一三八 七月十六日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙在留邦人ハ目下着々復帰中ナル旨報告ノ件

第八八号

当地排日運動ノ為日常ノ生活不能ニ陥リ且生命ノ危険ニ迫ラレシ理由ニ依リ在留本邦人ヲ六月六日以来当館及本邦商船ニ集メ保護中ノ処其ノ後地方状態改善セラレ右ノ理由除去セラレシモノト認メラレシヲ以テ御訓令ニ依リ本月十二日ヲ以テ一律復帰スヘキ旨及復帰後生計ノ資無キ者ニ対ス

実行委員ノ意思ニ反スル所ニシテ情誼上忍フ能ハスト尚數回ノ紛議ヲ生シタル結果小官及ヒ一、二大局ヲ諒解セル者ノ努力ニ依リ漸ク同電報ノ通実行スルコトトナレリ而シテ当地実行委員ハ在留民ヲ代表シ小官ハ復帰ニ際シ差当り生計ニ窮スルモノヲ救済シ政府側救済ノ繋ニセントシテ貴官宛往電第七七号ニ依リ御送附ヲ受ケシ各地慰問金ヲ其儘民會ニ交附シ排日防止運動費及民會維持費ニ充ツルコト致シ度キ旨申出アリ然ルニ今回事件發生以来特殊ノ關係アル貴地ノ慰問金ハ兎モ角トシ上海及ヒ南京等ノ慰問金迄斯ル費用ニ充ツルコトハ慰問金ノ性質上如何カト思料セラルルヲ以テ慰問金使途ニ対シテハ当初ヨリ責任ヲ負ヘル貴官ノ御決定ヲ待ツ外ナシト答ヘ置ケリ右ノ次第御含ミノ上何分ノ儀御回電アリタシ

外務大臣へ転電セリ

編註 大臣宛貴電第八七号トアルハ大臣宛貴電第一五七号ノ誤カト思ハル (七月九日在漢口林總領事宛内田外務大臣宛電報第一五七号参看)

一四〇 七月十八日 (発) 在長沙田中領事宛 (電報)

在留民復帰後ハ一層行動ヲ慎ミ事端ヲ惹起セ  
シメザル様配慮方訓令ノ件

第三二号

貴電第八八号ニ関シ在留民ノ立場ニハ充分同情スルモ此際大局ニ顧ミ隠忍自重スルノ要アルニ付復帰後ハ一層行動ヲ慎ミ事端ヲ惹起セシメザル様特ニ御配慮相成度シ

一四一 七月十八日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

長沙在留民ノ復帰終了ニ関シ報告ノ件

第九〇号

往電第八八号ニ関シ

本十八日迄ニ在留民全部復帰ヲ了セリ (往電第八八号ノ通り転電セリ)

一四二 七月十九日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

日本軍艦ノ長沙出港ニ関シ施履本トノ応答振  
り報告ノ件

第九四号

施履本本十九日来訪シ伏見事件ノ解決等ハ他日両国ノ交渉ニ待ツ外ナク今回当地ニ来リシハ事情調査ノ為ナルカ猶個人トシテ差当リテノ局面ヲ收拾スル為互譲ノ精神ヲ以テ軍艦ノ出港ニ付努力セラレタク一ニ領事ノ報告ノ如何ニ依リ軍艦ノ去就ハ決セラルル由ヲ以テ右ノ精神ヲ以テ此際円満解決ノ方途ニ出テムコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタルヲ以テ小官ハ軍艦ノ去就ハ一ニ司令官ノ裁量ニアリ殊ニ安宅及驅逐艦ノ出港ハ問題トスル能ハス伏見ハ從來ノ行懸モアリ在留民モ復帰セルヲ以テ依然平穩ナルニ於テハ遠カラス出港スルコトナルヘク唯当地及湘潭等ニ於テ日本商品等ノ検査依然行ハレ本邦人ニ対スル悪感猶ホ存スル実例多キヲ以テ省長ニ於テモ此際布告其ノ他ノ方法ニ依リ一般ニ対シ本邦人ニ危害ヲ加ヘサルハ勿論右商取引等ヲ直接間接妨害スルコトナキ様嚴重警告スルノ処置ニ出ツルニ於テハ当地在留

在支公使ヘ転電セリ

一四四 七月二十三日 (発) 内田外務大臣ヨリ  
在長沙田中領事宛 (電報)

中国側ノ排日の行動ノ取締リニ付施履本ニ申  
入方訓令ノ件

第三三号

貴電第九四号ニ関シ貴官ハ施履本ニ面会シ左ノ趣旨ヲ申入レ先方ノ意向回電アリタシ

排日運動取締ニ関スル支那官憲ノ措置不十分ナル現状ニ顧ミ在留民ノ復帰ニハ強硬ナル反対アリシモ難キヲ忍ビテ之ヲ決行セル次第ナリ就テハ此際支那側ニ於テ全責任ヲ以テアラユル排日の行動ノ取締ヲナスト共ニ必要ナル布告ヲ発シ一般民衆ニ向ッテ官憲ノ方針ヲ昭ニシ速ニ排日運動ノ鎮静ヲ見ル様致シタシ若シ支那側不取締ノ結果更ニ事端ヲ惹起スルコトアラシカ我方ニ於テ自衛ノ必要上不得止陸戦隊ノ上陸ヲ見ルカ如キコトナキヲ保セス斯クテハ両国ノ国交上一層重大ナル事態ヲ生スルニ至ルヘキニ付貴官ノ長沙来着ヲ機トシ篤ト省長ト懇談ヲ遂ケ不取敢先ツ前記布告ヲ発

民ハ勿論日本政府其ノ他各方面ニ於テモ省政府ノ態度ニ満足シ大ニ意ヲ安ンスルヲ以テ小官ニ於テモ支那側力軍艦ニ関シ満足スル結果ヲ見ル報告ヲ政府ニ為シ得ル旨ヲ語レルニ施ハ其ノ旨省長ニ伝達スヘシト答ヘタリ  
尚本日ハ右談話以外何等調査事件ニ触レス日支親善等ヲ話題トシテ長時間雑話セルニ止マリシカ甚タ満足セル態度ヲ以テ語レリ御参考迄

在支公使、漢口ヘ転電セリ

編註 北京政府派遣ノ交渉司施履本ハ七月十八日長沙ニ到着セリ

一四三 七月二十日 (発) 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

排日運動ニ依リ蒙リタル邦人ノ損害査定等ニ  
関スル政府方針回答方稟請ノ件

第九五号

今回ノ排日運動ニ依リ蒙リタル本邦人ノ損害ハ公正嚴密ナル調査ヲ遂ケタル上追ッテ支那側ニ交渉ノ答ニシテ右損害ハ隨時調査ヲ進ムル必要アル処之カ査定等ニ関シ方針御決定ノ上ハ詳細御回訓アリタシ

セシメラル様致シ度シ

北京、漢口ニ転電アリタシ

一四五 七月二十五日（発）

在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

外務大臣訓令ニ基キ排日運動取締ヲ施履本二

要請ノ件

第一〇〇号

本二十五日施履本ヲ訪問貴電第三三号ノ通り敷衍申入レタル処施ハ前回会见ノ結果（往電第九四号参照）布告ニ関シ既ニ省長ニ伝達セルモ右ニ関スル省長及交渉員ノ意向ハ伏見事件以来省政府ハ本邦人保護ニ関シ出来得ル限りノ措置ヲ講シタルニ拘ラス日本側ニ於テハ今日迄伏見ノ撤退ハ勿論事件ニ関スル三ヶ条要求ニ対シ毫モ誠意ヲ示サレサル結果省民ノ外交不信任ヲ招キ其ノ立場甚タ困難ニ陥リタル際更ニ布告ヲ以テ省民ヲ取締ルカ如キハ全ク不可能事ナリト謂フニアル由ニ付小官ハ支那側ノ取締依然徹底セス本邦人ノ生命財産ニ差当リ危険ナシト雖外交後援会等ノ排日貨運動ハ著々具体的トナリツツアリ何時如何ナル事端ヲ惹起ス

第一七四号

長沙発閣下宛第一〇〇号ニ関シ小林司令官ノ談ニ依レハ伏見ハ目下当地碇泊中ノ嵯峨ト交代セシムル予定ニテ嵯峨ハ検閲ヲ経タル上二十八日当地發長沙ニ向フヘシ  
在支公使及長沙ヘ転電セリ

一四七 七月二十七日（発）

在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

排日運動取締ノ湖南省長布告問題及ビ伏見艦ノ長沙出航問題ニ関シ施履本及ビ省長代理トノ意見交換ニ付報告ノ件

第一〇二号

拙電第一〇〇号ニ関シ

施履本ノ希望ニ依リ小官同人ヲ訪問省長代理トシテ楊外交司長列席三時間余ニ亘リ意見ノ交換ヲ為シタル結果省長ハ此際一般ニ対シ『総テ交渉案件ヲ理由トシ直接排日行動ニ出ヅベキモノニアラズ省政府ハ有ラユル排日運動ヲ嚴重取締ル方針ナリ』トノ意味ヲ有スル布告ヲ為スト共ニ今後責任ヲ以テ極力厲行スベキヲ以テ日本側ニ於テモ従来ノ行

ルヤ測リ難キ現状ニ於テ伏見事件ノ解決及伏見出港等ニ関シ我方ニ於テ事ヲ進捗セシムル能ハス排日取締ノ徹底ハ先決問題ナル旨反覆説明セシニ施ハ之ヲ諒トシ本日省長ニ面会シ有ラユル排日の行動取締ノ方針ヲ示ス布告ヲ出ス様説示スヘキヲ以テ省長ノ立場モ酌量シ布告ト同時ニ伏見出港ヲ実行セラレタキ旨申出シヲ以テ小官ハ右ハ互譲ノ精神ヲ以テ小官ヨリ政府ニ進言スヘキ旨答ヘ置ケリ省長ノ意向ニ関シテハ明日迄ニ当方ニ回答アル筈ナリ尚施ハ北京政府ニ対シ既ニ詳細ナル事情ヲ電報シ之ニ関シ何等カ訓令アル筈ニ付（脱）ヲ為スヘキ旨及施ハ当省内政混乱ノ際永ク当地ニ滞在ニ便ナラサルヲ以テ或ハ布告及伏見出港問題解決ヲ見ル前ニ出発スルヤモ測リ難キモ当地滞在中ハ十分省長側説得ニ尽力スヘシト語レリ

北京及漢口ヘ転電セリ

一四六 七月二十六日（発）

在漢口林総領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

伏見ト嵯峨ノ交代ニ関シ小林司令官談報告ノ件

懸アル伏見艦ヲシテ出航後二十四時間内ニ布告ヲ發布シ若シ誤リタル際ハ省政府トシテ如何ニ責任ヲ問ハルモ厭ハズ右ハ速ニ相互ニ実行スルコトトシ小官ヨリハ司令官ニ電報協議スルコトニ話シ合ヘリ然ルニ漢口發閣下宛電信第一七四号及当地首席指揮官ノ談ニ依レバ伏見ハ嵯峨ト入り換リ本月三十一日出航（司令官ハ支那側ノ希望ヲ容ルル為ナラズ艦隊ノ都合上伏見ヲ出スモノナリ）ノ筈ニテ最早時日少ナキニ付司令官ニ対シ此上伏見出航ヲ協議スルハ控ヘタリ尚嵯峨ノ入替リニ付テハ同艦ハ伏見ノ如ク彼等ノ筋違ヒノ申出ハ一切耳ヲ傾クル限りニアラズ且現省政府ノ取締方針ノ如キ政変ノ機モ差迫リ居ル關係上真面目ニ実行セラルルヤ甚ダ疑問ナルヲ以テ旁嵯峨ニ関スル申出アル時ハ拒絶スル考ナリ

公使、漢口ヘ転電セリ

一四八 七月三十一日（発）

在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

施履本ヨリ歸京ノ旨通知越シノ件

第一〇四号

施履本ハ本三十日汽車ニテ出発北京ニ帰ル旨同人ヨリ通知アリタリ

北京、漢口へ転電セリ

一四九 七月三十一日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

伏見艦長沙出港ノ旨報告ノ件

第一〇五号

伏見艦ハ予定ノ通り今朝出港セリ

北京、漢口へ転電セリ

一五〇 八月三日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

長沙在留邦人ノ自宅復帰後ノ困窮者救済ニ関スル件

第一〇六号

在留民復帰後ノ情况ヲ見ルニ汽船会社ハ貨客共營業極メテ少ナク輸出入業者ニ於テハ輸出ハ資金關係外何等妨害ナク輸入ハ他ノ日用品販売業者ト共ニ殆ド營業皆無ノ状態ナル

小官ハ管内在留民復帰以來細心取調ノ結果其窮状最早極点ニ達シ此ノ儘放任スル時ハ如何ナル事態ヲ惹起スルヤ計リ難キモノト認メ已ムヲ得ズ政府ノ一時救助ヲ仰グコトトス目下在留民全戸数五一〇中救助ヲ要スル者三三戸一二五名ニシテ本月一日ヨリ起算シ一ヶ月約五千弗次月ヨリ通減三ヶ月ヲ以テ救助期間ト予定シ尚状況如何ニ依リテハ何時ニテモ減額若クハ停止スルコトトシ初月ノ五千弗ハ必要生活費救助トシテハ多額ナルモ既ニ避難中ノ家賃其他滞リ居ルモノノ支払等實際当地ニ踏止マル上ニ必要ナル入費アリ且ハ排日ノ中心地ニ居住スル彼等ニ此ノ際幾分慰安ヲ与フル意味ニ於テ右ヲ必要トスル次第ナリ右ノ事情御舍ノ上右救助資金政府ヨリ至急支出方何分ノ御詮議有之度シ在支公使へ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

編註 本電ニ対スル外務大臣ノ回答見当ラズ

一五二 八月十日 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛

湖南省長ノ排日取締ニ関スル布告写送付ノ件

付記 右布告訳文

二 長沙事件 一五二

ガ是レ例年夏季不況時期ナルニ加ヘ政変ノ機迫リ混乱ヲ予期シ一般支那商人ノ他ニ避難準備ヲナスモノ多キ状態ナル一方外交後援会ノ排日貨運動ニ牽制セラレ一般ニ本邦品購買ヲ躊躇スルモノ多キ為ナリ斯ル実状ナルヲ以テ在留民ハ益々困窮ニ陥リ其差当リ衣食ニ窮スルモノニ対シテハ他地方ノ義捐金ヲ配分シ応急ノ措置ヲ講ジツツアルモ結局復帰當時小官ヨリ言明セシ如ク政府側ノ救助ニ俟タザルヲ得ザルベク此金額等ニ関シ居留民ハ今猶真面目ヲ欠ケル希望ヲ申出ツツアリ小官ハ時日ノ経過ニ依リ居留民ノ真面目ナル希望ヲ申出ツルニ至ルヲ俟チ且ハ此間細心調査ノ上追テ何分ノ御詮議ヲ乞フコトト致スベシ御参考迄

公使へ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

一五一 八月九日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

在留邦人ノ自宅へ復帰後生活窮乏者ニ対スル政府ヨリノ救済金支出方稟請ノ件

第一一一号

往電第一〇六号ニ関シ

機密信第五一号 （八月二十一日接受）

大正十二年八月十日

在長沙 領事 田中 莊太郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

往電第一一二号ヲ以テ不取敢稟報致置候排日取締ニ関スル趙湖南省長布告全文別添ノ通り及進達候間御査閲相成度此段申進候 敬具

本信写送付先

在支公使 在漢口總領事 第一遣外艦隊司令官

編註 田中領事八月十日發外務大臣宛第一一二号電報ハ省略セリ  
同電ハ本件省長布告ガ九日發布サレシコトヲ報告セルモノナリ尚右布告写見当ラザルタメ外務省作成ノ布告和訳文ヲ左ニ付記ス

（付記）

排日取締ニ関スル湖南省長布告訳文

茲ニ布告ス日交通商ハ載セテ条約ニアリ長沙港ハ前清ヨリ開ク日支両国民ハ彼此居留シ其生命身体財産ハ相互ニ保護セラル最近日支両国政府間ニ未決懸案ノ存スルニ因リ本省復六一ノ事変（六月一日ノ長沙事件）アリ日本商人銀行会社倉庫船舶業者等ハ嘗テ任意一方の行動ヲ取り暫時業務停

止中ノ処査スルニ目下各銀行会社ハ既ニ夫々復業シ船舶業モ亦相繼テ航行ヲ開始シタルヲ以テ正ニ平素ト同様保護シ以テ条約ノ趣旨ニ合致セシムル要アリ仍テ各關係官庁ニ対シ夫々訓令スルノ外茲ニ民衆ニ布告シ以テ一律遵守ヲ期ス抑日本船舶カ航行運輸ヲナシ日本商人カ銀行業等ヲ設立經營ヲナスハ皆通商条約ノ許容スルトコロニシテ同条約ノ効力現ニ存在シ從テ保護ノ責任未タ粗略ニスヘカラサルナリ是ヲ以テ妄リニ意氣ヲ逞クシ常軌ヲ踰越スルヲ得ス尚日本人ノ財産貨物業務及ヒ船舶等ニ対シ何種ノ妨害ト雖モ之ヲ加フルヲ得ス交渉事件（交渉中ノ長沙事件）ニ至リテハ政府自ラ当ニ順序ニ循ヒ繼續進行シカメテ解決ヲ謀ルヘシ各人務メテ平靖ヲ維持シ以テ事端ノ益々發展セサランコトヲ期ス

省務院長  
教育司長  
内務司長  
交涉司長  
軍務司長  
副署

一五三 十月十五日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
伊集院外務大臣宛（電報）  
湖南外交後援会不評ノ為一時解散声明ノ件

第一四六号

近來有名無実ナリシ当地外交後援会ハ商務總會其他有力ナル団体脱会シ且一般輿論反對ニ赴ケルヲ理由トシテ本月十三日限り一時解散ヲ声明セリ  
公使、上海、漢口へ転電セリ

一五四 十一月二十九日（発） 在長沙田中領事ヨリ  
伊集院外務大臣宛（電報）  
湖南政情安定二件ヒ伏見陸戰隊事件交渉再開ノ動キアル旨報告ノ件

第一五五号

本官発在支公使宛電報  
第一二五号

当地排日ハ南北政争ニ因ル兵変以來全ク終熄シタル次第ハ既ニ御承知ノ通りナルガ右政争モ譚延闓派ノ失敗広東ニ引揚ノ結果省内一部ヲ除キ安定ト共ニ省政府側ハ彼ノ伏見陸

二 十二月十七日付芳沢公使ヨリ顧外交總長宛第二五八号  
照覆亨  
伏見艦員ノ執リタル措置ハ正当防衛ニシテ日本政府ハ何等責任ヲ負フ筋合ナキ旨回答ノ件  
大正十三年六月十九日付在中国太田臨時代理公使ヨリ  
幣原外務大臣宛機密第二九二二号信  
中国外交部ヨリノ長沙事件速決方要望ニ関スル來翰訳文送付ノ件

付記一

二 大正十四年六月四日在中国芳沢公使發幣原外務大臣宛電報第四六二号  
中国外交部ヨリ長沙事件解決方ニ関スル予備的談合ヲ為シタキ旨申出デアリタルニ付同意ノ件

機密第九二四号

大正十二年十二月二十四日

在支那

特命全權公使 芳沢 謙吉（印）  
外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿

本件ニ関シ外交部ヨリ別紙甲号訳文ノ如ク曩ニ提出セル湖南政府要求ノ五条件ヲ速ニ照弁スヘキ様帝國政府ニ転達アリタキ旨重ネテ來照ノ次第有之候ニ付別紙乙号写ノ如ク本件ハ帝國政府ニ於テ何等責任ヲ負フヘキ筋合ニ非サル旨回

戰隊事件ノ交渉ヲ進メトシ殊ニ目下上海方面ニ病氣療養中ノ楊交涉司長ハ本件解決ヲ飽ク迄自己ノ責務トシ北京政府ニ対シ右交渉進捗方一二度電報セル趣新聞紙上ニモ現ハレシコトアルガ昨二十八日司長代理來訪ノ節本問題ニ談及シ最近北京政府ノ命ニ依リ一件書類ヲ具シ詳細ナル報告ヲ北京ニ送りシハ事実ニシテ省政府ニ於テハ日支親善ノ機運ニ向ヘル昨今本件ノ如キ長ク懸案ニ附スルハ遺憾ニシテ此際至急解決ヲ希望スル旨申出アリ右ニ対シ小官ハ何等意見ヲ述べズ單ニ聞流シ置ケリ右ノ次第ニ付或ハ近々北京政府ヨリ本件交渉ヲ再開スルヤモ知レズ又其成行如何ハ排日運動再燃ノ動機トモナルベシト思料セラルルニ付不取敢電報ス

外務大臣へ転電シ上海、漢口へ暗送セリ

一五五 十二月二十四日 在中国芳沢公使ヨリ  
伊集院外務大臣宛

長沙事件ニ関スル中国側要求ニ対シ回答ノ件

付属書一 十一月六日付顧外交總長ヨリ芳沢公使宛來照訳文  
長沙事件ニ関スル湖南省政府要求ヲ速ニ照弁ス

答致置候間委由別紙ニテ御承知相成度此段及報告候也

(付屬書一)

十一月六日付顧外交総長ヨリ芳沢公使宛來照訳文  
長沙事件ニ関スル湖南省政府要求ヲ速ニ照弁スベク日本政府ニ  
轉達アリタキ件

以書翰致啓上候陳者日本軍艦伏見水兵ノ長沙ニ於テ發生セ  
シ事件ニ関シテハ本部ハ屢次接到セル地方長官ノ報告ニ依  
リ並ニ派員調査セシメタル結果當時事件發生ノ真相及湖南  
省長ノ提出ニ係ル解決辦法ヲ既ニ六月五六日及八月十一日  
付公文ヲ以テ照会致シ置キタル処未タ御承諾ノ回答ニ接セ  
サルハ甚タ遺憾トスル処ニ有之候本案發生以來全国ノ民情  
甚タシク激昂シタルモ各省区軍民長官ノ極力禁阻ニヨリ幸  
ニ未タ他変ノ激生ヲ見サリシ次第ナルモ然モ伏見艦水兵カ  
徒手ノ市民ヲ殘殺セルハ地方人民ニ対シ深酷ナル痛惜ノ感  
ヲ与ヘ候況ヤ該件ハ懸案数月ノ久シキニ亘リ居レルニ付速  
ニ円満ナル解決ヲ図リ以テ風潮ヲ平息セシメ各処人民ノ好  
感ヲ増進セシメラルヘク実ニ貴我両国ノ均シク裨益アル所  
ニ有之候就テハ貴公使ニ於テ本部屢次ノ照会ニ対シ御考慮  
相成速ニ提出セル解決辦法五条ニ対シ全部承諾ヲ与ヘラル

テ固ヨリ応諾スル能ハサル次第ニ有之候ニ付右様御承知相  
成度尚長沙其他ノ各地ニ於ケル排日運動ニ関連スル損害賠  
償等ニ付テハ帝國政府ニ於テ公正嚴密ナル調査ヲ遂ケタル  
上追テ何分ノ交渉ニ及フヘク右ノ次第ハ既ニ屢々声明シタ  
ル所ナルモ此機会ニ於テ為念申添置度此段照履得貴意候  
敬具

大正十二年十二月十七日

日本帝國特命全權公使 芳沢 謙吉

支那共和国外交総長 顧 維鈞 殿

(付記一)

大正十三年六月十九日付在中国太田臨時代理公使ヨリ幣原外務  
大臣宛機密第二九二号  
中国外交部ヨリノ長沙事件速決方要望ニ関スル來翰訳文送付ノ  
件

機密第二九二号

大正十三年六月十九日

在支那

臨時代理公使 太田 為吉 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

曩ニ長沙ニ於テ六月一日排日運動舉行方画策セラレツツア

ル様貴國政府ニ御轉達相成何分ノ儀御回答相煩度此段照会  
得貴意候 敬具

十一月六日 芳沢公使宛 外交総長

(付屬書二)

十二月十七日付芳沢公使ヨリ顧外交総長宛第二五八号照覆寫  
伏見艦員ノ執リタル措置ハ正当防衛ニシテ日本政府ハ何等責任  
ヲ負フ筋合ナキ旨回答ノ件

第二五八号

以書翰致啓上候陳者長沙事件ニ関シ貴部提出ノ解決辦法五  
条ヲ全部承諾スル様本使ヨリ帝國政府ニ轉達相成度旨十一  
月六日附第六五〇号貴翰ヲ以テ御來照相成致閱悉候本件ニ  
関シテハ本年六月六日附当館發貴部宛節略及同月三十日付  
第一六一号吉田代理公使發沈外交部務代理宛書翰ニ添付  
セル内田帝國外務大臣發駐日張代理公使宛公文等ニ依リ既  
ニ御承悉可相成如ク伏見艦員ノ執リタル措置ハ事情已ムヲ  
得サルニ出テタル正当防衛ノ行為ニシテ何等其ノ責任ヲ負  
フヘキモノニ非ス畢竟貴國側ノ排日行動取締不徹底ナリシ  
ニ基ク次第ニテ其ノ責任ハ貴國側ニ在リ從テ御來示ノ湖南  
省長要求ノ如キ本末ヲ顛倒セル不当ノ要求ハ帝國政府ニ於

リトノ報道ニ接シタルヲ以テ之カ取締方外交部ニ申入置キ  
タル次第ハ六月四日付拙信機密第二六〇号ヲ以テ及報告置  
候通りニ有之候今般右ニ関連シ外交部ヨリ六月十三日付書  
翰ヲ以テ前記我方申入ニ答フルト同時ニ伏見艦事件ノ速決  
方ヲ要望致越候委細ハ別紙ニ就キ御了知相成度此段報告申  
進候也

本信寫送付先 長沙

(別紙)

(訳文) 大正十三年六月十三日

顧 外交総長

芳沢 公使宛

以書翰致啓上候陳者五月二十八日付貴信ヲ以テ長沙領事報  
告ニ拠レハ該地外交後援会ハ目下秘密裡ニ六月一日ヲ期シ  
テ排日運動ヲ舉行スル事ヲ企画シ居ルヲ以テ中央政府ヨリ  
電令シテ嚴重ニ取締ラレ度趣御照会相成候処査スルニ日本  
軍艦水兵カ長沙ニ於ケル事件發生ノ件ハ懸案一年ヲ經過ス  
ルモ解決ヲ見ルニ至ラス輿論ノ憤激アルハ当然ノ事態ニ有  
之然ルニ本部ハ再ヒ事件ノ惹起ヲ憂慮シ曩ニ地方軍民長官  
ニ嚴重取締方電令スル所アリタルカ最近湖南楊交涉司長ヨ

リ六月一日ニ於テ市民ハ市中行列運動ヲナシ至急懸案ノ解決ヲ請願セシヲ以テ適切ニ説明ヲ加ヘ並ニ双方目下北京ニ於テ委員ヲ任命シ討論中ナルニ付久シカラスシテ解決ヲ告クヘキヲ以テシタルニ群衆稍平靜ニ歸シ秩序甚タ佳良ナルモノアリ又一面日本領事館及商店等ニ対シテハ夫々軍警ヲ派シテ保護ヲ加ヘ情況平穩ニ經過致候得共本件可成速ニ解決セラレン事ヲ請フ旨電報致越候  
就テハ貴公使ニ於テモ本事件ヲ至急公平ニ解決シ長沙官民ノ期望ヲ慰セシメラレ候様致度此段照会得貴意候 敬具

(付記二)

大正十四年六月四日在中国芳沢公使発幣原外務大臣宛電報第四六二号

中国外交部ヨリ長沙事件解決方ニ関スル予備的談合ヲ為シタキ旨申出デアリタルニ付同意ノ件

第四六二号 (長沙事件解決ニ関スル件)

往電第四四二号ニ関シ

四日外交部ヨリ六日午後予備的談合ヲ為シタキ旨申出デタルニ付之ニ同意ヲ与ヘ同日外交部ニテ総長ト会合スルコトト為セリ不取敢

事項三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況

一 東北 (満州)

二 華北

三 揚子江流域

四 長沙

五 華南

一 東北 (満州)

一五六 三月十六日 (着) 在ハルビン山内総領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

ハルビン總商会ニ於ケル日中条約廢棄旅大返

還要求ノ動キニ付報告ノ件

第八三号

大正四年ノ日支条約廢棄及旅大返還ニ関シ数日前ヨリ当地總商会ハ各地ニ電報ヲ発シテ輿論ヲ高メムトシ尚昨十四日哈爾濱国民外交後援会ヲ組織シ日本若シ旅大還附ヲ承諾セザルニ於テハ之ヲ國際裁判ニ附シ公決ヲ請求ス可シ等主張シ又当地教育会ノ一教員ト共ニ後援団ヲ組織シ市内ニ於テ旅順大連ノ關係及回収ノ必要等ヲ講演スル者アリ又新聞紙

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一五六 一五七

ハ爰數日來本件ニ関スル記事ヲ連載シ各省人民一致シテ力

争シ外交ノ後援ヲ為ス可シト論ジ万已ムヲ得ザル場合ニハ

只管日貨ヲ用ヒズ消極的ノ抵制ヲ為ス可シト唱フル者アリ

北京ヘ転電シ奉天吉林ヘ暗送セリ

(長春經由三月十五日後六、三五)

一五七 四月十九日 (発) 在奉天赤塚総領事ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

日貨排斥運動ノ為歸国セル留日中国学生ノ再

渡日取締リ方ニ付申進ノ件

第七二号

天津発本官宛電報第九号

外務大臣ヘ転電アリタシ

第六二号

(排貨運動)

往電第六二号中奉天ヘ帰途ノ留日学生ニシテ再ヒ渡日ノ途

ニ就クモノアラハ帝国ノ領土ニ入ラントスル際断乎トシテ

其入国ヲ禁セラルルノ御処置ニ出テラレンコトヲ切望ス彼